

Osaka University Intensive Japanese Language and Culture Program for Exchange Students

Maple Program

大阪大学短期留学日本語日本文化特別プログラム

メイプル・プログラム

Fall Semester

2013-2014

平成25年度秋学期



Center for Japanese Language and Culture
Osaka University

大阪大学日本語日本文化教育センター

MAPLE PROGRAM



Fall Semester

2013-2014

もくじ 目次

がくねんれき
学年暦

そうごうあんない
総合案内

じゅ ぎょう 授 業	1
しけん せいせき 試 験 ・ 成 績	3
しゅうりょうにんてい 修 了 認 定	5
じゅぎょうかちく りしゅう 授 業 科 目 の 履 修	7
じむしつ じむとりあつかい CJLC 事 務 室 の 事 務 取 扱	9
にほんごのうりよくしょうめいしょ はっこう 日 本 語 能 力 証 明 書 の 発 行 に つ い て	11
しゅうこうつうきかんうんきゅうおよ ぼうふううけいほうはつれいじ ばあい じゅぎょう とりあつか しょう 主 要 交 通 機 関 運 休 及 び 暴 風 警 報 発 令 時 の 場 合 の 授 業 の 取 扱 い に つ い て (抄)	17
あんない プ ロ グ ラ ム 案 内	20
シ ラ バ ス	30
じかんわり 時 間 割	142
みのお がくしゃはいちず 箕 面 キ ャ ン パ ス 学 舎 配 置 図	150

へいせい ねん ど あきがっ き がくねんれき
平成25年度秋学期学年暦

10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	⑭	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
③	④	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	⑳
24	25	26	27	28	29	30

12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	㉓	24	25	26	27	28
29	30	31				

1月

日	月	火	水	木	金	土
			①	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	⑬	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	⑪	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	㉑	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

祝日

オリエンテーション

プレースメントテスト (日本語既習者 対象)

秋学期開始

授業開始

履修登録期間

履修登録締切日

履修登録確認期間

補講期間

冬期休業

授業再開

補講期間

必修 / 選択科目試験期間

秋学期終了

9月25日 — 9月30日

9月24日 — 9月26日

10月1日

10月1日

10月1日 — 10月21日

10月21日

10月25日 — 10月31日

12月17日 — 12月20日

12月21日 — 1月5日

1月6日

1月29日 — 1月30日

1月28日、2月4日—2月17日

3月31日

がくねんれき へんこう
学年暦は変更されることがあります。

総 合 案 内

1. 授業

(1) 学期

1年を春学期(4月1日から9月30日まで)と秋学期(10月1日から翌年3月31日)に分けます。
 授業は春学期に15週、秋学期に15週、年間30週にわたって開講しています。

(2) 授業時間

授業は1時限当たり90分で行い、月曜日から金曜日まで、1日5時限開講しています。

時 限	授 業 時 間
第 1 時限	午前 8:50 — 10:20
第 2 時限	午前 10:30 — 12:00
第 3 時限	午後 1:00 — 2:30
第 4 時限	午後 2:40 — 4:10
第 5 時限	午後 4:20 — 5:50

(3) 学修時間

授業の方法に応じて学修時間を次のように定めています。

種 別	講 義 ・ 演 習	種 別	実 習
学修時間	授業15時間 自習30時間	学修時間	授業30時間 自習15時間

(4) 休講

休講はCJLC事務室前の掲示板によって通知しますので、授業前に必ず確認してください。

休講の掲示がなく、授業開始時刻から30分以上経過しても授業担当講師が出講しない場合は、

CJLC事務室に連絡して、その指示を受けてください。

交通機関の運休や暴風警報の発令によって授業が休講になる場合があります。「主要交通機関

運休及び暴風警報発令時の場合の授業の取り扱いについて」(17ページ参照)に従って、休講になるかどうかを判断してください。

(5) 補講

授業の進度または休講を補う授業として補講が行われる場合があります。直接担当講師が指示するほか、掲示によっても通知します。

(6) 出席

本センターの短期集中日本語プログラムでは、20%以上授業を欠席すると、プログラム修了が認められなくなりますので注意してください。やむをえない理由での欠席の場合、欠席前、または欠席後1週間以内に、「欠席届」をCJLC事務室まで届け出なければなりません。その際、欠席理由を証明する書類を添付しなければなりません。「欠席届」の用紙はCJLC事務室にあります。

2. 試験・成績

(1) 試験

試験は、筆記試験、口頭試験、レポート、論文、実技等の方法によって行われます。出席回数、定期試験外に行われる試験の成績などが加味されることもあります。また、平常の成績をもって試験の成績に代える場合もあります。各授業がどのような評価方法を用いるかは、後掲「授業案内」を参照してください。

● 試験に関する注意事項

- ① 試験に関する通知は掲示により行います。ただし、定期試験以外の試験については、授業担当講師から口頭で通知されます。なお、発表後も変更になる場合がありますので、掲示に注意してください。
- ② 定期試験を実施する授業科目名は、原則として試験期間の2週間前に通知します。試験の日程や内容に関する通知は、試験期間の1週間前に行います。
- ③ 試験開始時間から30分以上遅れて来た場合は、試験を受けられませんので、遅れないように注意してください。試験開始後45分以降は、試験会場から退室することができます。
- ④ 試験中にカンニングなどの不正行為が発覚した場合は、即時受験を停止し、当該科目の無効を命じられます。不正行為を行った場合、学則により懲戒処分を受けます。
- ⑤ やむをえない理由で試験が受けられない場合は、「欠席届」によりCJLC事務室に届け出てください。「欠席届」の用紙はCJLC事務室にあります。
- ⑥ 履修登録をしていない科目を受験しても無効です。

(2) 成績の評価

履修した授業科目の成績は、次表のとおり「S・A・B・C・F」のランクで評価されます。

判定	合格				不合格
評価	S	A	B	C	F
成績 (100点満点)	100 - 90点	89 - 80点	79 - 70点	69 - 60点	59 - 0点

(3) 成績の通知

履修した授業科目の成績は、当該学期の修了式以降に「成績通知表」として各自に配布します。

3. 修了認定

(1) 修了要件

プログラムにおいて所定の授業科目を修得することが必要です。具体的な授業科目名、科目数、必修・選択科目などの内訳は、後掲のプログラム案内を参照してください。

修了の可否は、8月に掲示によって発表します。

(2) 修了証書

プログラムの所定の修了要件を、定められた履修方法によって修めた者には、「修了証書」が授与されます。

4. 授業科目の履修

(1) プレースメント — 日本語レベルの判定

本センターで開講されている授業科目を履修するためには、日本語レベルの判定を受けなければなりません。日本語レベルの判定は、プレースメントアンケートとプレースメントテストによって行われます。プレースメントテストの日程や実施場所については、CJLC 事務室前の掲示板で確認してください。

① プレースメントアンケート

大学での専攻や外国語(日本語を含む)学習歴などを尋ねるアンケートです。全員必ずアンケートに回答し、CJLC 事務室に提出してください。

② プレースメントテスト(文法、漢字、作文、面接)

日本語を勉強したことがある人は、必ず学期毎にプレースメントテストを受験してください。

(2) 履修説明会(プログラム別履修オリエンテーション)

学期開始時に授業科目の履修方法に関する説明会を行います。指定クラスの必修科目の教材なども配布されますので、全員必ず出席してください。プログラム別履修オリエンテーションの日時や実施場所については、CJLC 事務室前の掲示板で確認してください。

(3) 履修登録

学期毎に履修登録を行います。履修登録は「履修届」の提出により行ってください。「履修届」はこの冊子の末尾にあります。

履修登録をしていない科目は、授業に出席していても修得したとは認められず、成績を受け取ることはできません。履修登録ミスがあっても、履修登録期間以降の訂正は認められませんので、くれぐれも登録ミスがないよう細心の注意を払って手続きをしてください。

履修登録期間は、授業開始から約2週間です。提出期限を過ぎての「履修届」提出は認められませんので、必ず履修登録期間中に CJLC 事務室窓口で登録を完了するようにしてください。(郵送、電送での提出は受け付けません。)

● 履修登録に関する注意事項

- ① 指定された授業科目以外の科目を履修登録することはできません。
- ② 指定されたクラスの授業以外に登録できない授業科目があります。上記(2)のプログラム別履修オリエンテーションでの「履修上の注意」に留意し、その指示に従って履修してください。
- ③ 履修登録締切後、「履修登録確認表」を CJLC 事務室で受け取り、誤りがないかどうかチェックし、誤りの有無にかかわらず、署名のうえ必ず CJLC 事務室に提出してください。

5. CJLC事務室の事務取扱

(1) 事務取扱時間

CJLC事務室の事務取扱は次のとおりです。

場所	日本語日本文化教育センター棟1階	
窓口事務取扱時間	午前	10:00 - 11:15
	午後	0:15 - 4:30

(注) 臨時の休業や窓口取扱時間を変更する場合は、掲示で通知します。

(2) 教務関係事項の通知方法

授業や試験に関する連絡など教務関係の通知は、すべて掲示で行います。CJLC事務室前の掲示板を、授業前に必ず確認してください。

(3) 電話による照会

休講、行事予定、その他授業や試験に関する連絡は、すべて掲示によって行っています。電話等で照会しても一切受け付けません。講師の住所や電話番号の問い合わせにも応じません。

(4) 証明書

教務関係の証明書類は、CJLC事務室窓口で「証明書交付願」により申請してください。原則として、申請日から7日後に受け取ることができます。ただし、年度末(3月)など混み合う時期は、10日程度の余裕を見ておいてください。

CJLC事務室窓口で発行される教務関係の証明書は以下のとおりです。

- ① 成績証明書
- ② 在学期間証明書
- ③ 日本語能力証明書

日本語能力証明書の発行について

次の要件を満たした場合には、＜会話＞＜読解＞＜文法・作文＞の項目について、日本語能力を証明します。この3項目に基づいて＜総合評価＞を判定します。

＜会話＞

会話 Level 4

専門的なことについても研究発表や議論ができる。

要件：選択科目の「上級聴解」「上級会話」のうち少なくとも1科目を70点以上で合格していること。

会話 Level 3

一般的なことについて議論ができる。講義を聞いて理解できる。

要件：必修科目の「中級文法」を履修した者はそれを合格しており、かつ、選択科目の「中級聴解」「中級会話」のうち少なくとも1科目を70点以上で合格していること。

会話 Level 2

日常生活に不自由しない程度の会話ができる。自分の研究について簡単な質疑応答ができる。

要件：必修科目の「初中級文法」を合格しており、かつ、選択科目の「初中級聴解」「初中級会話」のうち少なくとも1科目を70点以上で合格していること。

会話 Level 1

ごく簡単な日常会話ができる。自分の研究について簡単な説明ができる。

要件：必修科目の「初級文法」及び「初級聴解」を合格しており、かつ、選択科目の「初級聴解」「初級会話」のうち少なくとも1科目を70点以上で合格していること。

＜読解＞

読解 Level 4

高度な学術論文が理解できる。約2,000字の漢字、約8,000語の語彙を習得している。

要件：プレースメントテストで「文法」問題A・Bがともに70点以上、かつ、「漢字」問題B・Cがともに60点以上の成績の場合、または、選択科目の「上級文法」「漢字研究」「上級読解」「上級漢字」のうち少なくとも1科目を70点以上で合格していること。

どっかい
読解 Level 3

せんもんようご ぶく こうど ぶんしょう りかい やく じ かんじ やく ご ごい しゅうとく
専門用語を含むやや高度な文章が理解できる。約1,000字の漢字、約5,000語の語彙を習得し
ている。

ようけん ひっしゅうかも ちゅうきゅうぶんぼう りしゅう もの ごうかく せんたくかもく ちゅう
要件：必修科目の「中級文法」を履修した者はそれを合格しており、かつ、選択科目の「中
きゅうぶんぼう ちゅうきゅうかんじ ちゅうきゅうどっかい すく かもく てんいじょう ごうかく
級文法」「中級漢字」「中級読解」のうち少なくとも1科目を70点以上で合格していること。

どっかい
読解 Level 2

せんもんようご ぶく いっぱんてき ぶんしょう りかい やく じ かんじ やく ご ごい しゅうとく
専門用語を含まない一般的な文章が理解できる。約500字の漢字、約3,000語の語彙を習得し
ている。

ようけん ひっしゅうかも しょちゅうきゅうぶんぼう およ しょちゅうきゅうどっかい かんじ ごうかく せんたくか
要件：必修科目の「初中級文法」及び「初中級読解・漢字」を合格しており、かつ、選択科
もく しょちゅうきゅうぶんぼう しょちゅうきゅうかんじ しょちゅうきゅうどっかい すく かもく てんいじょう ごうかく
目の「初中級文法」「初中級漢字」「初中級読解」のうち少なくとも1科目を70点以上で合格
していること。

どっかい
読解 Level 1

やさい ぶんしょう りかい やく じ かんじ やく ご ごい しゅうとく
ごく易しい文章が理解できる。約300字の漢字、約1,800語の語彙を習得している。

ようけん ひっしゅうかも しょきゅうぶんぼう およ しょきゅうどっかい かんじ ごうかく せんたくかもく
要件：必修科目の「初級文法」及び「初級読解・漢字」を合格しており、かつ、選択科目の
しょきゅうぶんぼう しょきゅうかんじ しょきゅうどっかい すく かもく てんいじょう ごうかく
「初級文法」「初級漢字」「初級読解」のうち少なくとも1科目を70点以上で合格しているこ
と。

ぶんぼう さくぶん
<文法・作文>

ぶんぼう さくぶん
文法・作文 Level 4

せんれん にほんご けんきゅうろんぶん さくせい
洗練された日本語で研究論文を作成することができる。

ようけん ぶんぼう もんだい てんいじょう かんじ もんだい
要件：プレースメントテストで、「文法」問題A・Bがともに70点以上、かつ、「漢字」問題
B・Cがともに60点以上の成績の場合。または、選択科目の「上級作文」「上級文法」の少
なくとも1科目（「上級作文」の方が望ましい）を70点以上で合格していること。

ぶんぼう さくぶん
文法・作文 Level 3

きほんてき ぶんけい じゆう つか せいかく にほんご さくせい
基本的な文型（約250）を自由に使ってほぼ正確な日本語でレポートを作成することができ
る。

ようけん ひっしゅうかも ちゅうきゅうぶんぼう りしゅう もの てんいじょう ごうかく せんたく
要件：必修科目の「中級文法」を履修した者はそれを70点以上で合格しており、かつ、選択
かもく ちゅうきゅうさくぶん ちゅうきゅうぶんぼう すく かもく ちゅうきゅうさくぶん ほう のぞ てん
科目の「中級作文」「中級文法」の少なくとも1科目（「中級作文」の方が望ましい）を70点
いじょう ごうかく
以上で合格していること。

ぶんぽう さくぶん
文法・作文 Level 2

きほんてき ぶんけい やく つか かんたん さくせい
基本的な文型 (約200) を使って簡単なレポートを作成することができる。

ようけん ひっしゅうかも しよちゅうきゅうぶんぽう およ しよちゅうきゅうどっかい かんじ てんいじょう ごうかく
要件：必修科目の「初級文法」及び「初級読解・漢字」をどちらも70点以上で合格して
おり、かつ、せんたくかもく しよちゅうきゅうさくぶん しよちゅうきゅうぶんぽう すく かもく しよちゅうきゅうさくぶん
選択科目の「初級作文」「初級文法」の少なくとも1科目（「初級作文」
ほう のぞ
の方が望ましい）を70点以上で合格していること。

ぶんぽう さくぶん
文法・作文 Level 1

しよきゅう きほんてき ぶんけい やく つか みじか ぶん つく
初級レベルの基本的な文型 (約150) を使って短い文を作ることができる。

ようけん ひっしゅうかも しよきゅうぶんぽう およ しよきゅうどっかい かんじ てんいじょう ごうかく
要件：必修科目の「初級文法」及び「初級読解・漢字」をどちらも70点以上で合格して
おり、かつ、せんたくかもく しよきゅうさくぶん しよきゅうぶんぽう すく かもく しよきゅうさくぶん ほう のぞ
選択科目の「初級作文」「初級文法」の少なくとも1科目（「初級作文」の方が望
ましい）を70点以上で合格していること。

様 式

大阪大学 日本語国際文化教育センター
日本語能力証明書
CERTIFICATE OF JAPANESE LANGUAGE PROFICIENCY
CENTER FOR JAPANESE LANGUAGE AND CULTURE, OSAKA UNIVERSITY

氏名
Name

生年吉日
Date of Birth

国 籍
Nationality

科 室
Major

プログラム
Program

登録期間
Period of Enrollment

Year

Thesis

Year/Thesis

上記の者は下記レベルの日本語能力に到達したことを証明します。
This is to certify that the above named person has achieved the following level of Japanese language ability.

総合評価
General Ability

聴 講
Listening/Speaking

読 解
Reading Comprehension

文法・語彙
Grammar/Vocabulary

Official Seal

発行年 月 日
Date of Issue

Year/Thesis/Day

大阪大学 日本語国際文化教育センター
Director, Center for Japanese Language and Culture

岩 井 康 雄
Y. Iwai

しゅようこうつうきかんうんきゅうおよ ぼうふうけいほうはつれいじ ば あい
主要交通機関運休及び暴風警報発令時の場合の
 じゅぎょう とりあつか しょう
授業の取扱いについて（抄）

へいせい ねん がつ かきょうじゅがいけつてい
 平成22年9月9日教授会決定

こうつうきかんうんきゅう ば あい とりあつか
1. 交通機関運休の場合の取扱い

さいがいなど はんきゅうでんでつ うめだ きたせんりかん ちかてつ きたおおさかきゅうこうでんでつ うめだ
 ストライキ、災害等により、阪急電鉄（梅田－北千里間）、地下鉄・北大阪急行電鉄（梅田－
 せんりちゅうおうかん はんきゅう せんりちゅうおう またにじゅうたく はんだいがいこく ごかくぶまえ うんきゅう
 千里中央間）、阪急バス（千里中央－間谷住宅・阪大外国語学部前）のいずれかが運休となっ
 ば あい ぜんじつじゅぎょうきゅうこう うんきゅう かいじよ ば あい つぎ とりあつか
 た場合は、全日授業休講とする。ただし、運休が解除された場合は、次のとおり取扱う。

うんきゅうかいじよじこく 運休解除時刻	じゅぎょう とりあつか 授業の取扱い
ごぜん じ いぜん かいじよ ば あい 午前6時以前に解除された場合	ぜんじつじゅぎょうじっし 全日授業実施
ごぜん じ いぜん かいじよ ば あい 午前9時以前に解除された場合	だい じげん だい じげんじゅぎょうじっし 第3時限～第5時限授業実施

ぼうふうけいほうはつれいじ とりあつか
2. 暴風警報発令時の取扱い

おおさか ふ とよなかし すいたし みのおし また し ふく ちいき ぼうふうけいほう はつれい
 大阪府豊中市・吹田市・箕面市のいずれか又はこれらの市を含む地域に「暴風警報」が発令
 ば あい ぜんじつじゅぎょうきゅうこう けいほう かいじよ ば あい つぎ とりあつか
 された場合は、全日授業休講とする。ただし、警報が解除された場合は、次のとおり取扱う。

けいほうかいじよじこく 警報解除時刻	じゅぎょう とりあつか 授業の取扱い
ごぜん じ いぜん かいじよ ば あい 午前6時以前に解除された場合	ぜんじつじゅぎょうじっし 全日授業実施
ごぜん じ いぜん かいじよ ば あい 午前9時以前に解除された場合	だい じげん だい じげんじゅぎょうじっし 第3時限～第5時限授業実施

ちゅうい かいじよ かくにん など ほうどう
 （注意）解除の確認は、ラジオ、テレビ等の報道によるものとする。

ほそく じゅぎょうじかんたいちゅう ぼうふうけいほう はつれい ば あい どうがいじゅぎょうしゅうりょうご すみ きたく
 （補足）授業時間帯中に暴風警報が発令された場合は、当該授業終了後、速やかに帰宅すること。

ふ き
附記

とりあつか へいせい ねん がついつち じっし
 この取扱いは、平成22年10月1日から実施する。

メイプル・プログラム案内

Maple Program Guide

メイプル・プログラム案内

メイプル・プログラム（大阪大学短期留学日本語日本文化特別プログラム）は、文部科学省および日本学生支援機構（JASSO）が推進する、大阪大学短期留学特別プログラムの一つで、日本語日本文化教育センターが教育デザインした日本語日本文化特別プログラムです。このプログラムは、学生がそれぞれの自分の目標に合わせて、日本語能力を高めること、日本の文化や社会についての知識を得ること、自国の言語・文化・社会と比較対照させながら、日本をいろいろな角度から理解できる人材を養成することを目標としています。

1. カリキュラム

メイプル・プログラムは1年間のプログラムで、秋学期（9月から3月まで）と春学期（4月から8月まで）があります。

修了するためには1年間で30単位以上取得しなければなりません。

日本語日本文化専門演習、日本研究科目、自主研究科目、日本語実習科目の4つのカテゴリがあります。

a) 日本語日本文化専門演習科目では総合的に日本語・日本文化を学ぶことができます。この授業では文化の新旧を問わずさまざまなテーマについて議論したり、映像を取り入れたりしたさまざまな教室活動や調査活動、日本の衣食住に関わる近隣の施設への実地見学（社会・文化体験学習）、日本人のチューター（学部生および大学院生）との異文化理解活動を通して、総合的に日本の言語・文化・社会を自国のそれと比較対照させながら、さまざまな視点から分析できる能力を養うことを目指しています。この授業は必修です。

b) 日本研究科目には、英語で教授される講義科目の他に日本語で教授される講義科目が開講されます。英語で教授される講義では、日本人の学部生も参加しますので、比較対照的な環境で、講師が学生各自の文化基盤に留意しながら、日本に関する断片的な知識が統合できるように、日本の言語、歴史、社会、政治に関して比較対照的な視座から授業が行われます。日本語で教授される講義では、日本の言語、歴史、社会、政治の諸現象について議論ができ、さらに自律的に情報収集できる能力の涵養を目指しています。この科目は選択科目です。

c) 自主研究科目は在籍大学で研究課題に従事していた学生のための科目です。専門の担当教員の指導のもとで、日本で一次資料を蒐集したり、それを講読したりして、調査研究を継続できます。一年後にはその成果を研究レポートにまとめていきます。

d) 日本語実習科目は、参加学生の日本語技能の習熟度にあわせて幅広く選択履修できるよう多くの授業が開講されています。日本語能力試験N4レベル合格（およびそれに準じる）以上の学生が短期間に技能別能力別に学べるよう授業が構成されています。中級コースと上級コースが開講されています。中級コースでは一週間に日本語の表現を学習する必修日本語の授業を1授業90分の6つの授業で学びます。

種別	授業科目	単位数	修了要件
必修	日本語日本文化専門演習	MDR	通年 30単位 以上
選択	日本研究科目	MR/R	
	自主研究科目	MIS	
必修/選択	日本語実習科目	各1単位	

2. 履修指導

このプログラムの全ての学生に対して、日本語日本文化教育センターの指導教員が、履修指導などの学習指導を行います。

3. プレースメント（日本語レベルの判定）

日本語科目の授業は、中級・上級の2つのレベルに分かれています。全ての学生は、日本語能力に応じたレベル分けを行うため、各学期の初めにプレースメントテストを受けなければなりません。

4. コース

メイプル・プログラムは中級コースと上級コースを開講します。

4.1 中級コース[MM]

開講科目は次のとおりです。

種別		授業科目		単位数	
必修	演習	日本語日本文化専門演習	MDR	各2単位	
選択	講義/演習	日本研究科目	MR/R		
	演習	自主研究科目	MIS		
必修 ^{*A}	実習	現代日本語3A: 中級文法 a	MSPa	4単位	6単位
		現代日本語3A: 中級文法 b	MSPb	2単位	
選択 ^{*B}	実習	日本語実習3A: 中級文法	SP	各1単位	
		日本語実習3B: 中級漢字	K		
		日本語実習3C: 中級読解	RDG		
		日本語実習3D: 中級作文	COMP		
		日本語実習3E: 中級聴解	LIS		
		日本語実習3F: 中級会話	CONV		
		日本語実習3G: 中級CAI	CAI		

* A 必修科目は、指導教員の許可があれば、選択科目に代えることができます。

* B 選択科目は、プレースメント試験（科目別試験）結果に基づき、中級レベル科目以外に、上級レベル選択科目から履修することができます。詳しくは指導教員から履修指導を受けてください。

授業内容については「授業案内」を見てください。

4.2 上級コース[MA]

開講科目は次のとおりです。

種別		授業科目		単位数
必修	演習	日本語日本文化専門演習	MDR	各2単位
選択	講義/演習	日本研究科目	MR/R	
	演習	自主研究科目	MIS	
選択 *A	実習	日本語実習 4 A: 上級文法	SP	各1単位
		日本語実習 4 B: 上級漢字	K	
		日本語実習 4 C: 上級読解	RDG	
		日本語実習 4 D: 上級作文	COMP	
		日本語実習 4 E: 上級聴解	LIS	
		日本語実習 4 F: 上級会話	CONV	
		日本語実習 4 G: 上級CAI	CAI	

* A 選択科目は、プレースメント試験（科目別試験）結果に基づき、上級レベル科目以外に、中級レベル選択科目から履修することができます。詳しくは指導教員から履修指導を受けてください。

授業内容については「授業案内」を見てください。

じゅ ぎょう あん ない
授 業 案 内

Course Descriptions

Code		Subject	Level	Type	種別	授業科目名		Instructor(s)	教員	ページ
日本語日本文化専門演習 (MDR)										
MDR309.82	Tue. 3	MDR	MM1	Sem.	演習	日本語日本文化専門演習		MURATA	村田真実	34
MDR309.84	Tue. 3	MDR	MM2	Sem.	演習	日本語日本文化専門演習		KOMORI	小森万里	35
MDR409.82	Tue. 3	MDR	MA1	Sem.	演習	日本語日本文化専門演習		NAKATA	中田一志	36
MDR409.84	Tue. 3	MDR	MA2	Sem.	演習	日本語日本文化専門演習		IWAI.S	岩井茂樹	37
MDR409.86	Tue. 3	MDR	MA3	Sem.	演習	日本語日本文化専門演習		SHIMAMOTO	嶋本隆光	38
MDR409.88	Tue. 3	MDR	MA4	Sem.	演習	日本語日本文化専門演習		MIZUTA	水田明男	39
日本研究科目 (MR / R)										
CUL352.04	Mon. 5	MR	MM/MA	Lec./Sem.	講義/演習	日本文化研究I	日本文化研究	FUKUMITSU	福光敬子	40
CUL352.10	Fri. 1	MR	MM/MA	Lec./Sem.	講義/演習	日本文化研究 X II	日本文化研究	TAMAS	タマシ・カルメン	41
CUL356.02	Mon. 3	MR	MM/MA	Lec./Sem.	講義/演習	日本宗教研究I	日本宗教研究	TONGU	頓宮勝	42
CUL356.04	Wed. 2	MR	MM/MA	Lec./Sem.	講義/演習	日本文化研究VII	日本宗教研究	BURENINA	ブレニナ・ユリア	43
LIN331.06	Tue. 2	MR	MM/MA	Lec./Sem.	講義/演習	日本語学研究V	日本語学研究	VAAGE	ヴォーゲ・ヨーラン	44
SOC362.02	Fri. 4	MR	MM/MA	Lec./Sem.	講義/演習	日本政治思想研究I	日本政治思想研究	CARMONA	カルモナ・ダニエル	45
SOC364.04	Tue. 2	MR	MM/MA	Lec./Sem.	講義/演習	日本社会研究I	日本社会研究	WATANABE	渡邊親文	46
SOC364.06	Thu. 4	MR	MM/MA	Lec./Sem.	講義/演習	日本社会研究III	日本社会研究	SAKURAI	桜井愛子	47
CUL350.02	Thu. 4	R	J/M	Lec.	講義	日本文化講義IX	日本美術史入門	INOMO	井面舞	48
CUL351.02	Fri. 2	R	J/M	Lec.	講義	日本文化研究 X IV	民俗学入門	TAMAS	タマシ・カルメン	49
CUL352.02	Mon. 1	R	J/M	Lec.	講義	日本文化講義I	日本文化入門	MOTOBAYASHI	本林靖久	50
CUL352.06	Tue. 2	R	J/M	Sem.	演習	日本文化演習V	日本文化と茶道	HISAOKA	久岡明穂	51
CUL352.08	Tue. 2	R	J/M	Sem.	演習	日本文化研究III	地域文化研究	SHIMAMOTO	嶋本隆光	52
CUL352.12	Wed. 3	R	J/M	Sem.	演習	日本文化研究IX	比較文化研究	IWAI.S	岩井茂樹	53
CUL353.02	Wed. 5	R	J/M	Lec.	講義	日本文化講義VII	日本史入門	SANO	佐野方郁	54
CUL355.02	Tue. 1	R	J/M	Lec.	講義	日本文化講義V	現代社会入門	WATANABE	渡邊親文	55
CUL356.06	Wed. 1	R	J/M	Lec.	講義	日本文化研究V	宗教史入門	SOBCZYK	ソブチェク・マウゴジャータ	56
CUL356.08	Wed. 4	R	J/M	Sem.	演習	日本文化研究 XI	宗教文化研究	KATO.H	加藤均	57
LIN331.02	Mon. 2	R	J/M	Sem.	演習	日本語学講義I	日本語学入門(方言)	MURATA	村田真実	58
LIN331.04	Mon. 4	R	J/M	Lec.	講義	日本語学講義III	日本語学入門(意味論)	IMAI	今井忍	59
LIN331.08	Wed. 3	R	J/M	Lec.	講義	日本語学講義V	日本語学入門(語用論)	NAKATA	中田一志	60
LIN331.10	Wed. 5	R	J/M	Lec.	講義	日本語学講義VII	日本語学入門(形態論・統語論)	SHOJI	荘司育子	61
LIN331.12	Thu. 2	R	J/M	Lec.	講義	日本語学講義VI	日本語学入門(日本語史)	YAMANAKA	山中延之	62
LIN333.02	Fri. 3	R	J/M	Lec.	講義	日本語学講義VIII	日本語教育学入門	YAMATO	大和祐子	63
LIT340.02	Mon. 4	R	J/M	Lec.	講義	日本文学講義I	日本文学入門	GONOJI	五之治昌比呂	64
LIT340.04	Tue. 1	R	J/M	Lec.	講義	日本文学講義III	日本文学入門	HISAOKA	久岡明穂	65
LIT344.02	Fri. 4	R	J/M	Sem.	演習	日本文学演習III	日本の伝統芸能	SHIBATA	柴田芳成	66
SOC360.02	Wed. 2	R	J/M	Lec.	講義	日本政治経済研究I	日本経済研究	ITO.TOSHI	伊藤敏雄	67
SOC361.02	Wed. 4	R	J/M	Sem.	演習	日本政治経済演習I	経営学	INOUE	井上千一	68
SOC364.02	Mon. 5	R	J/M	Lec.	講義	日本社会講義I	社会学入門	NUKITA	貫田優子	69
自主研究科目 (MIS)										
JPN219.82	Tue. 4	MIS	M	Sem.	演習	自主研究	自主研究	KATO.H	加藤均	70
JPN219.84	Tue. 4	MIS	M	Sem.	演習	自主研究	自主研究	NAKATA	中田一志	71
JPN219.86	Tue. 4	MIS	M	Sem.	演習	自主研究	自主研究	MIZUTA	水田明男	72

Code		Subject	Level	Type	種別	授業科目名	Instructor(s)	教員	ページ	
MM 必修科目 (MSP)										
JPN300.02	Tue. 1	MSPA	MM1	Rec.	実習	現代日本語3A -1A	中級文法 α	FURUKAWA	古川由理子	73
JPN300.02	Fri. 2							TANAKA	田中真衣	
JPN300.02	Wed. 1							YAMATO	大和祐子	
JPN300.02	Thu. 2							YOSHIKANE	吉兼奈津子	
JPN300.12	Thu. 1	MSPB	MM1	Rec.	実習	現代日本語3A -1B	中級文法 β	HATANO	波多野吉徳	74
JPN300.12	Mon. 2							KUBO.K	久保圭	
JPN300.04	Wed. 1	MSPA	MM2	Rec.	実習	現代日本語3A -2A	中級文法 α	HIBI	日比伊奈穂	75
JPN300.04	Tue. 1							ITO.Y	伊藤翼斗	
JPN300.04	Fri. 2							KISHIDA	岸田泰浩	
JPN300.04	Thu. 2							YAMAZAWA	山澤園子	
JPN300.14	Mon. 2	MSPB	MM2	Rec.	実習	現代日本語3A -2B	中級文法 β	HARADA	原田佳代子	76
JPN300.14	Thu. 1							HAYASHI	林和子	
MM 選択日本語実習科目										
JPN310.02	Mon. 3	SP	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3A	中級文法	ISHIBASHI	石橋玲央	77
JPN310.08	Thu. 4	SP	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3A	中級文法	ATSUTA	熱田万美	78
JPN310.10	Fri. 3	SP	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3A	中級文法	SHUTO	首藤美香	79
JPN313.02	Mon. 1	K	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3B	中級漢字	KUBOTA	久保田ゆかり	80
JPN313.04	Wed. 3	K	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3B	中級漢字	KUNIKATA	國方栄二	81
JPN313.06	Wed. 5	K	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3B	中級漢字	HIROKAWA	廣川直幸	82
JPN314.02	Tue. 1	RDG	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3C	中級読解	VAAGE	ヴォーゲ・ヨーラン	83
JPN314.04	Wed. 4	RDG	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3C	中級読解	HIROKAWA	廣川直幸	84
JPN314.06	Thu. 3	RDG	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3C	中級読解	MASHITA	真下恭子	85
JPN315.02	Mon. 5	COMP	J/MM	Rec.	実習	日本語実習 3D	中級作文	IDEGUCHI	出口雅也	86
JPN315.04	Tue. 2	COMP	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3D	中級作文	LEE	李裕旋	87
JPN315.06	Wed. 2	COMP	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3D	中級作文	KOMINAMI	小南淳子	88
JPN315.08	Fri. 3	COMP	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3D	中級作文	FUJIII	藤家智子	89
JPN316.02	Mon. 3	LIS	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3E	中級聴解	MIHARA	三原千佳	90
JPN316.04	Tue. 2	LIS	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3E	中級聴解	SOGAWA	十川理絵	91
JPN316.06	Wed. 3	LIS	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3E	中級聴解	NISHIMURA	西村多恵	92
JPN316.08	Fri. 1	LIS	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3E	中級聴解	TANAKA	田中真衣	93
JPN317.02	Wed. 2	CONV	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3F	中級会話	HIBI	日比伊奈穂	94
JPN317.04	Wed. 3	CONV	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3F	中級会話	FURUE	古江尚美	95
JPN317.06	Thu. 1	CONV	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3F	中級会話	YOSHIKANE	吉兼奈津子	96
JPN317.08	Fri. 3	CONV	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3F	中級会話	TANAKA	田中真衣	97

Code		Subject	Level	Type	種別	授業科目名		Instructor(s)	教員	ページ
MA 選択日本語実習科目										
JPN410.02	Mon. 1	SP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4A	上級文法	HARADA	原田佳代子	98
JPN410.04	Mon. 4	SP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4A	上級文法	MITSUTA	光田香住	99
JPN410.06	Tue. 2	SP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4A	上級文法	ITO.Y	伊藤翼斗	100
JPN410.08	Wed. 4	SP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4A	上級文法	SHOJI	荘司育子	101
JPN410.10	Thu. 2	SP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4A	上級文法	ADACHI	足立幸子	102
JPN410.12	Thu. 2	SP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4A	上級文法	SAKAUE	阪上彩子	103
JPN410.14	Thu. 3	SP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4A	上級文法	MITO	三登由利子	104
JPN410.16	Fri. 1	SP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4A	上級文法	MANDA	茨田通俊	105
JPN410.18	Fri. 4	SP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4A	上級文法	ATSUTA	熱田万美	106
JPN413.04	Tue. 2	K	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4B	漢字研究	KITAGAWA	北川美香	107
JPN413.06	Wed. 1	K	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4B	漢字研究	KUNIKATA	國方栄二	108
JPN413.08	Wed. 4	K	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4B	漢字研究	NISHIMURA	西村多恵	109
JPN413.10	Thu. 1	K	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4B	漢字研究	YAMANAKA	山中延之	110
JPN413.12	Thu. 4	K	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4B	漢字研究	NAKANISHI	中西泰洋	111
JPN413.14	Fri. 1	K	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4B	漢字研究	ITO.TOMO	伊藤智博	112
JPN414.02	Mon. 2	RDG	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4C	上級読解	KUBOTA	久保田ゆかり	113
JPN414.04	Mon. 5	RDG	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4C	上級読解	SEKIMOTO	関本真乃	114
JPN414.06	Wed. 5	RDG	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4C	上級読解	KADOWAKI	門脇薫	115
JPN414.08	Thu. 1	RDG	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4C	上級読解	FUJIWARA	藤原敬介	116
JPN414.10	Thu. 3	RDG	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4C	上級読解	NAKANISHI	中西泰洋	117
MA 選択日本語実習科目										
JPN414.12	Fri. 2	RDG	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4C	上級読解	MIZUNO	水野亜紀子	118
JPN415.02	Mon. 1	COMP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4D	上級作文	KUBO.K	久保圭	119
JPN415.04	Mon. 2	COMP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4D	上級作文	SAKATA	坂田達紀	120
JPN415.06	Wed. 3	COMP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4D	上級作文	KOMINAMI	小南淳子	121
JPN415.08	Thu. 1	COMP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4D	上級作文	SAKAUE	阪上彩子	122
JPN415.10	Thu. 2	COMP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4D	上級作文	FUJIWARA	藤原敬介	123
JPN415.12	Thu. 3	COMP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4D	上級作文	YAMAMOTO	山本一也	124
JPN415.14	Thu. 5	COMP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4D	上級作文	ATSUTA	熱田万美	125
JPN416.02	Mon. 2	LIS	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4E	上級聴解	KAWABUCHI	川淵節子	126
JPN416.04	Mon. 4	LIS	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4E	上級聴解	IDEGUCHI	出口雅也	127
JPN416.06	Tue. 1	LIS	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4E	上級聴解	LEE	李裕旋	128
JPN416.08	Wed. 1	LIS	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4E	上級聴解	TAKATSUKI	高月喜美	129
JPN416.10	Thu. 2	LIS	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4E	上級聴解	HAYASHI	林和子	130
JPN416.12	Thu. 4	LIS	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4E	上級聴解	OSAKI	大崎紀子	131
JPN416.14	Fri. 3	LIS	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4E	上級聴解	ATSUTA	熱田万美	132
JPN417.02	Mon. 2	CONV	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4F	上級会話	OGURA.Y	小倉慶郎	133
JPN417.04	Mon. 3	CONV	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4F	上級会話	OGURA.Y	小倉慶郎	134
JPN417.06	Mon. 3	CONV	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4F	上級会話	FUKUI	福居誠二	135
JPN417.08	Tue. 1	CONV	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4F	上級会話	YUASA	湯浅章子	136
JPN417.10	Thu. 2	CONV	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4F	上級会話	HATANO	波多野吉徳	137
JPN417.12	Thu. 3	CONV	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4F	上級会話	HAYASHI	林和子	138
JPN417.14	Thu. 5	CONV	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4F	上級会話	OSAKI	大崎紀子	139
JPN417.16	Fri. 2	CONV	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4F	上級会話	ITO.TOMO	伊藤智博	140
JPN417.18	Fri. 4	CONV	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4F	上級会話	HONGYO	本行沙織	141

授業題目	日本語日本文化専門演習			Directed Research in Japanese Language and Culture	
担当講師名	村田真実	MURATA			
Course No.	演習	MM1	日本語日本文化専門演習		
MDR309.82	Sem.	MDR	Directed Research in Japanese Language and Culture :		
目標	日本の言語、文化や社会を知りさまざまな視点から分析する。		To understand Japanese language, culture and society and analyze verbal/social/cultural aspects from various perspectives.		
Objective	さまざまな教室活動、調査活動、実地見学、日本人学生（チューター）との学習を通じて、日本の言語・文化・社会を自国の文化・社会と比較対照させながら、さまざまな視点から分析できる能力を養う。		Through various class activities, fieldwork and study tours as well as collaboration with Japanese students (tutors), students can compare Japanese language/culture/society with that of their home countries, and develop the ability to analyze verbal/social/cultural aspects from various perspectives.		
授業内容					
Description					
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
詳細は担当教員より通知。 To be announced.		詳細は担当教員より通知。 To be announced.		授業参加 (60%)、レポート (40%) Class participation (60%), essays (40%)	

授業題目	日本語日本文化専門演習			Directed Research in Japanese Language and Culture	
担当講師名	小森万里			KOMORI	
Course No. MDR309.84	演習	MM2	日本語日本文化専門演習	Directed Research in Japanese Language and Culture :	
目標 Objective	日本の言語、文化や社会を知りさまざまな視点から分析する。			To understand Japanese language,culture and society and analyze verbal/social/cultural aspects from various perspectives.	
授業内容 Description	さまざまな教室活動、調査活動、実地見学、日本人学生（チューター）との学習を通じて、日本の言語・文化・社会を自国の文化・社会と比較対照させながら、さまざまな視点から分析できる能力を養う。			Through various class activities,fieldwork and study tours as well as collaboration with Japanese students(tutors),studentscan compare Japanese language/culture/society with that of their home countries, and develop the ability to analyze verbal/social/cultural aspects from various perspectives.	
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
詳細は担当教員より通知。 To be announced.		詳細は担当教員より通知。 To be announced.		授業参加 (60%)、レポート (40%) Class participation (60%), essays (40%)	

授業題目	日本語日本文化専門演習			Directed Research in Japanese Language and Culture	
担当講師名	中田一志	NAKATA			
Course No.	演習	MA1	日本語日本文化専門演習		
MDR409.82	Sem.	MDR	Directed Research in Japanese Language and Culture :		
目標	日本の言語、文化や社会を知りさまざまな視点から分析する。		To understand Japanese language,culture and society and analyze verbal/social/cultural aspects from various perspectives.		
Objective	さまざまな教室活動、調査活動、実地見学、日本人学生（チューター）との学習を通じて、日本の言語・文化・社会を自国の文化・社会と比較対照させながら、さまざまな視点から分析できる能力を養う。		Through various class activities,fieldwork and study tours as well as collaboration with Japanese students(tutors),studentscan compare Japanese language/culture/society with that of their home countries, and develop the ability to analyze verbal/social/cultural aspects from various perspectives.		
授業内容					
Description					
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
詳細は担当教員より通知。 To be announced.		詳細は担当教員より通知。 To be announced.		授業参加（60%）、レポート（40%） Class participation (60%), essays (40%)	

授業題目	日本語日本文化専門演習			Directed Research in Japanese Language and Culture	
担当講師名	岩井茂樹		IWA.I.S		
Course No. MDR409.84	演習	MA2	日本語日本文化専門演習	Directed Research in Japanese Language and Culture :	
日 標 Objective	日本の言語、文化や社会を知りさまざまな視点から分析する。		To understand Japanese language,culture and society and analyze verbal/social/cultural aspects from various perspectives.		
授業内容 Description	さまざまな教室活動、調査活動、実地見学、日本人学生（チューター）との学習を通じて、日本の言語・文化・社会を自国の文化・社会と比較対照させながら、さまざまな視点から分析できる能力を養う。		Through various class activities,fieldwork and study tours as well as collaboration with Japanese students(tutors),studentscan compare Japanese language/culture/society with that of their home countries, and develop the ability to analyze verbal/social/cultural aspects from various perspectives.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
詳細は担当教員より通知。 To be announced.		詳細は担当教員より通知。 To be announced.		授業参加（60%）、レポート（40%） Class participation(60%), essays(40%)	

授業題目	日本語日本文化専門演習			Directed Research in Japanese Language and Culture	
担当講師名	嶋本隆光 SHIMAMOTO				
Course No. MDR409.86	演習 Sem.	MA3 MDR	日本語日本文化専門演習	Directed Research in Japanese Language and Culture :	
目標 Objective	日本の言語、文化や社会を知りさまざまな視点から分析する。		To understand Japanese language,culture and society and analyze verbal/social/cultural aspects from various perspectives.		
授業内容 Description	さまざまな教室活動、調査活動、実地見学、日本人学生（チューター）との学習を通じて、日本の言語・文化・社会を自国の文化・社会と比較対照させながら、さまざまな視点から分析できる能力を養う。		Through various class activities,fieldwork and study tours as well as collaboration with Japanese students(tutors),studentscan compare Japanese language/culture/society with that of their home countries, and develop the ability to analyze verbal/social/cultural aspects from various perspectives.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
詳細は担当教員より通知。 To be announced.		詳細は担当教員より通知。 To be announced.		授業参加 (60%)、レポート (40%) Class participation (60%), essays (40%)	

授業題目	日本語日本文化専門演習			Directed Research in Japanese Language and Culture	
担当講師名	水田明男		MIZUTA		
Course No.	演習	MA4	日本語日本文化専門演習		
MDR409.88	Sem.	MDR	Directed Research in Japanese Language and Culture :		
目標	日本の言語、文化や社会を知りさまざまな視点から分析する。		To understand Japanese language,culture and society and analyze verbal/social/cultural aspects from various perspectives.		
Objective	さまざまな教室活動、調査活動、実地見学、日本人学生（チューター）との学習を通じて、日本の言語・文化・社会を自国の文化・社会と比較対照させながら、さまざまな視点から分析できる能力を養う。		Through various class activities,fieldwork and study tours as well as collaboration with Japanese students(tutors),studentscan compare Japanese language/culture/society with that of their home countries, and develop the ability to analyze verbal/social/cultural aspects from various perspectives.		
授業内容					
Description					
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
詳細は担当教員より通知。 To be announced.		詳細は担当教員より通知。 To be announced.		授業参加（60%）、レポート（40%） Class participation (60%), essays (40%)	

<p>授業題目</p> <p>Title</p>	<p>書道</p> <p>SHODO-Japanese Calligraphy</p>	
<p>担当講師名</p> <p>Instructor (s)</p>	<p>福光敬子</p> <p>FUKUMITSU</p>	
<p>Course No.</p> <p>CUL352.04</p>	<p>講義 / 演習</p> <p>MM/ MA</p>	<p>MR</p> <p>日本文化研究 I 日本文化研究</p> <p>Research on Japanese Culture I : Topics in Japanese Culture</p>
<p>目標</p> <p>Objective</p>	<p>この授業の目標は、日本における書道を実習し、また書道の古典作品、現代作品を鑑賞することによって、日本の文化に多面的に接し、理解を深めることにある。</p>	
<p>授業内容</p> <p>Description</p>	<p>(1) 第1～3週・・・漢字の書体(篆書、隸書、楷書、行書、草書)の変遷をたどる。また、日本でのひらがな、カタカナの誕生を理解する。ひらがな、カタカナの美しく正しい形を理解する。</p> <p>(2) 第4～5週・・・書道の用具の説明。小筆で仮名を実習。変体仮名の起源の解説を聞き、読み方を練習する。またそれらの使用例を臨書する。</p> <p>(3) 第6～9週・・・漢字が持つ意味の深さ、それを筆で表現する意味、書体の変遷だけでなく、書風の変遷を知り、実作しながら、書表現を考える。</p> <p>(4) 第10～14週・・・書の古典作品を紹介し、実作における内容を充実させる。</p> <p>(5) 第15週・・・最終作品を展示し、各自が書道と作品について発表を行う。中国と日本の書道の歴史、漢字の起源、書体の変遷、仮名の成立過程、書道教育、について概説を行いつつ、日本の伝統文化にどのようなつながりを感じたかを考える。</p> <p>すべでの書道と仮名、変体仮名の読み方、覚え方、書き方を学習することにより、書道の古典作品の鑑賞につなげる。</p> <p>受講学生は20名を限度とする。</p>	
<p>目標</p> <p>Objective</p>	<p>Japanese calligraphy is not only deeply concerned with primary school, high school education, and our daily lives, but it is also a figurative art in itself that uses both Kanji and Kana. The aim of this class is to help students understand Japanese calligraphy and take great interest in it.</p>	<p>(1)Week 1～3・・・understanding the birth of Hiragana and Katakana, following the transition of five styles of Kanji and practice of them in beautiful and proper figure with pen or pencil</p> <p>(2)Week 4～5・・・explanation of Shodo tools, practice of Kana with a small brush, practice how to read and write Kana and Hentaigana with the explanation of its origin.</p> <p>(3)Week 6～9・・・practice Kanji or Kana on Hanshi paper with a brush, and make a work on special paper</p> <p>(4)Week 10～14・・・practice and make a scroll work</p> <p>(5)Week 15・・・presentation with own work</p> <p>Lecture about the history of Shodo in China and Japan, the origin of Kanji, the transition of the five styles of Kanji and Kana, and the education, practicing them in beautiful and proper figure.</p> <p>Learning how to read, remember and write cursive style or Hentaigana</p> <p>Appreciation of Shodo written by the students, also classic works</p> <p>Attendance, maximum 20</p>
<p>テキスト</p> <p>Textbook (s)</p>	<p>『留學生のための書道(入門編)』を配布。 書道用具セット(硯、下敷き、文鎮、ケース、バッグ)は4週目に貸し出し、最終日に返却する。 消耗品(大筆、かな筆、すみ、半紙)は4週目に購入する。(およそ2050円)その後連絡に応じて半紙、小画仙紙、色紙、仮巻などを購入する。(およそ1000円) You can get "Japanese calligraphy for foreign students ?basic guide" written by Fukumitsu Keiko published by CJLC. You can borrow Shodo tool set, ink stone, mat, paper weight, and return at the final class. You should buy the consumption articles, big brush, small brush for Kana, Sumi-ink stick, Hanshi paper (about 2050) You will buy more Hanshi paper, special paper, scroll accordingly (about 1000)</p>	<p>参考書</p> <p>Bibliography</p> <p>「書法之美」「日本書道史」「中国書道史」「新書道字典」「いづれも二玄社」 「書道I」「書道II」「書道III」(東京書籍)、ほか古典法帖 多数 Bibliography: "Shoho no Bi", "Nihon Shodoshi" "Chugoku Shodoshi" "Shin Shodo Jiten" (Nigensha) "Shodo I II III" (Tokyohoseki) Various kinds of books of classical masterpieces</p>
<p>評価方法</p> <p>Manner of Assessment</p>	<p>授業参加 50% 提出課題 50%</p> <p>Be based on class participation 50% Assignments + final work 50%</p>	<p>評価方法</p> <p>Manner of Assessment</p>

授業題目	Introduction to Japanese Mythology		
担当講師名	タマシ・カルメン	TAMAS	
Course No. CUL352.10	講義 / 演習 Lec./Sem.	MM/ MA MR	日本文化研究 X II 日本文化研究 Research on Japanese Culture X II : Topics in Japanese Culture
目 標 Objective	この授業は日本神話を紹介し、比較的なアプローチを使って分析することを目指す。	This course will discuss the Japanese myths recorded in the ancient chronicle "Kojiki" from a comparative perspective.	
授業内容 Description	この授業では、日本神話の重要なテーマ、つまり他界への旅、シヤーマニズム、イニシエーションの技術や英雄の誕生などへの旅、兄弟結婚、神の業、最初の英雄、太陽崇拝とシヤーマニズムを集中する。比較分析をしながら、日本神話における普遍的なモチーフと思想のパターンを明らかにする。	This course will discuss relevant themes from Japanese mythology, such as the voyage to the underworld, shamanism, initiation practices, or the birth of the hero. Japanese myths will be analyzed from a comparative perspective in an attempt to identify the universal motifs and patterns of thought	
テキスト	Textbook (s)	参考書 Bibliography	評価方法 Manner of Assessment
教科書を配布する。 Textbooks will be provided by the instructor.		1. 『古事記』校注・訳者一山口佳紀・神野志隆光 小学館 2003 2. 『日本書紀』①校注・訳者一小島憲之・直木孝次郎・西宮一民・蔵中進・毛利正守 小学館 2006 1. The Kojiki-Records of Ancient Matters, translated by B.H. Chamberlain, Charles E. Tuttle Company, Tokyo 1981 2. Nihongi-Chronicles of Japan from the Earliest Times to A.D. 697, translated by W.G. Aston, Charles E. Tuttle Company, Tokyo 1998	授業参加 (50%) 課題 (50%) Participation 50%, assignments 50%

授業題目	日本人の宗教観			Japanese View on Religion	
担当講師名	Instructor (s)	頓宮 勝	TONGU		
Course No.	Mon 3	講義 / 演習 Lec./Sem.	MM/ MA MR	日本宗教研究 I	日本宗教研究
CUL356.02	Research on Japanese Religion I : Topics in Japanese Religion				
目 標	日本人にとって宗教とは何かを明確にするために、				
Objective	(1) 日本列島の自然に育まれた宗教観を概観し、 (2) 神道と仏教に代表される日本人の習合的な傾向に見られる特質について考える。				
授業内容	日本人の宗教について考える場合、神社や寺など現代日本に見られる個別的な要素の理解だけでは不十分で、背景となる歴史的な自然観の理解が不可欠である。そこで、この授業では以下のような形で日本人の宗教観について考察する。				
Description	(1) 明暗二分法と名付ける山岳・海洋信仰の背景 (縄文時代) (2) 稲作文化導入と山岳・海洋信仰との習合的関わり (弥生時代) (3) 仏教の本質とそのアジア的展開 (4) 漢字・仏教の導入と社信仰の形成 (5) 「道」と「教」の違いとしての神道と仏教 (6) 都市仏教から山岳仏教への移行と神仏習合				
	In order to clarify the Japanese concept of religion, (1) I outline their view on religion nurtured by Nature on the Japanese archipelago, (2) and I refer to the Japanese syncretic tendency represented by Shinto (Way) and Buddhism (Teaching)				
	When we think of Japanese religion, we need to have a deep insight into the historical nature-vies against the religion apart from the understanding of individual elements in modern Japan, like shrines, temples and so on. So you will study the Japanese concepts on religion in this class as follows: (1) About the background of belief in forested mountains and the ocean termed dichotomy by the idea of darkness and brightness (Jomon period) (2) Introduction of rice-culture and its syncretic relation to item number (1) (Yayoi period) (3) The essence of Buddhism and its expansion into other Asian areas (4) Introduction of Kanji and Buddhism, plus the formation of 'Shrinitism' (5) Difference between the way and teaching in "Shinto" and "Bukkyo" (6) Syncretism of Shinto and Buddhism from a viewpoint of cities and mountains				
テキスト	Textbook (s)	参考書		Bibliography	
1. 授業用に作成した手作り資料 2. 『日本タテヨコ』 学研 (1997) 3. 『神道と仏教』 ひろさちや 新潮選書 (1999)		『日本人の信仰』 梶村昇 中公新書 (1988) Nihonjin no Shinko (Belief of Japanese People), Kajimura Noboru, Chukoshinsho, 1988		授業参加 (40%) 平常点: 授業内質疑応答 (20%) 学期末レポート (40%) Grade will be based on class participation (40%), class activities (20%) and final essay (40%)	
1. Self-made Handouts 2. Japan As It Is, Gakken, 1997 3. Bukkyo to Shinto (Buddhism and Shinto), Hiro Sachiya, Shincho, 1999					

授業題目	Title			Introduction to Modern Japanese Religion		
担当講師名	Instructor (s)			BURENINA		
Course No.	Wed 2	講義 / 演習 Lec./Sem.	MM/ MA MR	日本文化研究 VII	日本宗教研究	
CUL356.04	Research on Japanese Culture VII : Topics in Japanese Religion					
目標 Objective	この授業の目的は近代日本宗教思想に関する基礎的な知識を獲得することである。			The purpose of this course is to acquire some fundamental knowledge about religion in modern Japan.		
授業内容 Description	明治期に翻訳語として成立した様々な概念（「宗教」、「仏教」、「近代」など）の意味と歴史的背景を踏まえながら、近代日本における仏教、神道、キリスト教の再解釈にかかわる諸問題を取り上げる。			By analyzing the meaning and historical backgrounds of the concepts, which were translated in Meiji Japan from English (such as "religion", "Buddhism", "modernity" and others), we will take up some problems of the reinterpretation of Buddhism, Shintoism and Christianity in modern Japan.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment	
資料・ハンドアウトを配布する。 Necessary materials and handouts will be provided.		石塚正英, 柴田隆行監修『哲学・思想翻訳語事典』(論創社, 2013年) 佐藤弘夫編『概説日本思想史』(ミネルヴァ書房, 2005) 末木文美士著『日本宗教史』(岩波新書, 2006年) Marc M.Mullins, Shimazono Susumu, Paul L.Swanson Religion and Society in Modern Japan: Selected Readings (Nanzan Studies in Asian Religions), Asian Humanities Pr., 1993. Jason Ananda Josephson The invention of Religion in Japan. The University of Chicago Press, 2012.		授業参加 (50%) とレポート / クラス発表 (50%) による総合評価 Class participation (50%) and presentation/or report (50%)		

授業題目	ことばと言語学の入門			An Introduction to Japanese Language and Linguistics	
担当講師名	ヴォーゲ・ヨーラン		VAAGE		
Course No.	講義/演習	MM/ MA	日本語学研究 V	日本語学研究	
LIN331.06	Lec./Sem.	MR	Research on Japanese Linguistics V : Topics in Japanese Linguistics		
目標	この授業は、ゼロから始めることばと言語学の入門講義だが、トピックによってより深い知識を得て、言葉と社会のフィールドワークを行うためのスキルも身に付ける。				
Objective	This is a general introduction course on Japanese language and linguistic in English starting from scratch, but we will also investigate deeper into some important topics, and learn how to do fieldwork on language and society. The classes will mostly be lectures, but there will also be time to do some exercises.				
授業内容	この授業で取り上げる主な項目は以下の通りです。				
Description	<p>I. ことばの起源と言語の進化</p> <p>II. 言語学の諸分野</p> <p>III. 書き言葉と話し言葉、さまざまな記号、言語の転写</p> <p>IV. 社会言語学：ジェンダー、若者ことば、方言、言語はどうやって変化するか</p> <p>V. 日本語の特徴</p> <p>VI. 関西弁</p> <p>VII. フィールドワークのやり方</p>				
テキスト	参考書	Bibliography			
Textbook (s)	ライアンズ・ジョン 1987 『言語と言語学』 岩波書店 岡本・氏原・真田 2006 『聞いておぼえる関西 (大阪) 弁入門』 ひつじ書房 Lyons, J. 1981. Language and Linguistics: An Introduction. Cambridge.	評価方法	Manner of Assessment		
資料配布	Specially prepared materials will be distributed in class.	授業参加 (50%)、試験 (50%) Class participation (50%), Final test (50%)			

授業題目	日本政治思想入門 Introduction to Japanese Politics		
担当講師名	カルモナ・ダニエル	CARMONA	
Course No.	講義 / 演習	MM/ MA	日本政治思想研究 I 日本政治思想研究
SOC362.02	Lec./Sem.	MR	Research on Japanese politics and Economy I : Topics in Japanese Political Thought
目標 Objective	この授業の目的は日本政治についての理解を深めることである。		
授業内容 Description	この授業は、日本語能力は入門程度であるが、日本政治について学ぼうとする学習者向けの授業である。日本語のテキストを通じて、日本政治に関する話題を理解するための用語を習得し、英語での議論を通じて、学習者は様々な時事問題について遠慮なく意見を述べることができる。		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
参考書に基づきプリントやコピーを配布する。 Handouts and copies from the reference list will be provided.		『留学生のための入門日本政治』 大阪外国語大学 留学生日本語教育センター (2001) Introducing Japanese Politics for Foreign Students, Center for Japanese Language, Osaka University of Foreign Studies (2001)	評価方法
			Manner of Assessment
			授業参加 (30%) 学期末試験 (70%) Class participation 30% Final examination 70%

授業題目	Title			現代日本社会の分析		Analysis of Contemporary Japanese Society	
担当講師名	Instructor (s)	渡邊親文		WATANABE			
Course No. SOC364.04	Tue 2	講義 / 演習 Lec./Sem.	MM/ MA MR	日本社会研究 I	日本社会研究 Research on Japanese Society I : Topics in Japanese Society		
目標 Objective	このコースの目的は、時事問題等の考察を通して、日本の文化・思想・歴史などに対する理解を深めることである。			The objective of this course is to deepen the students' understanding of Japanese culture, thought, history, etc., through considerations of the current topics on Japan.			
授業内容 Description	授業で扱う項目は以下の通りである： 政治 経済 文化 教育 宗教 国際関係など			Topics covered in this course are as follows: Politics Economics Culture Education Religion International Relations, etc.			
テキスト	Textbook (s)	朝日新聞論説委員会、『天声人語』，講談社インターナショナル Asahi Shimbun Editorial Board, Vox Populi, Vox Dei, Kodansha International		参考書	『ジャパンタイムズ社説集』，ジャパンタイムズ The Japan Times, EDITORIALS, the Japan Times		
				評価方法	授業参加 (60%)，発表 (40%) の総合評価 Grade will be based on class participation (60%), oral presentation (40%).		

授業題目	Title			東日本大震災と日本社会へのインパクト			The Great East Japan Earthquake and Tsunami and its Impact to Japan		
担当講師名	Instructor (s)			桜井愛子			SAKURAI		
Course No.	Thu 4			講義 / 演習			MM/ MA		
SOC364.06	Lec./Sem.			MR			日本社会研究 III 日本社会研究 Research on Japanese Society III : Topics in Japanese Religion		
目 標	<p>東日本大震災とその復興プロセスへの理解を深める。減災社会に向けて防災全般に対する知識を身に付ける。東日本大震災の日本社会経済等へのインパクトを分析し、現代日本社会の直面する諸課題について理解を深めるとともに、世界の中の日本の位置づけを把握する。</p>								
Objective	<p>東日本大震災で何が起きたのか？ 地震と津波の発生メカニズム 福島第一原子力発電所事故 震災に対する政府の対応と批判 リスク認識と避難行動 防災教育 日本経済、財政へのインパクト 日本のエネルギー政策 復興政策と復興計画、等</p>								
授業内容	<p>Mechanism of earthquake and tsunami Fukushima nuclear power plant accident The Japanese government's response and critics Risk perception and evacuation behavior Disaster prevention education Impact to the Japanese economy and finance Japanese energy policy Recovery policy and recovery planning, etc.</p>								
Description	<p>The aim of this course is to deepen the students' understanding of the Great East Japan Earthquake and Tsunami and its recover process. The course also intends that students acquire knowledge of disaster risk reduction through the analysis of the mechanism of the earthquake and tsunami. In addition, through the analysis of impacts of the Great East Japan Earthquake on the Japanese society and economy, students identify issues and challenges that the current Japan faces and where Japan is located in a global context.</p>								
テキスト	Textbook (s)			参考書			Bibliography		
授業時にハンドアウトを配布する	Handouts prepared for each class based on newspaper articles, government documents, and other available resources.			平成 23 年度『防災白書(英語版)』 世界銀行「大規模災害から学ぶ」東日本大震災からの教訓(2012年) The Government of Japan, "White Paper on Disaster Management 2011" The World Bank, (2012). "The Great East Japan Earthquake: Learning from Megadisasters, Knowledge Notes, Executive Summary".			<p>評価方法</p> <p>授業参加 (20%) 中間発表 (30%) 最終発表またはレポート (50%) Class participation (20%), mid-term presentation (30%) and final report or presentation (50%)</p>		
Manner of Assessment									

授業題目	Introduction to Japanese Art History		
担当講師名	井面舞	INOMO	
Course No. CUL350.02	講義 Lec.	J/M R	日本文化講義 IX 日本美術史入門 Lecture Course on Japanese Culture IX : Introduction to Art History in Japan
目標 Objective	<p>伝統的な絵画から現代のマンガまで、さまざまな日本の美術作品を鑑賞することで、日本の芸術文化への理解を深め、また作品の楽しみ方を学ぶ。</p> <p>この授業では絵巻・掛軸・屏風・襖絵など様々な形をした日本の絵画について、それぞれの形独特の鑑賞の仕方、楽しみ方を紹介する。また日本の伝統的な絵画が、実は現代のマンガと通じる要素を持っていることを、作品を見ながら確認していく。</p> <p>The purpose of this class is to understand the art culture of Japan from traditional pictures to present-day Manga, and to learn happiness to appreciate the works.</p> <p>There are various forms, such as a picture scroll (Emaki), a hanging scroll (Kakejiku), a folding screen (Byobu), and fusuma painting (Fusumae), in Japanese pictures.</p> <p>In this class, we learn about those charm and the how to enjoy them.</p> <p>Furthermore, we confirm that traditional Japanese pictures have in fact the elements which leads to present-day Manga, looking at the works.</p>		
授業内容 Description			
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
ハンドアウト Handouts		榊原悟、『日本絵画のあそび』（岩波書店、1998） Sakakibara Satoru, "Nihonkaiga no Asobi", Iwanamishoten, 1998	評価方法 Manner of Assessment 授業参加 (50%)、レポート (50%) Participation(50%), Final report(50%)

授業題目	日本民俗学入門			Introduction to Japanese Ethnology	
担当講師名	タマシ・カルメン		TAMAS		
Course No. CUL351.02	講義 Lec.	J/M R	日本文化研究 X IV 民俗学入門	Research on Japanese Culture X IV : Introduction to Folklore	
目標 Objective	この授業では、日本の伝統的な信仰、日本の祭りそれぞれに関わる基本的な専門用語について知識を得る。		This course aims to introduce the students to Japanese traditional beliefs, Japanese festivals and the vocabulary and concepts specific to this field of study.		
授業内容 Description	この授業では、日本の研究者の論文を読み、日本の信仰、宗教や、代表的な祭りを理解する。秋と冬の祭り、つまり花祭り、神楽、ナマハゲなどと伝統的な信仰に関わる儀礼と儀式を中心とする。比較的にデイスカッションしながら独特な語彙都概念を分析し、フィールドワークイベントに参加することもある。		By reading a variety of texts written by Japanese scholars, the students will be introduced to the world of Japanese beliefs, religions and festivals. We shall focus on autumn-winter festivals such as Hana Matsuri, various types of kagura or Namahage, as well as rituals and practices pertaining to Japanese traditional beliefs. Students will also have the chance to participate in one or two fieldwork events.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
授業でハンドアウトを配布する。 Materials will be provided by the instructor.		『祭礼行事』全47巻 おうふう 『日本民族大辞典』吉川弘文館 Ichiro Hori-- Folk Religion in Japan, The University of Chicago Press 1968		授業参加 50%、課題 50% Participation 50%, assignments 50%	

授業題目	日本人の人生儀礼と年中行事			Traditional Life Ceremony & Annual function		
担当講師名	本林靖久	MOTOBAYASHI				
Course No. CUL352.02	講義 Lec.	Mon 1	J/M R	日本文化講義 I 日本文化入門	Lecture Course on Japanese Culture I : Introduction to Japanese Culture	
目標 Objective	授業では日本の伝統的な人生儀礼や年中行事の映像を見ながら、解説し、日本文化に対する幅広く柔軟な見方を養うことを目的としている。		In this class, it sees the image of the Japanese culture and it is explained. This class takes an expansive view of Japanese culture, and aims at developing a flexible point of view.			
授業内容 Description	日本人の伝統的な人生儀礼（出産、産育、成人、結婚、厄年・年祝い、葬送儀礼）と年中行事を学びながらも、一方で、現代社会の中で、このような儀礼がどのように変化しているのかを考えてみたい。		These lectures teach about Japanese traditional life ceremony (e.g. Childbirth, Coming-of age ceremony, Marriage, Funeral, and Age celebration,) & annual function. They also look at how their traditional ceremonies have changed due to modern society.			
テキスト	テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
講師作成のテキスト Manuscripts composed by the lecturer					試験 (80%)・平常点 (20%) examination(80%) and participation(20%)	

授業題目	茶と茶の文化		Tea and tea culture		
担当講師名	久岡明穂		HISAOKA		
Course No. CUL352.06	授業 Sem.	J/M R	日本文化演習 V 日本文化と茶道 Seminar Course on Japanese Culture V : The way of tea and Japanese culture		
目標 Objective	茶の文化についての知識を身につける		Students learn tea and tea culture.		
授業内容 Description	<p>(1) 茶と茶の文化</p> <p>茶道の歴史、茶道と煎茶道、茶葉、茶菓子、茶席のしつらい</p> <p>(2) 点前の意義とお客の心得</p> <p>(3) 受講生のスピーチ：世界のお茶の文化</p> <p>* 受講生の人数により、煎茶道点前の実演または体験を和室で行います。</p>		<p>(1) Tea and tea cultures</p> <p>History of tea, powdered tea ceremony and green tea ceremony, tea leaves, Japanese sweets, setting up a tea ceremony.</p> <p>(2) Tea ceremony and guest-manners</p> <p>(3) Students speeches; Tea cultures in the world</p> <p>* If possible, students challenge the performance of green tea ceremony in Japanese room.</p>		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
プリントを配布。 実演・体験の授業日は、茶葉・菓子代自己負担。(1回300～500円) Materials prepared by the instructor. At a performance of green tea ceremony, you should pay the cost of tea leaf and Japanese sweets. (500JPY per a ceremony)		日本茶検定委員会監修『日本茶のすべてがわかる本』 全日本煎茶道連盟監修『煎茶道のすすめ』 小川後楽著『しっかりわかる、煎茶入門』 千宗室著『裏千家茶道のおしえ』		授業参加 80%・レポート (発表) 20% Class participation 80% Speech 20%	

授業題目	Title			大阪の勉強しようか Why don't you study Osaka?		
担当講師名	Instructor (s)			嶋本隆光 SHIMAMOTO		
Course No. CUL352.08	Tue 2	演習 Sem.	J/M R	日本文化研究 III 地域文化研究 Research on Japanese Culture III : Studies in Japanese Local Culture		
目標 Objective	皆さんが留学地に選んだ大阪について広く、浅く知る			To get to know a little bit of everything about Osaka, where you have decided to study.		
授業内容 Description	大坂の町の歴史、文化、風俗など幅広く学ぶ。1 セメスターに2回、大阪の街歩きを行う。			We are planning to study a variety of aspects of Osaka city, such as history, culture, social life, you name it.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment	
留学生のための大阪読本		必要に応じて配布 To be distributed when necessary		授業出席 フィードバック リポート Class attendance Field work Final report	50% 30% 20% 50% 30% 20%	

授業題目	Title			Introduction to Studies for comparative Culture		
担当講師名	Instructor (s)			岩井茂樹		
Course No. CUL352.12	Wed 3	演習 Sem.	J/M R	日本文化研究 IX 比較文化研究 Research on Japanese Culture IX : Studies in Japanese Culture		
目標 Objective	比較文化研究に関する論文や入門書などを読みながら、比較文化研究に関する基礎的な知識を習得すること。			The purpose of this class is to acquire some fundamental aspects of studies for comparative culture through reading introductory papers, articles and books on it.		
授業内容 Description	比較文化研究に関する論文や入門書を購読と、ディスカッションを行う。			This course is designed to help students improve their skill in taking about frequently-discussed topics in studies for comparative culture.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment	
資料・テキストは配布する。 Handouts					授業出席 (70%)、課題提出 (30%) Class attendance(70%) and assignments(30%)	

授業題目	日本史入門			Introduction to Japanese History	
担当講師名	佐野方郁		SANO		
Course No. CUL353.02	Wed 5	講義 Lec.	J/M R	日本文化講義 VII 日本史入門	Lecture Course on Japanese Culture VII : Introduction to Japanese History
目標 Objective	日本の歴史に関する基本的知識を取得する。			The objective of this class is to learn basic knowledge of Japanese history.	
授業内容 Description	<p>このクラスは、日本の歴史をほとんど勉強したことのない学生が、原始時代から近代までの日本の歴史を勉強するためのクラスです。講義で使うテキストは『留学生のための日本史』です。</p> <p>授業の内容は次の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 授業の説明/ブレースメント・テスト (2) 一つの時代ですか？ (3) ひとつがすむー石器から土器へー (4) 米をつくるー農耕と金属器の時代ー (5) 統一政権の誕生ー古墳の時代ー (6) 古代国家の形成ー律令の時代ー (7) 律令国家の変容ー貴族の時代ー (8) 武士政権の登場ー貴族と武士の二重政権ー (9) 筆記試験 (1) (10) 武士社会の展開ー庶民と戦国大名の台頭ー (11) 全国統一の完成ーヨーロッパ人の来航と日本ー (12) 幕藩体制の確立ー身分制と鎖国の時代ー (13) 開港と日本の近代化ー明治維新の時代ー (14) 帝国憲法体制の展開ー立憲主義から軍国主義へー (15) 筆記試験 (2) 			<p>This class is designed for students who have hardly studied Japanese History in their own countries. In this class we will study Japanese history from the primitive period to the modern period.</p> <p>Topics covered on this class are as below.</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) Introduction to the Class/ Placement test (2) What are periods of Japanese History ? (3) Early Inhabitants in Japan: From stone tools to pottery (4) Growing rice: Introduction of Agriculture and Metal tools (5) Creation of a United State: Age of Great Tombs (6) Formation of Japanese Ancient State: Age of Risturyo Codes (7) Transformation of Ristu-ryo State: Age of Court Nobles (8) Rise of Warrior Rule: Authority Spilt between Court Nobles and Feudal Warlords (9) Paper Test(1) (10) Development of Warrior Society: Rise of Commoners and Warring States' Daimyo (11) Completion of National Unity: Coming of Europeans to Japan (12) Consolidation of Baku-han System: Age of Feudal Class Divisions and National Seclusion (13) Open Ports and Japan's modernization: Meiji Restoration (14) Development of Constitutional Government: From Constitutionalism to Militarism (15) Paper Test(2) 	
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
『留学生のための日本史』（山川出版社、1990年）				出席点 (50%) / 参加点 (10%) / 筆記試験 × 2 回 (40%) Class Attendance (50%)/ Class Participation (10%) / Paper Test × 2 (40%)	

授業題目	Title			Introduction to Contemporary Japanese Society and Culture	
担当講師名	Instructor (s)	WATANABE			
Course No. CUL355.02	Tue 1	講義 Lec.	J/M R	日本文化講義 V Lecture Course on Japanese Culture V	現代社会入門 Introduction to Contemporary Japanese Society
目標 Objective	新聞やドキュメンタリ番組などを通して、若者文化・宗教・政治・教育など現代日本社会の諸相を理解すること。		The goal of this course is to understand various aspects of contemporary Japanese society, such as youth subculture, religion, politics and so on, through reading newspapers and watching TV programs.		
授業内容 Description	講義全体の説明 政治 経済 文化（アニメなどの若者文化も含む） 宗教（神道・仏教） 教育 国際関係	Introduction to the Course Politics Economics Culture (including youth subculture, e.g., ANIME, OTAKU) Religion (Shinto and Buddhism) Education International Relations			
テキスト	Textbook (s)	参考書 Bibliography	評価方法 Manner of Assessment		
朝日新聞論説委員会『ベスト・オブ・天声人語』 講談社 Asahi Shimbun Editorial Board, VOX POPULI VOX DEI, Kodansha		ジャパンタイムズ編『社説集』ジャパンタイムズ The Japan Times, EDITORIALS, The Japan Times	授業参加（60%）、課題（40%）による総合評価 Grade will be based on class participation (60%) and assignment/oral presentation (40%).		

授業題目	Religious Encounters of East and West 宗教に見られる東西の出会い		
担当講師名	ソブチェック・マウゴジヤータ SOBCZYK		
Course No. CUL356.06	講義 Lec.	J/M R	日本文化研究 V 宗教史入門 Research on Japanese Culture V : Introduction to Religion
目標 Objective	<p>この授業を貫く視点を東西交流に定めて、日本の宗教がそれに触れた西欧人の目にどのように映ったのか、また外来の宗教が日本でどのように受け入れられたのかについて学習します。</p> <p>This course focuses on the encounter of East and West and introduces students to how the Europeans perceived religious traditions of Japan, and how Japan received foreign religious traditions.</p>		
授業内容 Description	<p>日本人がこれまで三期にわたって、外来の宗教を集中的に取り入れてきた。そのうち、第二期に当たる、十六・十七世紀、いわゆる「キリシタン世紀」にさかのぼる諸記録をもとに、当時の誤った認識をただしながら、日本宗教に関する理解を深めていきます。</p> <p>この授業では、以下のような課題を取り上げる予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ザビエルが来日する前の日本宗教に関する情報 ・ヨーロッパに伝播した日本宗教に関する初期の情報 ・日本のキリスト教 ・ザビエルが来日してからの日本宗教に関する情報 ・仏教とキリスト教の交渉 ・キリスト教から見た修験道 ・キリスト教から見た補陀落渡海（ふだらくとかい） ・キリスト教から見た真宗 ・キリスト教の迫害 ・踏み絵 ・反キリスト教的な物語 ・地下信仰 <p>Japan has intensively adopted foreign religions in three stages in history. This course covers the second of them, namely 16th and 17th century, also referred to as a Christian century. It introduces students to accounts of the time, and by challenging some misconceptions about Japanese beliefs leads students to their better understanding. The course will cover the following topics:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Knowledge on Japanese religions prior to the arrival of Francis Xavier ・ Early knowledge on Japanese religions introduced in Europe ・ Christianity in Japan ・ Knowledge on Japanese religions after the arrival of Francis Xavier ・ Confrontations between Buddhism and Christianity ・ Christian views on Shugendō? ・ Christian views on voyages to Potalaka ・ Christian views on the True Pure Land School of Buddhism ・ Persecutions of Japanese Christianity ・ Treading on Christian devotional images ・ Anti-Christian literature in Japan ・ Hidden Christians 		
テキスト	Textbook (s)	参考書 Bibliography	評価方法 Manner of Assessment
		<p>神田千里『宗教で読む戦国時代』東京：講談社、2010</p> <p>G. Schurhammer『イエズス会宣教師が見た日本の神々』青土社、2007</p>	<p>学期末レポート (80%)</p> <p>授業参加 (20%)</p> <p>Final report (80%)</p> <p>Class attendance (20%)</p>

授業題目	日本のテレビヒーロー			Heroes on Television in Japan	
担当講師名	加藤均	KATO.H			
Course No. CUL356.08	Wed 4	演習 Sem.	J/M R	日本文化研究 XI 宗教文化研究	Research on Japanese Culture XI : Topics in Religion Culture
目標 Objective	<p>本授業では1960年代後半にテレビに登場した2大ヒーロー、ウルトラマンと仮面ライダーを取り上げ、高度経済成長期の日本社会が求めたヒーロー像について分析する。</p>		<p>In this course we will treat two popular heroes, Ultraman and Kamen Rider, that appeared on television in the late 1960's, with the aim of understanding a vital aspect of the Japanese society in the rapid-growth period.</p>		
授業内容 Description	<p>授業では以下のテーマを取り上げる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) ヒーローに関する類型論 (2) 1960年代後半の社会背景 (3) ウルトラマンの一般の特徴 (4) ウルトラマンと安全保障 (5) 1970年前半の社会背景 (6) 仮面ライダーの一般の特徴 (7) 仮面ライダーと環境問題 (8) テレビヒーローと高度成長期の日本社会 		<p>his course covers the following topics:</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) Typology of the Japanese hero (2) Social conditions in the late 1960's (3) Characteristics of Ultraman (4) Ultraman and national security (5) Social conditions in the early 1970's (6) Characteristics of Kamen Rider (7) Kamen Rider and environmental problems (8) TV heroes and Japanese society in the rapid-growth period 		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
コースパックを配布する Course-pack provided				<p>論述試験 (80%) ・ 平常点 (20%) final essay style examination (80%) participation (20%)</p>	

授業題目	Title		日本の方言	Japanese dialects	
担当講師名	Instructor (s)	村田真実	MURATA		
Course No.	Mon 2	演習	J/M	日本語学講義 I	日本語学入門 (方言)
LIN331.02	Sem.	R	Lecture Course on Japanese Linguistics I : Introduction to Japanese Language : Dialect		
目標	<p>日本語の伝統的な地域方言に深い関心を持つこと。 大阪方言を通じて、方言研究の基本的な知識・技能を身につけること。</p>				
Objective	<p>To cultivate deep interests in traditional dialects in Japan To learn (or master) basic knowledge and skills on dialect studies by surveying Osaka dialect</p>				
授業内容	<p>前半は既存の言語地図を、後半は談話資料を用いて、大阪方言の特徴を調べる方法を学ぶ。成果はレポートにして報告すること。</p>				
Description	<p>前半は既存の言語地図を、後半は談話資料を用いて、大阪方言の特徴を調べる方法を学ぶ。成果はレポートにして報告すること。 <スケジュール> 1. ガイダンス 2. 概論 (社会言語学における地域言語論の位置づけ、方言研究の意義、日本語のバリエーションを知る) 3-7. 言語地図の分析 8. 中間発表 (プレゼンテーション) 9-14. 談話資料の分析 15. レポート提出</p>				
テキスト	Textbook (s)	参考書		Bibliography	
指定なし		『日本方言大辞典』小学館 『都道府県別 全国方言辞典』三省堂 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集 成』国立国語研究所 『日本語地図』国立国語研究所 『方言文法全国地図』国立国語研究所 『大阪のことば地図』和泉書院		<p>評価方法</p> <p>中間発表 (50%)、レポート (50%) Presentation (50%), Paper (50%)</p>	
		Manner of Assessment			

授業題目	日本語のデータに基づく意味論・語用論概説 An Overview of Linguistic Semantics and Pragmatics based on Japanese Data		
担当講師名	今井忍	IMAI	
Course No. LIN331.04	講義 Lec.	J/M R	日本語学講義 III 日本語学入門 (意味論) Lecture Course on Japanese Linguistics III : Introduction to Japanese Language ; Semantics
目標 Objective	言語学の基本的な分野である意味論と語用論について日本語のデータに基づいて概説する。これらの分野の基本的な概念とそれに関連する研究史を中心に解説する。		
授業内容 Description	この授業では、以下のような概念を取り上げる予定である。 ● 論理的含意 ● 上位語・下位語 ● 同義語・反義語 ● 成分分析 ● 前提 ● 直示 ● 会話の含意 ● 会話の公理 ● 言語行為論 ● メタファー・メトニミー・シネクドキー ● 意味のプロトタイプ ● メンタルスペース		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
ハンドアウトを使用する Handouts		金水敏・今仁生美／意味と文脈 (現代言語学入門4) / 岩波書店 / 4000066943 林栄一・小泉保 編／言語学の潮流／勁草書房 / 4326152109 その他、授業中に紹介する Kinsui, S. and I. Imani / Imi to bunmyaku (Meaning and Context) / Iwanami Shoten / 4000066943 Hayashi, E. and T. Koizumi eds. / Gendai Gengogaku no Cho-ryu (Trends in Modern Linguistics) / Keiso Shobo / 4326152109	評価方法
		平常点 (出席、議論への参加、小テスト) : 40% 最終試験 : 60% Attendance, participation in discussion and quizzes: 40% Final examination: 60%	Manner of Assessment

授業題目	Pragmatics and Japanese Grammar		
	語用論と日本語文法	NAKATA	
担当講師名	中田一志		
Course No. LIN331.08	講義 Lec.	J/M R	日本語学講義 V 日本語学入門 (語用論) Lecture Course on Japanese Linguistics V : Introduction to Japanese Language ; Pragmatics
目標 Objective	語用論を学び、日本語の文法現象について議論する。		
授業内容 Description	<p>主なトピックは次の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 直示 2. 推意 3. 前提 4. 言語行為 5. 談話分析 6. 丁寧さ <p>また、ゲストスピーカーによる授業も予定している。</p>		
目 標 Objective	Through learning pragmatics, we will discuss controversial issues of the grammar.		
授業内容 Description	<p>Main topics are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Deixis 2. Implicature 3. Presupposition 4. Speech Act 5. Discourse Analysis 6. Politeness <p>Guest speakers scheduled.</p>		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
授業で配布する。 Distributed in Classes		小泉保編『入門語用論研究』研究社 Koizumi, Tamotsu ed. Nyuumon Goyoron Kenkyu. Kenkyuusha.	授業参加 60%, 期末試験 40% Class participation 60%, final examination 40%
		評価方法	Manner of Assessment

授業題目	日本語における「主語」について			A Study of 'Subject' in Japanese Language	
担当講師名	Instructor (s)	SHOJI			
Course No. LIN331.10	Wed 5	講義 Lec.	J/M R	日本語学講義 VII 日本語学入門 (形態論・統語論)	Lecture Course on Japanese Linguistics VII : Introduction to Japanese Language : Morphology and Syntax
目標 Objective	日本語の構文を考える際に、「主語」という概念が有効に働かない場合があることを認識し、ひいては多くの日本語学習者が陥る問題、いわゆる助詞「は」と「が」の使い分けについて、さらに理解を深める。				
授業内容 Description	<p>授業は 大きく次の三つの点について順に取り扱っていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本語の構文について <ul style="list-style-type: none"> 基本となる日本語の構文の種類をいくつか挙げ、それらを文法的に説明する場合に使用される表現 (文法用語) を学ぶ。 2. 「主語」とは？ <ul style="list-style-type: none"> 文法用語として一般に使用される「主語」とは一体何を指すのか、またその機能とは何であるか、日本語の構文には「主語」があるのかについて考察する。 3. 助詞「は」と「が」 <ul style="list-style-type: none"> 日本語にある数々の助詞の中で、なぜ「は」と「が」だけが問題になるのか、「は」と「が」それぞれの性質を概観し、関連する文法事象「格助詞」「ウナギ文」「日本語の語順」についても考察すること、 「は」と「が」の理解をさらに深める。 				
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
		野田尚史「日本語文法セルフ・マスターシリーズ 1 はとが」くろしお出版 (1985) 寺村秀夫ほか「ケーススタディ 日本文法」おうふう (1987)		授業参加 (80% 以上) 及び学期末試験 Class participation (80% and more) besides final examination.	

授業題目	日本語学入門 (日本語史)			Introduction to Japanese linguistics (Historical Japanese)	
担当講師名	山中延之	YAMANAKA			
Course No. LIN331.12	講義 Lec.	J/M R	日本語学講義VI 日本語学入門 (日本語史)	Lecture Course on Japanese Linguistics VI : Introduction to Japanese Language	
目標 Objective	日本語の歴史的な変化について基本的な知識を身につける。		The purpose of this course is the advancement of knowledge about the history of Japanese.		
授業内容 Description	次のようなトピックを通じて日本語の歴史の基礎を学びます。 ・日本語の「五十音図」はいつから使われているのか？ ・武士は本当に「ござる」と言っていたのか？ ・古い言葉を調べるにはどうすればよいか？ など 音韻・文法・語彙の3つの分野を、文字資料（文学作品等）や映像資料（演劇等）を通じて学びます。		It covers the fundamental aspects of language change of Japanese (phonological, syntactic, and vocabulary).		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
プリントを配布します。 Handouts		大木一夫『ガイドブック日本語史』ひつじ書房		授業参加 20%、小テスト 30%、期末テスト 50% Participation 20%, Quiz 30%, Final Examination 50%	

授業題目	日本語教授法入門 Introduction to Japanese language pedagogy		
担当講師名	大和祐子	YAMATO	
Course No.	講義	J/M	日本語学講義Ⅷ 日本語教育学入門
LIN333.02	Lec.	R	Lecture Course on Japanese Linguistics Ⅷ : Introduction to Japanese Pedagogy
目標	このクラスの目的は、外国語としての日本語教育の理論と実践について学ぶことである。		
Objective	The purpose of this class is to learn the theories and practice Japanese language pedagogy as a foreign language.		
授業内容	このクラスでは、主に以下の5点のトピックについて取り上げる。		
Description	<p>1) 日本語学習者と日本語教師</p> <p>2) コースデザインの仕方</p> <p>3) 授業計画とクラスマネージメント</p> <p>4) 教材と教具</p> <p>5) テストと評価</p> <p>このコースは、将来日本語教育に携わりたい学生であれば、日本語教育学を学んだことがあっても初めて学ぶ人でも受講することができ。このクラスでは、どのようにに外国語としての日本語教育を行えばいいのか、課題やクラスメートとのグループワークなどを通して学ぶ。</p> <p>なお、春学期に「日本語教育実習」の授業を履修したいと思っいる者は、必ず今学期、この授業を履修すること。(この授業は今学期のみ開講される)</p>		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
ハンドアウト		細川英雄編 (2002) 『ことばと文化を結ぶ日本語教育』 凡人社	評価方法
Handouts		岡崎眸・岡崎敏雄 (2001) 『日本語教育における学習の分析とデザインー言語習得過程の視点から見た日本語教育』 凡人社	授業参加, 課題, 期末テスト
		鎌田修・嶋田和子・迫田久美子編 (2008) 『プロフインエッシーを育てる』 凡人社	Class participation, Assignments, Final examination.
			Manner of Assessment

授業題目	日本近現代文学史			History of Modern Japanese Literature	
担当講師名	Instructor (s)	五之治昌比呂 GONOJI			
Course No. LIT340.02	Mon 4	講義 Lec.	J/M R	日本文学講義 I 日本文学入門	Lecture Course on Japanese Literature I : Introduction to Japanese literature
目標 Objective	<p>1) 明治以降の文学史の知識を身につける 2) 代表的な小説の一部を精読する</p>				
授業内容 Description	<p>1. 明治時代以降に書かれた有名な小説のあらすじを、易しい日本語で読みます。あらすじを読む予定の作品は、 夏目漱石『坊っちゃん』『こころ』 森鷗外『高瀬舟』 川端康成『伊豆の踊子』 などです。</p> <p>2. 小説の一部を原文で読みます。</p> <p>3. 文学史、文学用語の知識を学びます。</p> <p>4. 作品に基づき映画の一部を見ます。</p>				
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
教科書は使いません。 no textbook		Thomas Rimer, A reader's guide to Japanese literature, Kodansha International, 1991 Thomas Rimer, A reader's guide to Japanese literature, Kodansha International, 1991		出席 : 60% 試験 : 40%	participation (60%) examinations (40%)

授業題目	Title	日本文学講義Ⅲ	日本文学入門	Modern Japanese literature	
担当講師名	Instructor (s)	久岡明穂	HISAOKA		
Course No. LIT340.04	Tue 1	講義 Lec.	J/M R	日本文学講義Ⅲ 日本文学入門 Lecture Course on Japanese Literature Ⅲ : Introduction to Japanese literature	
目標 Objective	いくつかの作品を読んで日本の文学作品を理解する。	Reading of some Japanese literature works.			
授業内容 Description	この授業では、芥川龍之介や夏目漱石など明治時代以降の日本文学の作品を読みます。	This course is designed to help students understand Japanese literature. Students read some works of modern Japanese literature.			
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
プリントを配布。 Materials prepared by the instructor.				平常点 50% ・ レポート 50% Class participation 50% ・ Essay 50%	

授業題目	Title			Introduction to Traditional performing arts of Japan	
担当講師名	Instructor (s)		SHIBATA		
Course No. LIT344.02	Fri 4	柴田芳成	演習	J/M	日本文学演習 III 日本の伝統芸能
		Sem.		R	Seminar Course on Japanese Literature III : Classical Theaters of Japan
目標	日本の伝統芸能を理解するために必要な基礎知識を身につける。				
Objective	The purpose of this class is to learn the basic knowledge of various traditional performing arts of Japan.				
授業内容	<p>能、狂言、歌舞伎、文楽などを中心に、日本の伝統芸能について学ぶ。それぞれの芸能をビデオで鑑賞するとともに、作品本文を読解することによって、理解を深めることをめざす。</p> <p>また、劇場などに行く機会をもうけて、実演を鑑賞する（平日の夕方以降、土曜日、日曜日など）。</p>				
Description	<p>The aim of this class is to learn about traditional performing arts of Japan, for example Noh, Kyogen, Kabuki, Bunraku. We will learn about each performing arts through appreciating video and reading the scripts.</p> <p>We will go to watch the actual performances at the theater once or twice (on after school or weekend).</p>				
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
決まったテキストは使用しない。 There is no textbook. Handouts.		授業中に示す。		授業参加 (80%)、課題 (20%) participation (80%), assignments (20%)	

授業題目	戦後の日本経済		Postwar Japanese Economy	
担当講師名	伊藤敏雄	ITO.TOSHI		
Course No.	講義	J/M	日本政治経済研究 I 日本経済研究	
SOC360.02	Lec.	R	Research on Japanese Politics and Economy I : Topics in Japanese Political Thought	
目標	この授業の目的は、戦後日本経済の基本的な知識と専門用語を習得することである。			
Objective	The objective of this class is to acquire the basic knowledge and technical terms concerning postwar Japanese economy.			
授業内容	この授業では、第二次世界大戦から現在までの日本経済の歩みについて学習する。また、日本の産業と企業にも焦点を当てる。			
Description	<p>主な項目は、以下の通りである。</p> <p>(1) 国民所得 (2) 復興 (3) 高度成長のメカニズム (4) 石油ショックと安定成長 (5) バブル経済の崩壊 (6) 平成不況 (7) 産業構造 (8) 日本の経営 (9) 国際経済 (10) 現在の経済問題</p>			
テキスト	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
配布資料	Handouts	三橋 邦宏『ゼミナール日本経済入門』日本経済新聞社、2012年。 中村 隆英『日本経済 その成長と構造』東京大学出版会、1993年。 岡崎 晋二『工業化の軌跡 経済大前史』読売新聞社、読売新聞社、1997年。 吉川 洋『高度成長 日本を変えた6000日』読売新聞社、1999年。 Mitsubashi Norihiro, Seminar nihonkeizai nyuumon, Nihonkeizai shinbunsha, 2012. Nakamura Takafusa, Nihonkeizai: Sono seiyouto kousou, Tokyodaitakusyuppankai, 1993. Okazaki Teisuiji, Kougyouka no kiseki: Keizaitaikokuzenshi, Yomiurishinbunsha, 1997. Yoshikawa Hiroshi, Koudoseiyouto: Nippon wo kaeta 6000nichi, Yomiurishinbunsha, 1999.	授業参加 (60%)、課題 (10%)、小テスト (30%) Participation (60%), assignments (10%), quizzes (30%)	

授業題目	日本の企業経営入門 (1)			Introduction of Japanese Business Administration (1)	
担当講師名	井上千一	INOUE			
Course No.	演習	J/M	日本政治経済演習 I 経営学		
SOC361.02	Sem.	R	Seminar Course on Japanese Politics and Economy I : Japanese Business Administration		
目標	日本の経済状況および企業経営について基本的かつ全般的な理解、特に労働と雇用および生活に関する問題点を理解を目標とする。			The objective of this class is to acquire a fundamental and general understanding of an economic condition and business administration in Japan, especially of the labor, employment management systems and the condition of life in Japan.	
Objective	この授業では、はじめに映像を見ることによって、第二次世界大戦の日本経済の発展過程（1945年～1990年）を全般的に理解します。第2に、日本経済の発展過程と日本企業の成長過程を、授業中のスライドと配布プリントによって詳しく理解する。第3に、この過程で日本企業の経営システムの特質および経営手法について理解する。第4に、日本企業の労働の現場で何が起きているかをみることで、日本経済と日本企業の問題点を明らかにします。この授業により、今までとは異なる日本企業の側面を理解できるようになります。			First, we understand the development process of the Japanese economy after World War II (1945-1990) by the video. Second, we understand deeply the development process of Japanese economy and the growth process of Japanese enterprises by the slides and handouts. Third, we understand it about the way of the management system of the Japanese enterprise and the management technique in this process. Finally, we explain the problems of Japanese economy and enterprises by examining what happens in the conditions of labour in the Japanese enterprises. We learn to understand the aspects of Japanese enterprises which are different from the present by attending this class.	
授業内容					
Description					
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
資料・レジュメは毎回配布します。Handouts.		1. 吉川弘之(監修)CIP編『メイド・イン・ジャパン 日本製造業変革への指針』ダイヤモンド社、1994年。 2. 青島矢一・武石彰・マイケル・A・クスマノ編著『メイド・イン・ジャパンは終わるのか』東洋経済新報社、2010年。 3. 林直道「強奪の資本主義—戦後日本資本主義の軌跡」新日本出版、2007年。 Jcip,Made in Japan (Hb),Published by MIT, 1997. 青島矢一・武石彰・マイケル・A・クスマノ編著『メイド・イン・ジャパンは終わるのか』東洋経済新報社、2010年。		平常点 (50%) と 期末レポート (50%) Class participation 50%, Final report 50%	

授業題目	Title			現代の日本社会と若者		Contemporary Japanese society and youth	
担当講師名	Instructor (s)		NUKITA				
Course No. SOC364.02	Mon 5	講義 Lec.	J/M R	日本社会講義 I	社会学入門	Lecture Course on Japanese Society I : Introduction to Sociology	
目標 Objective	日本の若者の生活やコミュニケーションの実態について知り、社会学会的視点から考察する力を養う。			To get knowledge about social lives and communication of young Japanese and learn how to analyze them from sociological perspective.			
授業内容 Description	この授業では、学校、就労、家族、友人関係、メディア利用など、現代の日本の若者に関するトピックを順次取り上げ、議論する。それぞれのトピックについて、関連する社会学の基礎概念や各種統計データを紹介し、解説する。			In this class, we will discuss topics about young Japanese social lives such as schooling, working, family, friendship and media use. Statistical data and basic concepts of sociology concerning each topic will be given and explained.			
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment		
友枝敏雄・山田真茂留編『Do! ソシオロジ—現代日本を社会学で診る (改訂版)』(有斐閣、2013年)					授業参加 50%、最終レポート 50% Class Participation 50%, Final report 50%		

授業題目	Title	Independent Study	自主研究
担当講師名	Instructor (s)	KATO.H	加藤均
Course No. JPN219.82	Tue 4	M MIS	演習 Sem.
目標 Objective	日本語・日本文化の分野で自主的な調査研究を行う。	自主研究 Independent Study :	Students will conduct an independent study/research activity in the study field of Japanese Language and culture. Students who have proposed a study topic in the field of Japanese Language and Culture will be interviewed and assigned to a supervising professor, Under the supervision of the professor, they will conduct a research activity on the particular theme and complete the course by submitting an essay.
授業内容 Description	日本語・日本文化の分野で、具体的な研究計画を提出し、面接を受けた学生が指導担当教員のもとで調査研究を行い、その成果を研究レポートとして提出する。		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
詳細は指導教員より通知。 To be announced.		詳細は指導教員より通知。 To be announced.	授業参加 (60%)、レポート (40%) Class participation(60%),essays(40%)

授業題目	Title	Independent Study	Independent Study
担当講師名	Instructor (s)	中田一志	NAKATA
Course No. JPN219.84	Tue 4	演習 Sem.	M MIS
目標 Objective	日本語・日本文化の分野で自主的な調査研究を行う。	自主研究 Independent Study :	Students will conduct an independent study/research activity in the study field of Japanese Language and culture. Students who have proposed a study topic in the field of Japanese Language and Culture will be interviewed and assigned to a supervising professor, Under the supervision of the professor, they will conduct a research activity on the particular theme and complete the course by submitting an essay.
授業内容 Description	日本語・日本文化の分野で、具体的な研究計画を提出し、面接を受けた学生が指導担当教員のもとで調査研究を行い、その成果を研究レポートとして提出する。		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
詳細は指導教員より通知。 To be announced.		詳細は指導教員より通知。 To be announced.	授業参加 (60%)、レポート (40%) Class participation(60%),essays(40%)
		評価方法	Manner of Assessment

授業題目	Title	自主研究	Independent Study	
担当講師名	Instructor (s)	水田明男	MIZUTA	
Course No. JPN219.86	Tue 4	演習 Sem.	M MIS	自主研究 Independent Study :
目標 Objective	日本語・日本文化の分野で自主的な調査研究を行う。		Students will conduct an independent study/research activity in the study field of Japanese Language and Culture.	
授業内容 Description	日本語・日本文化の分野で、具体的な研究計画を提出し、面接を受けた学生が指導担当教員のもとで調査研究を行い、その成果を研究レポートとして提出する。		Students who have proposed a study topic in the field of Japanese Language and Culture will be interviewed and assigned to a supervising professor. Under the supervision of the professor, they will conduct a research activity on the particular theme and complete the course by submitting an essay/.	
	テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
			評価方法	Manner of Assessment
詳細は指導教員より通知。 To be announced.			授業参加 (60%)、レポート (40%) Class participation (60%), essays (40%)	

授業題目	日本語中級文法 <i>a</i>			Intermediate Japanese: Sentence Patterns <i>a</i>		
担当講師名	大和祐子、古川由理子、吉兼奈津子、田中真衣			YAMATO, FURUKAWA, YOSHIKANE, TANAKA		
Course No.	JPN300.02	Tue 1, Wed 1, Thu 2, Fri 2	実習 Rec.	MM1 MSPA	現代日本語 3A 中級文法 <i>a</i> Modern Japanese 3A : Intermediate Japanese: Sentence Patterns <i>a</i>	
目標 Objective	中級レベルの学習者の語彙・文法能力および読解能力を高める。			To develop vocaburay and grammatical skills and improve reading skills for intermediate-level students.		
授業内容 Description	日本語の初級レベルを修了していることが履修の条件となっている。現代日本語の基本文型 (約 250) や語彙 (約 5,000 語) の意味、機能、使い分けなどを学び、高い運用能力を身につけることを目指す。各課が終了した後、授業で学んだ語彙・表現などを問う小テストを行う。			Prerequisite: elementary modern Japanese course or equivalentas determined by the placement test. Designed to develop sophisticated skills in modern Japanese through study of the meanings, functions and usage of about 250 basic sentence patterns and 5,000 essential words. Small tests of grammar and vocabulary will be given after each lesson is finished.		
テキスト	Textbook (s)	『留学生のための日本語文法中級 1』 (CJLC, 2007) Japanese Grammar for Foreign Students [Intermediate Book 1] (CJLC, 2007)		参考書	Bibliography 授業中に指示する。 To be announced by the instructors.	
				評価方法	Manner of Assessment 授業参加と試験 Class participation & Examination(s)	

授業題目	日本語中級文法 β			Intermediate Japanese: Sentence Patterns β	
担当講師名	久保圭、波多野吉徳		KUBO.K、HATANO		
Course No. JPN300.12	実習 Rec.	MM1 MSPB	現代日本語 3A 中級文法 β	Modern Japanese 3A : Intermediate Japanese: Sentence Patterns β	
目標 Objective	中級レベルの学習者の語彙・文法能力および読解能力を高める。		To develop vocaburay and grammatical skills and improve reading skills for intermediate-level students.		
授業内容 Description	日本語の初級レベルを修了していることが履修の条件となっている。現代日本語の基本文型（約250）や語彙（約5,000語）の意味、機能、使い分けなどを学び、高い運用能力を身につけることを目指す。各課が終了した後、授業で学んだ語彙・表現などを問う小テストを行う。		Prerequisite: elementary modern Japanese course or equivalentas determined by the placement test. Designed to develop sophisticated skills in modern Japanese through study of the meanings, functions and usage of about 250 basic sentence patterns and 5,000 essential words. Small tests of grammar and vocabulary will be given after each lesson is finished.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
授業中に指示する。 To be announced by the instructors.		授業中に指示する。 To be announced by the instructors.		授業参加と試験 Class participation & Examination(s)	

授業題目	日本語中級文法 <i>a</i> Intermediate Japanese: Sentence Patterns <i>a</i>			
担当講師名	岸田泰浩、山澤園子、日比伊奈穂、伊藤翼斗 KISHIDA, YAMAZAWA, HIBI, ITO.Y			
Course No.	実習	MM2	現代日本語 3A	中級文法 <i>a</i>
JPN300.04	Rec.	MSPA	Modern Japanese 3A : Intermediate Japanese: Sentence Patterns <i>a</i>	
目標 Objective	中級レベルの学習者の語彙・文法能力および読解能力を高める。 To develop vocaburay and grammatical skills and improve reading skills for intermediate-level students.			
授業内容 Description	日本語の初級レベルを修了していることが履修の条件となっている。現代日本語の基本文型 (約 250) や語彙 (約 5,000 語) の意味、機能、使い分けなどを学び、高い運用能力を身につけることを目指す。各課が終了した後、授業で学んだ語彙・表現などを問う小テストを行う。 Prerequisite: elementary modern Japanese course or equivalentas determined by the placement test. Designed to develop sophisticated skills in modern Japanese through study of the meanings, functions and usage of about 250 basic sentence patterns and 5,000 essential words. Small tests of grammar and vocabulary will be given after each lesson is finished.			
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法
『中級文法 (基礎) テキスト』 (CJLC, 2013) Chukyu Bunpo (Kiso) Textbook (CJLC, 2013)	授業中に指示する。 To be announced by the instructors.			Manner of Assessment
				授業参加と試験 Class participation & Examination(s)

授業題目	日本語中級文法β			Intermediate Japanese: Sentence Patterns β	
担当講師名	原田佳代子、林和子		HARADA、HAYASHI		
Course No. JPN300.14	実習 Rec.	MM2 MSPB	現代日本語 3A 中級文法β	Modern Japanese 3A : Intermediate Japanese: Sentence Patterns β	
目標 Objective	中級レベルの学習者の語彙・文法能力および読解能力を高める。		To develop vocabulary and grammatical skills and improve reading skills for intermediate-level students.		
授業内容 Description	日本語の初級レベルを修了していることが履修の条件となっている。現代日本語の基本文型（約250）や語彙（約5,000語）の意味、機能、使い分けなどを学び、高い運用能力を身につけることを目指す。各課が終了した後、授業で学んだ語彙・表現などを問う小テストを行う。		Prerequisite: elementary modern Japanese course or equivalentas determined by the placement test. Designed to develop sophisticated skills in modern Japanese through study of the meanings, functions and usage of about 250 basic sentence patterns and 5,000 essential words. Small tests of grammar and vocabulary will be given after each lesson is finished.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
授業中に指示する。 To be announced by the instructors.	授業中に指示する。 To be announced by the instructors.	授業中に指示する。 To be announced by the instructors.		授業参加と試験 Class participation & Examination(s)	

授業題目	Intermediate Japanese Grammar		
担当講師名	中級文法 石橋玲央	ISHIBASHI	
Course No. JPN310.02	実習 Rec.	J/MM SP	日本語実習 3A 中級文法 Japanese 3A : Intermediate Japanese: Grammar
目標 Objective	<p>日本語能力試験 N2 レベルの機能語や文法項目を学ぶ</p> <p>The aim of this class is to learn functional phrases and the knowledge of grammar for the Japanese Language proficiency Test N2.</p>		
授業内容 Description	<p>形や使い方が似ている機能語を中心にさまざまな文型を学習する。</p> <p>You will learn sentence patterns focusing on functional phrases similar in form and usage.</p> <p>学習したことを確認するために、短文作成練習や練習問題も行う予定である。</p> <p>To confirm what you have learned, you will practice composition and do exercises.</p>		
テキスト	Textbook (s)	参考書 Bibliography	評価方法 Manner of Assessment
<p>佐々木仁子・松本紀子 / 「日本語能力試験」対策 日本語総まとめ N2 文法 / アスク / 978-4872177299</p> <p>Sasaki, Hitoko and Noriko Matsumoto / Japanese Language Proficiency Test Level N2 Grammar Practice (Nihongo Sou Matome) / Asuku / 978-4872177299</p>		<p>グループ・ジャマシイ / 『教師と学習者のための日本語文型辞典』 / くろしお出版 / 978-4874241882</p> <p>Group Jamashi / A Dictionary of Japanese Sentence Grammar for Teachers and Students (Kyooshi to gakushuusha no tame no Nihongo Bunkei Jiten) / Kuroshio Shuppan / 978-4874241882</p>	
		<p>平常点 (50%)、試験 (50%)</p> <p>Class participation (50%), Examination (50%)</p>	

授業題目	Title			豊かな表現のための動詞			Verbs for expression-rich Japanese		
担当講師名	Instructor (s)			ATSUTA					
Course No.	Thu 4			実習			日本語実習 3A 中級文法		
JPN310.08	Rec.			J/MM			Japanese 3A : Intermediate Japanese: Grammar		
目標	既に日常的に使っている動詞を、形・意味・機能という点から整理・確認し、それらの表現の定着をはかる			To review the verbs already used on a daily basis and have a fresh look at their form, meaning and function. These verbs will be studied by practicing how to use them. Students will also familiarize themselves with expressions and phrases in which they are used.					
Objective	①よく知っている動詞にどんな表現や連語があるのか、辞書を使って主体的に学ぶ			1) Expressions and phrases containing well-known verbs will be actively investigated by means of a dictionary.					
授業内容	②「する・した・している」の使い分けができているか、受身、使役動詞が含まれる表現をうまく使えているかなど、つまずきやすい文法項目をいくつか取り上げて、効果的に使えるように練習する			2) Participants will improve their proficiency in e.g. - the correct usage of the grammatical aspect of verbs - effectively employing expressions containing the passive and causative form of verbs					
Description									
テキスト	Textbook (s)			参考書			Bibliography		
砂川有里子 / 『日本語文法セルフ・マスターシリーズ 2 する・した・している』 / くろしお出版	庵功雄、清水佳子『時間を表す表現 - テンス・アスペクト -』スリーエーネットワーク (2003) 秋元美晴・有賀千賀子『ペアで覚えるいろいろなことば 初・中級学習者のための連語の整理』武蔵野書院 (1996)			庵功雄、清水佳子『時間を表す表現 - テンス・アスペクト -』スリーエーネットワーク (2003) 秋元美晴・有賀千賀子『ペアで覚えるいろいろなことば 初・中級学習者のための連語の整理』武蔵野書院 (1996)			授業参加 (40%)、課題提出 (60%) Participation(40%), Assignments(60%)		
				評価方法			Manner of Assessment		

授業題目	Title			Functional Japanese, Intermediate			
担当講師名	Instructor (s)			SHUTO			
Course No.	Fri 3		実習	J/MM	日本語実習 3A 中級文法		
JPN310.10	Rec.			SP	Japanese 3A : Intermediate Japanese: Grammar		
目標	Objective			To learn function words and grammatical items focusing on the N2 level of the Japanese language proficiency Test (JLPT N2).			
授業内容	Description			Through class discussions, to learn grammatical rules for how to use similar function words of JLPT N2 level. Composition of short sentences as well as practice exercises will follow.			
テキスト	Textbook (s)		参考書	Bibliography		評価方法	Manner of Assessment
ハンドアウトを配布 Handouts			友松悦子他著『新完全マスター文法 日本語能力試験 N2』スリーエーネットワーク グループ・ジャマシイ『教師と学習者のための日本語文型辞典』くろしお出版	日本語能力 日本語能力		平常点 (50%)、課題 (50%) Grade will be based upon class participation(50%), and assignments(50%).	

授業題目	漢字語彙を広げよう			Enriching Kanji-Vocabulary	
担当講師名	久保田ゆかり		KUBOTA		
Course No.	JPN313.02	実習	J/MM	中級漢字	
Mon 1	Rec.	K		Japanese 3B : Intermediate Japanese: Kanji	
目標	この授業の目的は、形、読み、意味の各点から漢字を体系的に学ぶことにより、漢字の読み書き能力を向上させることにある。また、用法についても学び、漢字の運用能力を高める。教育漢字(1,000字)を中心に学習する。				
Objective	This course is designed to develop students' ability to read and write Kanji by systematically approaching to it from figures, reading, and meanings. It also aims to enable students to acquire proficiency in the usages of Kanji. We will focus on the "Kyoiku Kanji" or basic Kanji (about 1000 characters) in this class.				
授業内容	<p>授業のスケジュールは次の通り。</p> <p>第1～5週：漢字の形 同じ部首の漢字、同じ部分を持つ漢字</p> <p>第6～9週：漢字の読み 誤りやすい漢字、主に音読みの漢字、主に訓読みの漢字、二通り以上の音がある漢字</p> <p>第10～13週：漢字の意味 関連がある漢字、対の意味の漢字、似た意味の漢字</p> <p>第14～15週 学期末テスト、返却・解説</p> <p>毎回、授業の初めに復習テストを行う。</p>				
Description	<p>The schedule of this course is as follows:</p> <p>Week 1-5: Figures Kanji with the same radical; Kanji with the same structural part</p> <p>Week 6-9: Reading Kanji with the same reading; Chinese reading of Kanji; Japanese reading of Kanji; Kanji with plural readings</p> <p>Week 10-13: Meanings Related Kanji; Paired meaning of Kanji; Similar meaning of Kanji</p> <p>Week 14-15 Term examination and comments</p> <p>A review quiz will be given at the beginning of every class.</p>				
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
コピーを配付。 Handouts		『中学漢字ドリル 1945 字』 教学研究社、1994 年。 近藤政美、濱千代いづみ『漢字ハンドブック』 和泉書院、2006 年。 松本節子、菅野章子『実力アップ！日本語能力試験 2 級漢字単語ドリル』 エニコム、2005 年。		授業への出席と参加度 (20%)、小テスト (30%)、学期末試験 (50%)。 Grade will be based on class participation (20%), quizzes (30%), and term examination (50%).	

授業題目 Title	常用漢字 JOYO KANJI
担当講師名 Instructor (s)	國方栄二 KUNIKATA
Course No. JPN313.04	実習 Rec. J/MM K 日本語実習 3B 中級漢字 Japanese 3B : Intermediate Japanese: Kanji
目標 Objective	この講義は常用漢字（およそ 1000）を習得し、日本語の読解および作文能力を育成することを目標とします。 This lecture has an aim to master 1000 Joyo-Kanji and more and to extend your ability of reading or writing Kanji.
授業内容 Description	◎毎回 40 個の漢字を学習します。 ◎毎回前回学習分の小テストがあります。 Every week you learn 40 Kanji and some quizzes are given in order to check your mastery.
テキスト Textbook (s)	参考書 Bibliography
『漢字の実践練習』（第一学習社） KANJI NO JISSEN RENSU (DAIICHI GAKSYUSHA)	『日本語能力試験 1・2 級試験問題と正解』（凡人社） Japanese language proficiency test. Level 1 and 2 Questions and correct answers (Bonjinsha)
	評価方法 Manner of Assessment
	定期試験（50%）・平常点（50%） examination（50%）& participation（50%）

授業題目	日本語能力試験 N2 レベルの漢字			Kanji for Japanese Language Proficiency Test Level N2	
担当講師名	廣川直幸	HIROKAWA			
Course No.	実習	J/MM	日本語実習 3B	中級漢字	
JPN313.06	Rec.	K	Japanese 3B : Intermediate Japanese: Kanji		
目標	日本語能力検定試験 N2 に必要な漢字約 1000 字の習得。				
Objective	この授業では毎週およそ 40 字の漢字を学習します。				
授業内容	学習に応用できるように、漢字や熟語のなりたちを説明します。				
Description	よりよく覚えるために、書く練習を宿題にします。				
	毎回授業のはじめに小テストをして、どれだけ身についたかを確認します。				
	To check the mastery, a quiz will be given at the beginning of every class.				
	To fix Kanji firmly in mind, Kanji writing practice will be assigned as homework.				
	The basic structures of Kanji and Kanji compounds will be explained in order that the students may apply them to their learning.				
	In this course about 40 Kanji will be learned every week.				
	The aim of this course is to master about 1000 Kanji required for Japanese Language Proficiency Test Level N2.				
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
かたくり日本語教師会『完全マスター漢字 日本語能力試験 2 級レベル』スリーエーネットワーク (2002)。		アルク日本語出版編集部編『日本語能力試験漢字ハンドブック』アルク (1994)。		平常点 : 70% と試験 : 30% Participation: 70% & Examination: 30%	

授業題目	ことばと文化の読解			Reading Japanese Texts on Language and Culture	
担当講師名	ヴォーゲ・ヨウラン		VAAGE		
Course No. JPN314.02	実習 Rec.	J/MM RDG	日本語実習 3C 中級読解	Japanese 3C : Intermediate Japanese: Reading	
目標 Objective	<p>社会言語学を通して、言語と文化についての分かりやすいテキストを読み、論文によく使われている表現を学ぶ。加えて、ディスカッションで日本の文化と社会への理解を高めることを目的とする。</p>		<p>The purpose of this course is to learn to read and understand Japanese texts about language and culture, to acquire words and phrases used in academic texts, and - through discussions on topics such as sociolinguistics and anthropology - get a deeper understanding of the structure of Japanese culture and society.</p>		
授業内容 Description	<p>毎回授業で日本語と日本文化に関連する分かりやすい文章を読みます。読む前に、文章に出てくる難しいことばや表現をいくつかピックアップして解説します。その後現代日本社会に注目して、文章の内容についてディスカッションを行います。授業の最後に理解度を試すクイズをします。</p> <p>学期の前半は、鈴木孝夫が書いた、わたし、ぼく、うち、などの日本語の人称詞についてのテキストを読み、後半では、漫画やドラマに使われている特集なことば（役割語）、若者ことば、そしてキャラ語などについての論文を読みます。</p>		<p>In this course we will read from easy to understand texts about Japanese language and culture. Before reading we will go through some of the difficult words and phrases used in the text. Afterwards, we will discuss the contents of the text in context of modern Japanese society. Sometimes there will be some easy exercises and quizzes at the end of the class in order to check the mastering.</p> <p>We will start by reading Suzuki Takao's famous text about the different Japanese pronouns (watashi, boku, uchi, etc.), and then move on to read about special words used in manga and drama (so-called "role-language"), youth language, and "kyara"-language.</p>		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
鈴木孝夫 1973 『ことばと文化』 岩波新書、など (資料配布) Suzuki, T. 1985. Words in Context: A Japanese Perspective on Language and Culture. Kodansha, etc. Copies and other materials will be distributed in class.		金水敏 2003 『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』 岩波書店 井出祥子 2006 『わきまへの語用論』 大修館書店		授業参加 (50%)、クイズや課題 (50%) Class participation (50%), Small exercises and quizzes (50%)	

授業題目	Title			Intermediate Reading: Rapid and Close	
担当講師名	Instructor (s)	HIROKAWA			
Course No.	Wed 4	実習	J/MM	中級読解	
JPN314.04	Rec.	RDG	Japanese 3C : Intermediate Japanese: Reading		
目標	中級レベルの学生が、さまざまなテキストの速読・精読を通じて、柔軟な読解力を獲得することを目指します。		The aim of this course is for intermediate students to acquire flexible reading skills through reading various kinds of texts.		
Objective	この授業は二つの部分で構成されます。すなわち、速読と精読です。		This class consists of 2 sections: rapid reading and close reading.		
授業内容	速読では、初見のテキストを読み、問題を解いて理解度を確認します。		In the rapid reading section, students will read unseen texts and solve questions about them to check their understanding.		
	精読では、あらかじめ与えられたテキストについて発表や討論を行います。テキストには、刺激的なエッセイ等を用いる予定です。		In the close reading section, presentation and discussion will be done about the texts which will be given beforehand. Stimulating essays etc. will be used as our texts.		
Description					
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
『日本語中級読解』アルク。ISBN: 978-4872347005					平常点：70%とレポート：30% Participation: 70% & Final report: 30%

<p>授業題目 Title</p>	<p>中級読解－様々な「読み」を学ぶ－ Intermediate Japanese Reading -skills for various types of reading-</p>		
<p>担当講師名 Instructor (s)</p>	<p>真下恭子 MASHITA</p>		
<p>Course No. JPN314.06</p>	<p>実習 Rec.</p>	<p>J/MM RDG</p>	<p>日本語実習 3C 中級読解 Japanese 3C : Intermediate Japanese: Reading</p>
<p>目標 Objective</p>	<p>・中級レベルの様々な分野の文章を表現や構成に注意し正確に読む力をつける。 ・限られた時間で必要な情報をとったり、文章の大意をつかむ技術を学ぶ。</p>		
<p>授業内容 Description</p>	<p>・説明文やエッセイなど様々な分野の文章をとりあげ、文章全体の流れや表現などにも注目し、正確に読む力をつける。精読で扱うものは、日本語能力試験N2レベルのものを中心にする予定である。 ・速読用の教材や生教材を用いて、段階的にスキミングやスキミングの技術を把握する練習をする。</p>		
<p>テキスト Textbook (s)</p>	<p>・ハンドアウト配布 (以下のテキストや生教材参照) ・三浦昭・岡まゆみ (1998) 「中・上級者のための 速読の日本語」ジャパンタイムズ ・松本節子他 (2013) 「実力アップ! 日本語能力試験 N2 読む (文章の文法・読解)」ユニコム ・松本節子他 (2010) 「実力アップ! 日本語能力試験 N3 読む (文章の文法・読解)」ユニコム ・小松ひとみ・桑原里奈・木村理恵 (2011) 「N2 読解スピードマスター」Jリサーチ Handouts will be provided(including the following textbooks and raw materials) ・Oka Mayumi (1998) "Rapid Reading Japanese-Improving Reading Skills of Intermediate and Advanced Students" The Japan Times ・Matsumoto Setsuko et al. (2013) "The Preparatory Course for The Japanese Language Proficiency Test N2 Reading" Unicorn Inc. ・Matsumoto Setsuko et al.(2010) "The Preparatory Course for The Japanese Language Proficiency Test N3 Reading" Unicorn Inc. ・Kobayashi Hitomi,Kuwahara Rina,Kibayashi Rie(2011)"Quick Mastery of N2 Reading" J- research</p>	<p>参考書 Bibliography</p>	<p>・内田安伊子・内田紀子 (2008) 『構成・特徴・分野から学ぶ 新聞の読解』スリーエーネットワーク ・Uchida Akiko, Uchida Noriko(2006) "Kosei Tokucho Bunya kara Manabu Shinbun no Dokkai(Reading skills for News Papers-learning various structures,features and fields)" 3A net co.</p>
<p>評価方法 Manner of Assessment</p>	<p>・出席と授業参加 50% ・期末テスト 50% ・Attendance and Participation 50% ・Final test 50%</p>		

授業題目	Title	アカデミック・ライティング Academic Writing		
担当講師名	Instructor (s)	出口雅也 IDEGUCHI		
Course No.	Mon 5	実習	J/MM	日本語実習 3D 中級作文
JPN315.02		Rec.	COMP	Japanese 3D : Intermediate Japanese: Composition
目標	Objective	To improve knowledge and skills of Japanese essay writing.		
授業内容	Description	<p>日本語で小論文を書くために必要な知識を習得し、作文能力を高める。</p> <p>・原稿用紙の使い方、パラグラフの構成方法、ブレインストーミング、小論文を書くために必要な基礎知識を学習する。</p> <p>You learn basic knowledge and skills needed for writing essays in Japanese, such as how to use writing paper, how to organize a paragraph, brainstorming, expressions frequently used in essays.</p>		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法 Manner of Assessment
ハンドアウト配布 Handouts.		友松 (2008).『小論文への 12 のステップ』, 東京, スリーエーネットワーク. Tomomatu (2008). Syooronbun e no 12 no suteppu, Tokyo: 3A Network.		平常点 (40%), 課題 (60%) Class participation (40%), Assignments (60%).

授業題目	Title	中級作文	Intermediate	Writing
担当講師名	Instructor (s)	李裕旋	LEE	
Course No.	Tue 2	実習 Rec.	J/MM COMP	日本語実習 3D 中級作文 Japanese 3D : Intermediate Japanese: Composition
目標 Objective	日本語で小論文を書くために必要な知識を習得し、作文能力を高める。			
授業内容 Description	<p>・原稿用紙や句読点、記号の使い方</p> <p>・小論文に合う文体、文型、語彙</p> <p>・文章の構成</p> <p>・段落構成</p> <p>・意見と事実を分ける</p> <p>・文章の要約など</p> <p>添削は個人指導を行う。</p>			
目 標	To improve knowledge and skills of Japanese essay writing			
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ Basic rule in writing a composition ・ For writing essays in Japanese sentence style, and sentence pattern a vocabulary ・ Construction of a composition ・ Paragraph structure ・ Description of opinions and a fact ・ To summarizing 			
添削	Your composition will be corrected by one to one tutoring.			
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法
『大学で学ぶための日本語ライティング』 The Japan Times よりコピーして配布	『小論文への12のステップ』スリーエーネットワーク			Manner of Assessment
				出席 50%、課題 50% participation 50%, assignment 50%

<p>授業題目</p>	<p>レポートを書く人の作文コース — 中級学習者のための— Japanese Academic Writing —for intermediate level learners—</p>		
<p>担当講師名</p>	<p>小南淳子 KOMINAMI</p>		
<p>Course No. JPN315.06</p>	<p>実習 Rec.</p>	<p>J/MM COMP</p>	<p>日本語実習 3D 中級作文 Japanese 3D : Intermediate Japanese: Composition</p>
<p>目標 Objective</p>	<p>レポート・小論文を書くために (1) それぞれのテーマに必要な語彙を学ぶ。 (2) レポートに適した文章表現と段落の組み立て方を学ぶ。 (3) 資料や文献を引用する場合に必要な要約のしかたを学ぶ。</p>		
<p>授業内容 Description</p>	<p>授業は次の内容で行う。 (1) 各自の興味に基づきテーマについて、必要な資料を集めたり、アンケートやインタビューを行う。 (2) 他の人の考えを知るためにクラスディスカッションをする。 (3) 新聞記事、博物館や美術館のリーフレット、和菓子や伝統工芸についてのパンフレットなど実際に使われているものを用いて、要約の練習をする。 (4) レポートに適する文章表現と段落の組み立て方を学び、作文を書く。 (5) クラスメートの作文と一緒に読んで、文章を訂正する。 添削は、個人指導を多く行う。 毎週、作文や要約の自習課題がある。 *授業での積極的な活動と課題提出が重要である。</p>		
<p>テキスト</p>	<p>Textbook (s)</p>	<p>参考書</p>	<p>Bibliography</p>
<p>倉八順子『日本語表現の教室中級—語彙と表現と作文』古今書院 (2005) Juniko Kurahachi.Nihongohyougen no Kyoushitsu, Kokonsyoin, 2005</p>	<p>木下是雄 ちくま学芸文庫『レポートの組み立て方』筑摩書房 (1994) Koreo Kinoshita. Report no kumitatekata, Chikumasyobo, 1994</p>	<p>学期末試験：20% 平常点：80% (授業参加と課題提出) Term examination(20%) Participation (80%): Class attendance, Exercises and Assignments</p>	<p>評価方法 Manner of Assessment</p>

授業題目	日本語作文 (中級後期)			Japanese Writing (Intermediate: advanced)	
担当講師名	藤家智子	FUJIE			
Course No.	実習 Rec.	J/MM COMP	日本語実習 3D 中級作文	Japanese 3D : Intermediate Japanese: Composition	
目標	①社会現象、文化的なテーマなどについて800字程度で説明できるようになる。 ②事実となる客観的根拠を示して800字程度の意見を書くことができるようになる。				
Objective	①社会現象、文化的なテーマなどについて800字程度で説明できるようになる。 ②事実となる客観的根拠を示して800字程度の意見を書くことができるようになる。				
授業内容	中級後期の日本語学習者を対象に、モデル文を見ながら論理的な文の展開の仕方を学ぶ。 ・社会的な仕組み、現象、問題を取り上げて説明文や意見文を書く。 ・授業では、以下のようなテーマについて書くための活動を数回に分けて行う。 ①論理的な文の展開の仕方を、モデル文を見ながら学ぶ。 ②社会的な制度や仕組みの説明、社会現象の説明、引用や要約の仕方を学ぶ。 ③明確な根拠を示して意見文を書く練習をする。 ④宿題で、600～800字の作文を4、5回書き、その書き直しなども宿題となる。				
Description	Targeted at students of intermediate advanced level. Model sentences will be used as a point of reference for writing logically structured papers ・ Social phenomena and various topics will be discussed and written on The following topics will be covered in this course: 1. Learning how to write in a logical order (with the help of model texts) 2. Providing explanations on social systems and frameworks, social phenomena; practicing citing and summarizing				
テキスト	テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法
	『留学生のためのここが大切 文章表現のルール』石黒圭・筒井千絵著 (スリーエーネットワーク)		『大学・大学院留学生の日本語②作文編』アカデミック・ジャパニーズ研究会編著 (アルク) 『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』二通信子 他著 (東京大学出版会)		評価は出席率、課題、授業中の参加状況などを基準にする。 Grading will be based upon regular attendance, active participation, homework and tests.

授業題目	モノローグ聴解 Monologue Listening Comprehension		
担当講師名	三原千佳	MIHARA	
Course No.	実習	J/MM	中級聴解
JPN316.02	Rec.	LIS	Japanese 3E : Intermediate Japanese: Listening Comprehension
目標	<p>テレビ番組や講義、会話での説明や意見を聞くとときなど、中級・上級レベルではまとまった長い話を聞く機会が増える。この授業では、中級レベルの聴解を通して、語彙や表現を増やしモノローグを理解する基礎的な力をつけることを目的とする。</p>		
Objective	<p>ニュースや発表などのCDを使っていろいろなモノローグを聞く。 この授業では、主に次のような活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を聞き取る ・全体を理解する ・細部を理解する ・話の構造を学ぶ ・新しい語彙や表現を増やす 		
授業内容	<p>トピックについてディスカッションする時間やグループワークの時間も設ける。 また、クラスの理解度や興味によっては、ニュースやドキュメンタリーなどのテレビ番組を見る予定である。</p>		
Description	<p>You will listen to different types of monologues such as news casts, presentation and speeches. This class contains the activities listed below:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Scanning articles to understand the topic. ・ Skimming to pick up specific information. ・ Understanding the details of the article. ・ Learning the structure of articles. ・ Expanding vocabulary and expressions through listening activities. <p>Furthermore, in order to deepen your understanding of the weekly topics, we will exchange our opinions and have some group/pair work activities. Depending on proficiency level of the class, we might watch authentic TV news programs.</p>		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
ハンドアウト配布 Handouts		大飼康弘 (2007) 『アカデミック・スキルを身につける聴解・発表ワークブック』スリーエーネットワーク 瀬川由美・紙谷幸子・北村貞幸 (2013) 『中級からはじめる ニュースの日本語 聴解 40』スリーエーネットワーク 宮城幸枝・太田淑子・柴田正子・牧野恵子・三井昭子 (2007) 『新毎日の聞きとり 50日 上』 凡人社	<p>評価方法 Manner of Assessment</p> <p>出席・態度 50%、期末試験 50% Participation (You are expected to actively participate in all group discussions and activities) 50%, Final exam 50%</p>

授業題目	『フォーマルな日本語』と『カジュアルな日本語』 両方の聞き取り the Formal and the Colloquial, Listening Comprehension of Both Styles of Japanese Speech		
担当講師名	十川理絵 SOGAWA		
Course No.	J/MM	日本語実習 3E	中級聴解
JPN316.04	Rec.	Japanese 3E	Intermediate Japanese: Listening Comprehension
目標	To improve listening skill so as to follow and understand the formal style of Japanese speech at a meeting and in news broadcasts, and the colloquial style of Japanese speech used by Japanese native speakers in daily conversations.		
Objective	① One cannot hear and catch what he cannot say by himself. Therefore, students will be provided with opportunities to speak Japanese and talk with the instructor in Japanese as often as possible in the class. ② Students will learn common linguistic and cultural rules in daily conversations and practice listening conversations between native Japanese speakers. ③ Using short audio-visual materials, such as short documentaries and animations, students will practice listening to get used to the Japanese spoken in the natural and rather faster speed. ④ Watching longer audio-visual materials on Japanese cultures and social issues, in which both of the formal and the colloquial style of Japanese speech are used, students will practice catching the main point of the materials.		
授業内容	会議やニュースなどで使用される「フォーマルな日本語」と、日常生活の中で日本人同士が実際に話している速い速度の「カジュアルな日本語」、これらが両方とも聞き取れるようになること。		
Description	①話せないことは聞きとれない。よって、講師とできるだけ多く「カジュアルな日本語」で会話をする。 ②日常生活の中で日本人同士が実際に話している「会話」で使用される日本語表現のルールを学習し、聞き取り練習をする。 ③短いテレビ番組（動物もの又はアニメ）を使用し、早い速度の会話を聞き取る練習をする。 ④日本社会や文化に関する映像で、「フォーマルな日本語」と「カジュアルな日本語」の両方が使用されている少し長めの映像の概要を理解する練習をする。		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
主に、以下のテキストよりプリント配布 ①富坂容子『新装版 なめらか日本語会話』(2005) アルク ②榎本総子・宮谷淳美『日本語生中継 中～上級編』(2011) くろしお出版 Handouts from 富坂容子『新装版 なめらか日本語会話』(2005) アルク 榎本総子・宮谷淳美『日本語生中継 中～上級編』(2011) くろしお出版	『日本語能力試験 N1・N2 28日完成 試験に出る聴解』(2010) 桐原書店	授業参加 (70%) と学期末試験 (30%) Attendance (70%) + Final examination (30%)	評価方法
評価方法	Manner of Assessment		

授業題目	Title			Listening Comprehension for intermediate Japanese learners.		
担当講師名	Instructor (s)			NISHIMURA		
Course No.	Wed 3	J/MM	日本語実習 3E	中級聴解		
JPN316.06	Rec.	LIS	Japanese 3E : Intermediate Japanese: Listening Comprehension			
目標	Objective			The aim of this class is helping intermediate Japanese learners to improve Japanese listening comprehension.		
授業内容	Description			We will practice listening Japanese using the following materials;		
	以下のよう な教材を用いて日本語を聞きとる練習を行います。			1. TV programs (e.g. documentary, anime, variety show)		
	1. テレビ番組 (ドキュメンタリー、アニメ、バラエティー番組など)			2. movies		
	2. 映画			3. CDs for listening exercise		
	3. 聴解練習用の CD					
テキスト	Textbook (s)			参考書	Bibliography	
ハンドアウト	handouts			代表・松本節子『実力アップ 日本語能力試験 N2 聞く』ユニコム (2011)		
				宮城幸恵・太田淑子・柴田正子・牧野恵子・三井昭子『新毎日の聞き取り 50 日 上・下』凡人社 (2007)		
				評価方法	Manner of Assessment	
				授業参加 50%, 課題 50%		
				Class participation (50%), assignments (50%)		

授業題目	多聴—スピーチから会話まで— Entensive Listening -from Speech to Conversation-		
担当講師名	田中真衣	TANAKA	
Course No.	実習	J/MM	中級聴解
JPN316.08	Rec.	LIS	Japanese 3E : Intermediate Japanese: Listening Comprehension
目標	さまざまなタイプの日本語を聞き、その特徴を理解しながら日本語聴解能力を高める		
Objective	To develop listening skills to comprehend Japanese at natural speed		
授業内容	以下のようにスピーチ、ニュース、インタビュー、会話などの聴解練習を行う。		
Description	<p>1) 短い内容のものを聞き、その特徴を見つけ出す</p> <p>2) 長めの聴解を行い、その内容を理解する</p> <p>3) 聞いた内容について意見交換する</p>		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
授業時にプリントを配布する Materials distributed in the class		<p>瀬川由美他 (2013) 『中級からはじめる ニュースの日本語 聴解40』 スリーエーネットワーク</p> <p>大飼康弘 (2007) 『聴解・発表ワークブック：アカデミック・スキルを身につける』 スリーエーネットワーク</p> <p>他、授業で扱うテーマに合わせて指示する。</p> <p>Segawa, Yumi et al. (2013). Chukyu kara hajimeru nyusu no nihongo choukai 40. 3A Corporation.</p> <p>Inukai, Yasuhiro (2007). Chokai, happyou work book: academic skill wo mi ni tsukeru</p> <p>The other reference introduced in the class depending on topics.</p>	<p>評価方法</p> <p>Manner of Assessment</p> <p>出席 (60%)、小テスト・課題 (40%) participation (60%), assignments and quizzes (40%)</p>

授業題目	Title			Intermediate Japanese Conversation	
担当講師名	Instructor (s)	日比伊奈穂	HIBI		
Course No.	Wed 2	実習 Rec.	J/MM CONV	日本語実習 3F Japanese 3F : Intermediate Japanese: Conversation	中級会話
目標 Objective	相手や場面に応じて適切な表現で話せるようになることを目的とする。		The aim of this class is to speak Japanese in appropriate expressions according to given situations.		
授業内容 Description	日常生活の中で遭遇するさまざまな場面で用いられる会話表現を学ぶ。そして、学んだ表現を使って会話の練習を行い、適切な表現で意思疎通できる技術を身につける。		In this class, you will learn various expressions which are used in daily life. You will acquire appropriate communication skills by practicing conversation.		
テキスト	Textbook (s)	ボイクマン総子他 (2006) 『聞いて覚える話し方 日本語生中継 初中級編 1』 ころしお出版 ボイクマン総子他 (2006) 『聞いて覚える話し方 日本語生中継 初中級編 2』 ころしお出版		参考文献 Bibliography	評価方法 Manner of Assessment
				平常点 (60%) + 学期末試験 (40%) Participation(60%)+Examination(40%)	

授業題目	日本語発音レッスン Japanese Pronunciation Exercises		
担当講師名	古江尚美	FURUE	
Course No.	実習	J/MM	中級会話
JPN317.04	Rec.	CONV	Japanese 3F : Intermediate Japanese: Conversation
目標	日本語の自然な発音を身につけて、コミュニケーション能力を高める。		
Objective	To improve communicative skills in Japanese through pronunciation exercises.		
授業内容	日本語の音韻について体系的に学び、自然な日本語が話せるように、実践的な練習をする。日本語の拍やアクセント、イントネーションについて学び、自分の考えや気持ちの的確に相手に伝えられるよう、練習する。		
Description	In this class you study systematically the sounds of the Japanese language and practice to speak Japanese naturally. Also you learn Japanese mora, accent and intonation, for communication.		
テキスト	テスト	Textbook (s)	評価方法
ハンドアウト配布。Handouts.			Manner of Assessment
			平常点 50%、学期末試験 50% Participation 50%, Final test 50%
	参考書	Bibliography	
	戸田貴子『コミュニケーションのための日本語発音レッスン』スリーエーネットワーク (2005) 金田一春彦監修『新明解日本語アクセント辞典』三省堂		

授業題目	Intermediate Japanese Conversation		
担当講師名	中級会話 吉兼奈津子	YOSHIKANE	
Course No. JPN317.06	実習 Rec.	J/MM CONV	日本語実習 3F 中級会話 Japanese 3F : Intermediate Japanese: Conversation
目標 Objective	<p>口頭発表の際に必要な能力を身につける。</p> <p>授業内容は下記の通りである。</p> <p>●聞き手にもわかりやすい発表ができるよう練習を行う。</p> <p>●発表者に対する質問の仕方を学ぶ。</p> <p>●レジュメの作り方を学び、レジュメを用いた発表練習を行う。</p> <p>※受講生に合わせて、内容を一部変更する場合があります。</p>		
授業内容 Description	<p>In this class, you will improve your speaking skills in presentations.</p> <p>Class Content</p> <p>(1) To learn and practice to make your presentation easy to understand.</p> <p>(2) To learn how to ask questions in presentations.</p> <p>(3) To learn how to write a summary of your presentation.</p>		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
ハンドアウト Handouts		<p>・犬飼康弘 (2007) 『アカデミック・スキルを身につける 聴解・発表ワークブック』 スリーエーネットワーク</p> <p>・国際交流基金関西国際センター (2004) 『初級からの日本語スピーチ』 凡人社</p>	<p>評価方法</p> <p>平常点 (60%) 発表 (40%) Participation (60%) Presentation (40%)</p>

授業題目	Title			会話一話し手と聞き手の技術— Conversation-Speaker and Listener's skills-	
担当講師名	Instructor (s)		田中真衣 TANAKA		
Course No.	Fri 3	実習	J/MM	日本語実習 3F	中級会話
JPN317.08	Rec.	CONV	Japanese 3F : Intermediate Japanese: Conversation		
目標	Objective		To know hidden rules in conversations and to be able to move a conversation forward naturally		
授業内容	Description		You will do listening exercises through extensive conversations.		
	1) 問題のある会話を観察する		1) To observe problematic conversations		
	2) 問題を解決するためのテクニックやスキルを練習する		2) To practice to solve those problems		
	3) 会話を実践する		3) To practice conversations		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography		
授業時にプリントを配布する	Materials distributed in the class		岩田夏穂・初鹿野阿れ(2012). にほんご会話上手!— 聞き上手・話し上手になるコミュニケーションのコツ 15— アスク出版 萩原雅佳子他(2007)『日本語上級話者への道—きちんと伝える技術と表現』スリーエーネットワーク Iwata, Natsuho・Hajikano, Are(2012). Nihongo kaiwa jozul. Ask Ogiwara, Chiyoko et al.(2007). Nihongo Jokyu washa eno michi -kichin to tsutaeru gijutsu to hyogen-3A Corporation.		
			評価方法	Manner of Assessment	
				出席 (50%)、課題 (25%)、レポート (25%) Participation (50%) , assignments (25%) and report(25%)	

授業題目	話し言葉と書き言葉 Spoken Japanese and Written Japanese		
担当講師名	原田佳代子	HARADA	
Course No.	実習	J/MA	日本語実習 4A 上級文法
JPN410.02	Rec.	SP	Japanese 4A : Advanced Japanese: Grammar
目標 Objective	<p>(1) 日本語文法の重要事項を整理、再確認する。 (2) 話し言葉と書き言葉の違いを理解し、より高度な表現を習得する。</p> <p>まず、これまでに習得した日本語文法についての知識を確認しながら重要な文法事項を整理する。特に話し言葉と書き言葉の違いを理解し使い分ける能力を養う。</p> <p>主な学習項目は次の5つである。</p>		
授業内容 Description	<p>1. 語彙 2. 文体 3. 省略のルール 4. 助詞と助詞相当語 5. 自動詞と他動詞</p> <p>Topics covered in this class are below.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Vocabulary 2. Style 3. Grammar of Omission 4. Particles and Compound Particles 5. Transitive Verbs and Intransitive Verbs 		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
ハンドアウトを配布 アカデミック・ジャパニーズ研究会『大学・大学院留学生の日本語④論文作成編』アルク、2001年 富阪容子『なめらか日本語会話』アルク、2005年		成山重子『日本語の省略がわかる本』明治書院、2009年 吉田妙子『たのしい日本語作文教室 I 改訂版』大新書局（台北）、2008年 吉田妙子『たのしい日本語作文教室 II 改訂版』大新書局（台北）、2007年	
		評価方法	Manner of Assessment
			期末試験(50%)、小テストおよび課題(50%) Grade will be based on final examination(50%)and assignments(50%).

授業題目	Title			慣用句、類義語に慣れよう			Use of idioms and similar expressions		
担当講師名	Instructor (s)			光田香住			MITSUTA		
Course No.	Mon 4	実習	J/MA	日本語実習 4A	上級文法	Rec.	SP	Japanese 4A : Advanced Japanese: Grammar	
目標	Objective			慣用句や類義語・類似表現を正しく使えるようにする。			This class is designed to learn how to use idioms and the synonyms (similar expressions) correctly.		
授業内容	Description			口語・文語・文章語などの観点から類義語・類似表現の違いについて学ぶ。 日本語能力試験N1の文法問題に見られる「ず」「まい」「べし」などの、日本語の古い言葉を使った言い方が正しく理解できるようにする。 慣用句、特に身体語彙を用いた慣用句の意味を知る。			In this course,you will learn about differences between synonyms (and similar expressions) from the viewpoint of spoken language, written language and literary words. A lot of classical Japanese expressions are still widely used in written language today,so it is important that you learn those expressions (ex. “ず”, “まい”, “べし”, etc.) if you want pass JLPT N1. You will be able to use idioms containing body words correctly,in this class.		
テキスト	Textbook (s)			参考書			Bibliography		
プリントを配布する。 handouts	『新完全マスター文法 日本語能力試験N1』（友松悦子・福島佐知・中村かおり共著、2011年8月第2刷発行、株式会社スリーエーネットワーク）、『日本語の類義表現辞典』（森田良行者、2006年、東京堂出版）			評価方法			Manner of Assessment		
				平常点 30%、期末テスト 70% participation 30%,final test 70%					

授業題目	Title			上級日本語文法		Advanced Japanese Grammar		
担当講師名	Instructor (s)		伊藤翼斗		ITO.Y			
Course No.	Tue 2		実習	J/MA	日本語実習 4A 上級文法			
JPN410.06	Rec.		SP		Japanese 4A : Advanced Japanese: Grammar			
目標	<p>The aim of this class is</p> <p>1) to learn the intermediate and advanced grammar</p> <p>2) to learn how the grammar is used</p>							
Objective	<p>You will learn how the intermediate and advanced grammar is used through</p> <p>a) essays and articles for Japanese people</p> <p>・ Reading materials are based on basic topics you will learn in universities (ex. statistics, literature, philosophy, psychology, biology ...)</p> <p>b) audio materials which Japanese are talking</p> <p>You will do exercises of the grammar used in a) and b).</p>							
授業内容	<p>日本人向けに書かれた記事を読んだり、日本人同士の会話を聞いて、どのような文法が使われているのかを学ぶ。そこで使われている文法の練習問題を行い、使えるようになることを目指す。なお、読むものは統計学や文学、哲学、心理学、生物学などの大学での授業で扱われるような基本的なトピックについてである。</p>							
Description	テキスト		Textbook (s)		参考文献		Bibliography	
	堤良一・長谷川哲子 / 「大学生」 になるための日本語 2 / ひつじ書房 / 9784894764620				授業参加 (30%) 小テスト (30%) 期末テスト (40%) Participation (30%) Quizzes (30%) Final examination (40%)		評価方法	
					Manner of Assessment			

授業題目	Title			上級日本語－言葉から文化を学ぶ－		Advanced Japanese: Words and Phrases concerning Japanese Culture				
担当講師名	Instructor (s)		SHOJI				庄司育子			
Course No.	Wed 4	実習 Rec.	J/MA SP	日本語実習 4A	上級文法	Japanese 4A : Advanced Japanese: Grammar				
目標	Objective		<p>実際日本語で書かれた資料には、教科書で学んだ日本語の文法規則だけでは解釈できない表現が数多く見られることを知り、日本固有の文化的背景や知識が如何に言葉の中に深く根ざしているかを学ぶ。</p> <p>新聞、雑誌、広告など、日常的に目にする題材を使用して、そこに見られる珍しい表現や目新しい表現を取り上げて分析する。さらに応用が利く程度にまで理解を高めるとともに、さまざまな分野の知識や情報の獲得を目指す。主な習得項目は、およそ以下のとおりである。</p>		<p>To learn more specified words and expressions, which sometimes seem to be against grammatical rules. Students will get to know that Japanese cultural background lies behind the utterances.</p> <p>We will pick up curious and unfamiliar expressions from Japanese newspapers, magazines, commercial catch phrases and so on. Students will recognize that such words and phrases are derived from some evidence and knowledge in a specific field.</p> <p>The key words which will be introduced in this class are given as under.</p>					
授業内容	Description		<ol style="list-style-type: none"> 1. 語構成 (複合語、派生語) 2. 擬声語、擬態語 3. 慣用句、ことわざ、四字熟語 4. 方言 5. 文体 6. 古典語 7. 日本文化に関する語彙 					<ol style="list-style-type: none"> 1. Word Formation (Compound Word, Derivative Word) 2. Onomatopoeia 3. Proverb 4. Dialect 5. Literary Style 6. Classic Japanese 7. Words and Phrases concerning Japanese Culture 		
テキスト	Textbook (s)		参考書		Bibliography					
庄司育子 / 上級日本語－言葉から文化を学ぶ－ CJLC 叢書 No.2 / 大阪大学日本語日本文化教育センター Ikuko SHOJI / JOKYU NIHONGO / CJLC Osaka University			金田一春彦『日本語 (新版) 上 / 下』岩波新書			授業参加 (80% 以上) 及び学期末試験 Class participation and a final examination				
				評価方法	Manner of Assessment					

授業題目	Introduction to Classical Japanese & Literature		
担当講師名	古文入門 足立幸子	ADACHI	
Course No.	実習 Rec.	J/MA SP	日本語実習 4A 上級文法 Japanese 4A : Advanced Japanese: Grammar
目標 Objective	この授業の目的は、日本古典文法の基礎を学び、やさしい古文を読むことによって、日本語及び日本文化への理解を深めようとするものである。		
授業内容 Description	この授業で扱う文法事項は以下の通りである。 (1) 第1週 - 第2週 導入と歴史的かなづかい (2) 第3週 - 第4週 品詞分解 (3) 第5週 - 第7週 動詞・形容詞・形容動詞の活用変化 (4) 第8週 - 第11週 助動詞 (5) 第12週 - 第14週 助詞 (6) 第15週 敬語など 授業は講義が中心となるが、適宜、理解確認のための課題が与えられる。また古文のリズムに慣れ、内容理解の一助ともなるよう、作品の音読にも配慮する予定である。		
テキスト Textbook (s)	参考書 Bibliography	評価方法 Manner of Assessment	
古文入門 (本センター教材叢書No.41) CJLC textbook series No.41	・中村幸弘著『生徒のための古典読解文法』右文書院 (1989) ・国語教育プロジェクト編著『クマ新国語便覧』文英堂 (2000) ・秋山慶他編『日本古典読本』筑摩書房 (1988)	授業参加 (60%)・学期末課題 (40%) class participation(60%)・final assignment(40%)	

授業題目	Title			上級文法		Advanced Japanese Grammar	
担当講師名	Instructor (s)			阪上彩子		SAKAUE	
Course No.	Thu 2			実習	J/MA	日本語実習 4A	上級文法
JPN410.12	Rec.			SP	Japanese 4A : Advanced Japanese: Grammar		
目標	この授業では、上級レベルの文法を学習し、日本語能力試験 N1 に備えます。			you will learn the first grade in Japanese Language Proficiency Test N1.			
Objective	日本語能力試験 N1 レベルの文法とその関連表現を学びます			This course is designed to learn grammar and expressions for the Japanese Language Proficiency N1. You have to prepare a review quiz and homework.			
授業内容	文法問題は宿題とし、毎回前回学習分の復習テストを行います。						
Description							
テキスト	Textbook (s)			参考書	Bibliography		
友松悦子・福島佐知・中村かおり／新完全マスター文法日本語能力試験 N1 / スリーエーネットワーク / 9784883195640					授業参加 (40%)、小テスト (20%)、中間テスト (10%) 期末テスト (30%) class participation 40%, quizzes 20%, Exam 10% Final Examination 30%		
				評価方法	Manner of Assessment		

授業題目	Title			もっと自由に自己表現！ Make your Japanese more colorful!		
担当講師名	Instructor (s)			三登由利子 MITO		
Course No.	実習	J/MA	日本語実習 4A	上級文法	Japanese 4A : Advanced Japanese: Grammar	
目 標	Objective			In this course, students will be able to ; Broaden lexical repertoire including idiomatic expressions and colloquialisms. Acquire a high degree of grammatical accuracy in both speaking and writing.		
授業内容	Description			The activities in class will include watching TV programs portraying current Japanese society, reading related materials, discussion and writing. Useful expressions and vocabulary from the TV clips will be introduced, then students will have a chance to practice them in a discussion and/or by writing short comments on the topics raised in the TV programs.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography			
ハンドアウト配布 Handouts		石黒 圭・筒井千絵『留学生のためのここが大切 文章表現のルール』（スリーエーネットワーク、 2009）	平常点（30%）、中間試験＋学期末試験（70%） Class participation(30%) Midterm examination＋Final examination(70%)			

授業題目	漢文入門 Introduction to Classical Chinese		
担当講師名	茨田通俊	MANDA	
Course No.	実習	J/MA	日本語実習 4A 上級文法
JPN410.16	Rec.	SP	Japanese 4A : Advanced Japanese: Grammar
目標	中国古典を原形を生かしながら日本語として読む方法（訓読）に習熟し、いくつかの作品に触れることで広く漢文に親しむことを目的とする。		
Objective	The purpose of this course is to learn the traditional way of rendering classical Chinese into Japanese, and to familiarize students with the Chinese literary heritage through selected classical works.		
授業内容	Topics covered in the course are as below.		
Description	<p>授業で扱う項目は以下の通りである。</p> <p>(1) 第1週 - 2週 訓読法（中国古典を日本語として読む方法）</p> <p>(2) 第3週 - 4週 返読文字（下から返って読む文字）</p> <p>(3) 第5週 - 6週 再読文字（二度にわたって読む文字）</p> <p>(4) 第7週 - 8週 置き字（読まない文字）</p> <p>(5) 第9週 - 12週 故事（昔から伝えられる言葉のいわれ）</p> <p>(6) 第13週 - 14週 漢詩（中国の古典詩）</p> <p>(7) 第15週 試験</p> <p>授業は、まず教科書に従って各項目の解説が行われる。受講生は、漢文作品を繰り返し読み返して読むことが求められ、項目ごとの練習問題が宿題として課される。</p>	<p>method of Kundoku</p> <p>Hendoku-character (later read characters)</p> <p>Saidoku-character (twice read characters)</p> <p>Okiji-character (not read characters)</p> <p>stories handed down from ancient times</p> <p>classical Chinese poems</p> <p>examination</p> <p>Every topic is explained according to the textbook. Students are required to practise reading the texts in class and assigned some homework.</p>	
テキスト	参考書	Bibliography	評価方法
Textbook (s)	馬場武次郎著『句形整理 基礎からわかる漢文』日栄社（1975） Baba, Takejiro Kukei Seiri Kiso kara wakaruru Kanbun. Nichieisyu (1975)	馬場武次郎著『句形整理 基礎からわかる漢文』日栄社（1975） Baba, Takejiro Kukei Seiri Kiso kara wakaruru Kanbun. Nichieisyu (1975)	試験（90%） 平常点（出席と宿題）（10%） examination (90%) participation (attendance & homework) (10%)

授業題目	Title			Verbs for expression-rich Japanese	
担当講師名	Instructor (s)		ATSUTA		
Course No.	Fri 4		J/MA	上級文法	
JPN410.18	実習	Rec.	Japanese 4A : Advanced Japanese: Grammar		
目標	より豊かな表現力を身につけるために、既に日常的に使用している動詞を、形・意味・機能という点から整理し、使い方の幅を広げる			To review the verbs already used on a daily basis regarding their form, function and meaning and to acquire an even broader set of skills for expression-rich usage.	
Objective	①このクラスでは主に次の文法項目を学習する。 ・自動詞・他動詞 ・受身 ・使役 どんなルールがあるのかいっしょに考えながら、効果的に使えるように練習する			1) This class mainly focuses on the following three grammatical topics: - transitive and intransitive verbs - passive form of verbs - causative form of verbs Class participants will discuss together which grammatical rules apply and practice how to effectively use these verbs.	
授業内容	②よく知っている動詞にどんな表現や連語があるのか、また、形や意味の似ている動詞の使い分けと使い方を、辞書を使って主体的に学ぶ。			2) Using a dictionary, students will actively investigate expressions and phrases containing well-known verbs as well as the different usage of verbs similar in form or meaning.	
Description	Bibliography			Manner of Assessment	
テキスト	Textbook (s)	参考書	評価方法		
安藤節子・小川誉子美 / 『自動詞・他動詞、使役、受身-ボイス-』 / スリーエーネットワーク	安藤節子・小川誉子美 / 『自動詞・他動詞、使役、受身-ボイス-』	スリーエーネットワーク (2001)	授業参加 (40%)、課題提出 (60%) Participation(40%), Assignments(60%)		

授業題目	Title			Advanced Level Kanji for Japanese Proficiency Test Level N1	
担当講師名	Instructor (s)	KITAGAWA			
Course No. JPN413.04	Tue 2	実習 Rec.	J/MA K	日本語実習 4B 漢字研究 Japanese 4B : Advanced Japanese: Kanji	
目標 Objective	この授業では間違いやすい漢字の使い方を学習する。 日本語能力試験 N1 に備える。		The aim of this class is to prepare for Japanese Language Proficiency Test Level N1 through mastering the usage of kanji.		
授業内容 Description	<p>毎回、間違いやすい同音異義語や同訓異義語を中心に漢字の意味や使い方を学ぶ。</p> <p>前回学習した分の小テストを毎週行う。</p> <p>新聞記事を読んで、漢字の実際的な使われ方を確認する。</p> <p>また同時に、現在の日本で話題になっている事象に触れてもらう。</p>		<p>Every week we will learn writings and usage of the advanced level kanji, studying chiefly difficult homonyms.</p> <p>A review quiz will be given at the beginning of every class.</p> <p>To master the reading of kanji, we will read some articles of newspapers.</p> <p>Through reading them, we can also know what's now hot in Japan.</p>		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
日本経済新聞：日経 Plus1 Nikkei Plus1		JLPT [編]『日本語能力試験公式問題集』凡人社 (2012) Nihongo Noryokushiken Koshiki Mondai-shu, Bonjinsha (2012)		出席点 (30%)、小テスト (30%)、期末テスト (40%) Participation (30%), short quizzes (30%), final examination (40%)	

授業題目	Title	NON-JOYO-KANJI			
担当講師名	Instructor (s)	KUNIKATA			
Course No. JPN413.06	Wed 1	実習 Rec.	J/MA K	日本語実習 4B 漢字研究 Japanese 4B : Advanced Japanese: Kanji	
目標 Objective	この講義は日常生活において使われる表外漢字（およそ 1000）を習得し、日本語文の読解および作文能力を育成することを目標とします。		The purpose of this course is to better understand NON-JOYO-KANJI used in everyday life (about 1000) and to extend your ability of reading or writing Kanji.		
授業内容 Description	◎毎回 40 個の漢字を学習します。		Every week you learn 40 Kanji and some quizzes are		
	◎毎回前回学習分の小テストがあります。		given in order to check your mastery.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
ハンドアウト handouts		『中・上級学習者のための漢字と語彙』（ジャパントイムズ） A study system for intermediate & advanced learners kanji in context, The Japan Times		定期試験 (50%)・平常点 (50%) examination (50%) & participation (50%)	

授業題目	Title			上級漢字 (日本語能力検定 N1 レベル)		Advanced Level Kanji for Japanese Proficiency Test Level N1	
担当講師名	Instructor (s)			西村多恵			
Course No.	Wed 4			実習	J/MA	日本語実習 4B	漢字研究
JPN413.08	Rec.			Rec.	K	Japanese 4B : Advanced Japanese: Kanji	
目標	Objective			日本語能力試験 N1 レベルの漢字を習得することを目標とする。		The aim of this course is to master advanced level kanji (Japanese Proficiency Test Level N1).	
授業内容	Description			同音異義語を中心に漢字の意味や使い方を学ぶ。また、例外的な読み (音読み・訓読み) の漢字を学習する。毎週復習テストを行う。		We will learn writings and usage of kanji, focussing on homonyms. We will also learn kanji with special readings (both Onyomi and Kunyomi). A review quiz will be given every week.	
				日本語能力検定 N2 レベルの漢字の知識をもつ学生を対象とする。		This class is for those who have JPLT N2 level kanji knowledge.	
テキスト	Textbook (s)			参考書	Bibliography		
ハンドアウト handouts				松本節子・星野恵子『日本語能力試験まとめで覚える! 漢字単語ドリル1級』ユニコム (2008) 星野恵子・辻和子『ドリル & ドリル 日本語能力試験 [N1 文字・語彙]』ユニコム (2012)			
				評価方法	Manner of Assessment		
				授業参加 20%, 小テスト 40%, 期末試験 40% Class Participation 20%, weekly quizzes 40%, final examination 40%			

授業題目	Title	上級漢字	Kanji for Advanced Level	
担当講師名	Instructor (s)	山中延之	YAMANAKA	
Course No.	Thu 1	実習	J/MA	日本語実習 4B 漢字研究
JPN413.10		Rec.	K	Japanese 4B : Advanced Japanese: Kanji
目標	Objective	日本語能力試験 N1 レベルの漢字を習得します。		
授業内容	Description	<p>新聞・小説等の文章を読むことで、日本語能力試験 N1 レベルの漢字を学びます。</p> <p>2 回目以降の授業では、前回の復習テストも行います。</p>		
目的	Objective	The aim of this course is to learn Kanjis of The Japanese-Language Proficiency Test N1 level.		
内容	Content	We learn kanjis through reading newspapers, magazines and novels for The Japanese-Language Proficiency Test N1 level.		
評価	Evaluation	A review quiz will be given in every class.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法
プリントを配布します。 Handouts		石井 怜子・青柳 方子-2011 『新完全マスター-漢字日本語能力試験 N1』 スリーエーネットワーク 旺文社編 2011 『日本語能力試験ターゲット 1000』		授業参加 20%、小テスト 40%、期末テスト 40% Participation 20%, Quiz 40%, Final Examination 40%

授業題目	Title			Advanced Kanji in Focus on the Network of Vocabulary		
担当講師名	Instructor (s)			NAKANISHI		
Course No. JPN413.12	中西泰洋	実習	J/MA	漢字実習 4B	漢字研究	
	Thu 4	Rec.	K	Japanese 4B : Advanced Japanese: Kanji		
目標	語彙と語彙の結びつきに着目し、機能的な漢字の習得と語彙力の増強に努め、日本語らしい日本語が使える能力の養成を図る。			In this subject we learn more useful Kanji focusing on the network of vocabulary, building and strengthening your vocabulary. In addition to enhancing your vocabulary, you will aim to improve your ability to use idiomatic Japanese.		
Objective	日本語の語彙を観察すると、語と語の結びつきには強いものと、そうでないものが存在することが分かります。この語相互のネットワーク（結びつき）に着目し、学んでいくことは上級日本語学習者にとって表現能力を伸ばすために重要です。			There are readily definable and observable fixed networks or linkages in Japanese vocabulary. Active vocabulary is specific phrases found within this network. It is important for advanced learners to master specific active vocabulary in order to enrich their production and improve overall fluency.		
授業内容	(1)1 課各 40 の文中のキーワードとなる漢字語彙の意味を理解し、その漢字語彙を中心に他の語とのネットワークを考えながら、表現力に結びつく漢字語彙を学んでいきます。			(1)You will learn Kanji vocabulary to extend your expressions by learning the meaning of Kanji vocabulary which are the keywords of each of the 40 sentences in each lesson and looking at how they form networks with other Kanji vocabulary.		
Description	(2) 各課が終わるごとにテストを行い、理解を確認していきます。			(2)There will be a test after each lesson to verify your understanding of the content.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography		評価方法	Manner of Assessment
プリントを配布します。 Handouts		『漢検 漢字辞典』財団法人日本漢字能力検定協会 2001 Kanzen Kanji Dictionary 2001			授業参加 (50%)、試験 (50%) Participation (50%), Examination (50%)	

授業題目	Title	上級漢字 Advanced Kanji		
担当講師名	Instructor (s)	伊藤智博 ITO.TOMO		
Course No. JPN413.14	Fri 1	実習 Rec.	J/MA K	日本語実習 4B 漢字研究 Japanese 4B : Advanced Japanese: Kanji
目標 Objective	漢字を読む能力と書く能力の向上を目指します。		The purpose of this course is to extend your ability of reading or writing Kanji.	
授業内容 Description	その漢字を使った言葉やよく使う表現を学びます。		You will acquire useful expressions,vocabularies in Kanji.	
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法 Manner of Assessment
加納千恵子 他 (2001) 『INTERMEDIATE KANJI BOOK VOL.2』				平常点 (50%) 試験 (50%) participation(50%) examination(50%)

授業題目	日本文明の鍵を読み解く The Civilization of Japan		
担当講師名	久保田ゆかり	KUBOTA	
Course No.	実習	J/MA	日本語実習 4C 上級読解
JPN414.02	Rec.	RDG	Japanese 4C : Advanced Japanese: Reading
目標	この授業では、日本文明に関するエッセイを講読する。これにより、高度の日本語読解能力を習得するとともに、日本社会への見識を深めることを目的とする。語彙力を鍛え、表現技法を学びながら、論理展開を効率よく把握する訓練を行う。また、日本の主要都市の成り立ちや役割を通して、現代日本文明の諸相を歴史的な展望の中で考察する。		
Objective	Through reading essays on the civilization of Japan, this course is designed to help students not only acquire advanced their reading comprehension, but also broaden their knowledge about contemporary Japanese society. Enriching their vocabulary and acquiring useful expressions, students will try to effectively grasp logic and structure of Japanese texts. They will also examine various aspects of the civilization of Japan from the viewpoint of "Japanese cities" in the historical context.		
授業内容	The schedule of this course is as follows:		
Description	<p>Week 1: Japanese archipelago Week 2: Four seasons Week 3: Nara Week 4: Kyoto Week 5: Free city Week 6: Edo Week 7: Osaka Week 8: Isolation Week 9: Nagasaki Week 10: Travel Week 11: Tokyo Week 12: Sapporo Week 13: Hiroshima Week 14: Term examination Week 15: Comments</p>		
テキスト	参考書	Bibliography	評価方法
Textbook (s)	梅棹忠夫編著『日本文明 77 の鍵』文春新書（2005年）。 宮原彬編『留学生のための時代を読み解く上級日本語』スリーエーネットワーク（2006年）。		授業への出席と参加度（40%）、学期末試験（60%）。 Grade will be based on class participation (40%) and term examination (60%).
コピーを配付。 Handouts			

授業題目	日本の古典文学作品を読む			Read works of Japanese classical literature	
担当講師名	関本真乃	SEKIMOTO			
Course No.	実習	J/MA	日本語実習 4C	上級読解	
JPN414.04	Rec.	RDG	Japanese 4C : Advanced Japanese: Reading		
目 標	日本の古典文学作品の現代語訳テキストを読み、古典文学に親しみながら、敬語などの日本語読解能力を向上させる。				
Objective	この授業では、平安時代の古典文学作品の現代語訳テキストを読みます。具体的には『竹取物語』『源氏物語』などの日本の代表する物語を取り上げます。恋愛・結婚など、男女の人間関係という視点から、古典文学についての知識と理解を深めます。その過程において、敬語の使い方を学び、複雑な構造の長文を読む練習をします。				
授業内容	In this class, we are going to read literary works of the Heian period namely outstanding stories of Japan, "The Tale of the Bamboo-Cutter" and "the Tale of Genji" that have been translated into modern Japanese. From the point of love, marriage, and relationships between men and women, we will develop an understanding and knowledge of classical Japanese literature. In the process, we are going to learn honorific and humble language, and to practice reading long sentences with complex structures of modern Japanese. Students will be required to read the text before class, and exchange views on the content in class. This class doesn't require any knowledge of the classical Japanese grammar.				
Description	受講者はテキストを予習し、内容について意見交換を行います。古典文法の知識は必要ありません。				
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography		
プリントを配布します。handouts		『マンガでわかる源氏物語』(池田書店) 『新総合 図説国語』(東京書籍) Manga de Wakaru Genji Monogatari(Ikeda Shoten) "Shinsougou Zusetsu Kokugo"(TokyoShoseki)"	授業への参加 (50%)、期末試験 (50%) Class participation(50%), Final examination(50%)		
			評価方法	Manner of Assessment	

授業題目	日本語教育学入門 Introduction to Japanese Language Teaching		
担当講師名	門脇薫 KADOWAKI		
Course No.	実習 Rec.	J/MA RDG	日本語実習 4C 上級読解 Japanese 4C : Advanced Japanese: Reading
目標 Objective	外国語としての日本語教育の専門知識についての基礎を学ぶ To acquire the fundamental knowledge about 'Teaching Japanese as a Foreign Language'		
授業内容 Description	(1) 日本語学習者 (2) 学習目的とコースデザイン (3) 初級教授項目 ・ 文字 ・ 発音 ・ 語彙 ・ 文法 ・ 談話 ・ ことばと文化 (4) 日本語教材 (5) 評価 (1) Japanese language learners (2) Course design (3) Syllabus of 'Elementary level' Letter/ Pronunciation/Vocabulary/Grammar/Discourse/ Culture (4) Text books and teaching materials (5) Evaluation		
テキスト	Textbook (s)	参考書 Bibliography	評価方法 Manner of Assessment
ハンドアウト 『外国人のための日本語教授法』 国際交流基金 本語国際センター（非売品） Handouts	日 国際交流基金	授業時に適宜指示する。 To be informed during lesson, if required	授業参加・課題 (50%)、試験 (50%) Class Participation & Assignments (50%), Examination (50%)

授業題目	Title			Introduction to linguistics	
担当講師名	Instructor (s)	FUJIWARA			
Course No.	Thu 1	実習	J/MA	日本語実習 4C	上級読解
JPN414.08	Rec.	RDG	Japanese 4C : Advanced Japanese: Reading		
目標	<p>この授業では、言語学にかんする入門的なエッセイをよむこととおして、言語学の基礎的な知識を身につけ、日本語読解能力の向上をはかることを目標とします。</p>				
Objective	<p>This course aims to provide students with a basic knowledge of linguistics.</p>				
授業内容	<p>言語学とは、ことばについて研究する学問分野です。この授業では、言語学の基本的な考え方を紹介します。留学生のみならず、日本語とも比較しながら、ことばの不思議を学びたいとおもいます。</p>				
Description	<p>Linguistics is the scientific study of language. In this course, you will learn basic ideas of linguistics through investigation of words and expressions commonly used in Japanese. Intensive reading of materials will improve your reading skills too. You are also encouraged to provide relevant examples found in your mother tongue.</p>				
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography		
プリントを配布します。 Handouts.		千野栄一. 1994. 『言語学への開かれた扉』 三省堂. CHINO Eiichi. 1994. Gengogaku e no hirakareta tobira. Sanseido.	<p>授業への参加度 (50%) および試験 (50%) により評価します。 Class participation (50%) and examination (50%).</p>		
			評価方法	Manner of Assessment	

授業題目	新聞記事を読み解く				Reading a Variety of Newspaper Articles on Various Issues in Modern Japanese Society	
担当講師名	中西泰洋	NAKANISHI				
Course No.	実習	J/MA	日本語実習 4C	上級読解		
JPN414.10	Rec.	RDG	Japanese 4C : Advanced Japanese: Reading			
目標 Objective	現代の日本社会の様々な問題についての新聞記事を読解することにより、論説文やエッセイ等の読解方法を学ぶとともに、文章表現に直結する日本語運用能力を高めることを目指す。		Through reading a variety of newspaper articles on various issues in modern Japanese society, you will improve your reading comprehension abilities and gain a deeper understanding of Japanese society. In addition to enhancing your comprehension of written Japanese, the aim will be to improve your ability to express ideas and opinions on daily issues in Japanese.			
授業内容 Description	(1) これまでに得た日本語能力を十分に活用しながら、様々なトピックの新聞の論説やエッセイ等の記事を読んでいきます。		(1) You will read essays and articles on various topics from newspaper articles using the Japanese language skills you have acquired thus far.			
	(2) 新聞の文章表現（日本語能力試験 N1 レベル）において、よく用いられる表現形式を学び、表現能力を伸ばしていきます。		(2) You will improve your competence in using expressions that are often used in newspaper articles (and appear in the JLPT N1 examination)			
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment	
プリントを配布します。 Handouts		『現代用語の基礎知識』自由国民社など Gendaiyogo no kisotishiki		授業参加 (50%)、期末レポート (50%) Participation (50%), Final essay (50%)		

授業題目	Title			芥川龍之介を読む		Extensive Reading of Akutagawa Ryunosuke's Works		
担当講師名	Instructor (s)		MIZUNO					
Course No.	Fri 2		実習		日本語実習 4C 上級読解			
JPN414.12	Rec.		J/MA		Japanese 4C : Advanced Japanese: Reading			
目標	芥川龍之介の作品を精読する。芥川の作品を学ぶことを通して、近現代文学を読むために必要な知識を身につける。							
Objective	芥川の主要作品の中でも特に児童向けに書かれた作品を扱う。作品の読解を通じて芥川の小説手法に迫るとともに、芥川を取り巻いた時代状況、文壇の状況を合わせて学んでいく。							
授業内容	We will especially focus on juvenile books, and review methods adopted in his works through comprehension of those works and understandings of situations in the society and literary circles.							
Description	テキスト		Textbook (s)		参考文献		Bibliography	
	芥川龍之介『蜘蛛の糸・杜子春』(新潮文庫) 新潮社 / 1968				平常点 (50%)、レポート (50%) Participation (50%), Essay (50%)		評価方法	
							Manner of Assessment	

授業題目	上級日本語作文 Advanced Japanese Composition			
担当講師名	久保圭	KUBO.K		
Course No.	実習	J/MA	日本語実習 4D 上級作文	
JPN415.02	Rec.	COMP	Japanese 4D : Advanced Japanese: Composition	
目標 Objective	<p>[1] 日本語文章表現のルールを習得する [2] 書きことばに特有の表現を習得する [3] わかりやすい日本語文章を書くための能力を養う</p>		<p>This course aims [1] to learn the rule of Japanese text expressions, [2] to learn expressions appropriate for writing in Japanese, [3] to develop the skill for writing an intelligible Japanese text.</p>	
授業内容 Description	<p>この授業では、作文課題に取り組み（グループワークやディスカッションを含む）ことによって、主に以下の内容について学習します。</p> <p>[1] 日本語での文章作成に必要なルール [2] 手紙、電子メール、レポート、論文などに特有の表現</p>			
テキスト	参考書	Bibliography		
Textbook (s)	石黒圭・筒井千絵・2009.『留学生のためのここが大切 文章表現のルール』東京：スリーエーネットワーク。 友松悦子・2008.『小論文への12のステップ』東京：スリーエーネットワーク。	評価方法	Manner of Assessment	
ハンドアウトを配布します。 Handouts (to be delivered in class)			授業参加 (50%) + 課題・レポート (50%) Participation (50%) + Assignments and Report (50%)	

授業題目	日本語表現の方法と実践			Method and practice of Japanese expression	
担当講師名	坂田達紀	SAKATA			
Course No.	Mon 2	実習	J/MA	日本語実習 4D	上級作文
JPN415.04	Rec.	COMP		Japanese 4D : Advanced Japanese: Composition	
目標	<p>(1) 日本語文法の重要事項を整理・再確認する。 (2) より高度な日本語の表現のしかたを習得する。 (3) できるだけ多く日本語の文章を書く練習をする。</p>			<p>(1) To help students review and reconfirm important points in Japanese grammar. (2) To help students learn advanced Japanese expressions. (3) To help students practice writing as many Japanese sentences as possible.</p>	
Objective	<p>まず、これまでに習得した日本語文法についての知識を確認しながら、重要な文法事項を整理する。ついで、句読点の打ち方やレトリック、文章構成法等、日本語表現に必要な知識とスキルを、テキストの例文を参照しながら説明する。さらに、そうしたより高度な日本語表現を用いて実際に文章を書く機会をできるだけ多くもうけたい。</p>			<p>The course is designed to help students review and correct the Japanese grammatical knowledge which they already have. At the same time, students will study important Japanese grammar further. Moreover, students will be able to acquire the knowledge and skill necessary for Japanese expression, such as punctuation, rhetoric, composition, and so forth. We will refer to the textbook to aid in the mastery of many advanced expressions. The course will give students many opportunities to write in Japanese using these expressions correctly.</p>	
授業内容					
Description					
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
吉村 穠編著 『新訂 日本語と表現の工夫』 双文社 出版 (2005) Yoshimura, S. (ed.) Shintei Nihongo to Hyougen no Kufuu. Soubunshashuppan. (2005)		参考書は特に使用しない。 No bibliography will be used.		学期末試験 (50%)、平常点 (50%)、出席点を重視する。 Grades will be based on final examination (50%) and class participation (50%). Regular attendance is essential.	

授業題目	レポートと論文を書く人の上級作文コース			Japanese Academic Writing	
担当講師名	小南淳子	KOMINAMI			
Course No.	JPN415.06	Wed 3	実習 Rec.	J/MA COMP	日本語実習 4D 上級作文 Japanese 4D : Advanced Japanese: Composition
目標 Objective	<p>レポート・論文を書くために (1) 文献を引用するための要約の技術を身につける。 (2) 論理的で無駄のない文章表現と構成を学ぶ。</p> <p>授業は次の内容で行う。 (1) テキストを用いて、要約練習を行う。 (2) 各自のテーマについて必要な資料を集めたり、アンケートやインタビューを行う。 (3) 映画・ドキュメンタリー映像・新聞記事・資料・統計から、自分の考えをまとめる。 (4) 鋭い視点を身につけるために、討論を行う。 (5) 論文・レポートに適する文章構成を学び、作文を作成する。</p> <p>添削は、個人指導を多く行う。 授業中に書く作文に加えて、毎週、要約や作文の自習課題がある。</p> <p>*授業での積極的な活動と課題提出が重要である。</p>				
授業内容 Description	<p>The activities in this class are (1)to make summaries with textbook. (2)to gather materials on self-interested topics,and send out questionnaires (3)to get your ideas into shape by analyzing materials and statistics (4)to discuss various topics and acquire sharp eyes (5)to learn how to make proper structure for an academic paper.</p> <p>Your composition will be corrected by individual instruction. Weekly writing and summarizing assignments will be given.</p> <p>* Positive attitude is very important.</p>				
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
小南淳子 大阪大学日本語日本文化教育センター Atsuko Kominami.Summary Training for Advanced Learners, CJLC Osaka University, 2008	『上級作文のための要約トレーニング』 大阪大学日本語日本文化教育センター (2008)	木下是雄 ちくま学芸文庫 『レポートの組み立て方』 筑摩書房 (1994) 保坂弘司 講談社学術文庫 『レポート・小論文・卒論の書き方』 講談社 (1978) 高月喜美・小南淳子 『一・中・上級学習者のための一・中・上級メデアの日本語聴解』 大阪大学日本語日本文化教育センター (2010) 西村多恵・高月喜美 小南淳子 『一・中・上級学習者のための一・中・上級メデアの日本語聴解』 大阪大学日本語日本文化教育センター (2012) Koreo Kinoshita.Report no kunitatekata. Chikumasyobo, 1994 Hiroshi Hosaka. Report shorobun sotsuron no kakikata. Kodansha, 1978 Kimi Takatsuki, Atsuko Kominami.Chu jo kyu gakushusha no tame no mass media no nihongo chokai.CJLC, Osaka University (2010) Tae Nishimura, Kimi Takatsuki, Atsuko Kominami. Chu jo kyu gakushusha no tame no mass media no nihongo chokai(2), CJLC, Osaka University (2012)	平常点：授業参加 (65%) 提出課題 (35%) Participation:Class attendance (65%) Exercises and Assignments (35%)		

授業題目	Title			文章表現のルールを学ぶ			Let's learn the rules of written expressions.		
担当講師名	Instructor (s)			阪上彩子			SAKAUE		
Course No.	Thu 1			実習			J/MA		
JPN415.08	Rec.			Rec.			COMP		
目標	Objective			この授業では、レポートなどのアカデミックな文章からメールなどの日常的な文章を、分かりやすく正確に日本語で書くことを目指します。			the goal of this class is to write a report or mails clearly and in detail.		
授業内容	Description			この授業では、以下の内容を取り扱います。			In this class, you will		
				(1) 間違いに気づき、間違いの直し方を学ぶ			(1) learn how to notice mistakes by yourself and correct them.		
				(2) レポートやメールなどを分かりやすく書く			(2) write report or mails clearly		
				(3) 書いたレポートやメールを評価する			(3) evaluate other's report or mail		
				(4) レポートやメールを書き直す			(4) rewrite your own report or mail		
テキスト	Textbook (s)			参考書			Bibliography		
				石黒圭・筒井千絵『留学生のためのここが大切文章表現のルール』スリーエーネットワーク Ishiguro Kei, Tsutsui chie (2009) "留学生のためのここが大切 文章表現のルール", スリーエーネットワーク			授業出席 (20%)、授業態度 (20%)、課題 (30%)、最終レポート (30%) class participation 20%, class attitude 20% assignments 30%, Final report 30%		

授業題目	日本語でレポートや論文をかく			Academic Japanese
担当講師名	Instructor (s)	FUJIWARA		
Course No.	Thu 2	実習	J/MA	日本語実習 4D 上級作文
JPN415.10	Rec.	COMP	Japanese 4D : Advanced Japanese: Composition	
目標	この授業では、大学のレポートや論文でもちいられる学術的な日本語表現を身につけることを目標とします。		This course aims to provide students with a practical knowledge of writing an academic paper in Japanese.	
Objective	書き言葉（文語体）の日本語は話し言葉の日本語（口語体）とかなりちがいます。		Literary Japanese is quite different from its colloquial counterpart. In this course, we will first focus on writing mistakes which foreign students tend to make and then, by correcting them, try to write Japanese in an academic style as much as possible.	
授業内容	この授業では、留学生がまがえやすい日本語表現に留意しながら、学術的な場面でもちいられる日本語作文の練習をします。			
Description	ほぼ毎回課題をだす予定です。			
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法
プリントを配布します。Handouts.		石黒圭・筒井千絵・2009.『留学生のためのここが大初文章表現のルール』スリーエーネットワーク. 佐々木瑞枝ほか・2001.『大学で学ぶためのアカデミック・ジャパニーズ』ジャパンタイムズ. ISHIGURO Kei and TSUTSUI Chie. 2009. Ryugakusei no tame no koko ga taisei bunsyoo hyoogen no ruurui. 3A Corporation. SASAKI Mizue et al. 2001. Academic Japanese for International Students. The Japan Times.		授業への参加度 (50%) および課題提出 (50%) により評価します。 Class participation (50%) and writing assignments (50%).

授業題目	映像を見て、文章を書く Watching Videos & Writing Compositions		
担当講師名	山本一也	YAMAMOTO	
Course No.	実習	J/MA	日本語実習 4D 上級作文
JPN415.12	Rec.	COMP	Japanese 4D : Advanced Japanese: Composition
目標	ドキュメンタリー、映画、アニメーションなど、様々な映像を見てもらった上で、それらを描写したり論じたりする、比較的高度な文章を書いてもらいます。		
Objective	それによって、日本語の表現力や作文の構成力を高めることを目指します。さらに、「話しことば」と「書きことば」の違いや、「書きことば」特有の表現をきちんとと習得してもらうことも目標としています。また、ただ文章を書くだけでなく、各トピックスを切り口にして、日本文化の特質についてともに考えてみたいと思います。		
授業内容	授業で扱う人物・素材は次のようなものを予定しています。 ①大植英次 ～奇蹟を起こす指揮者 ②水谷修 ～“夜回り先生” ③鉄拳 ～驚愕のバラバラマンガ・アーティスト ④陰陽座 ～“妖怪ヘヴィメタル・バンド” ⑤山田風太郎(作家) ～小説『甲賀忍法帖』を読み、アニメ『バジリスク』を見る ⑥伊坂幸太郎(作家) ～映画「アヒルと鴨のコインロッカー」を見る ⑦岩井俊二(映画監督) ～映画「打ち上げ花火、下から見るか？横から見るか？」を見る ⑧アニメ「もやしもん」～「癒し系」について考える ⑨映画「リング」、ドラマ「怪談新耳袋」～Jホラーについて考える ⑩映画「DOCUMENTARY of AKB48 少女たちは傷つきながら、夢を見る」～日本のアイドルについて考える ⑪映画「バトル・ロワイアル」(深作欣二 監督)～暴力表現の問題について考える ⑫TV番組「探偵ナイトスクープ」～関西人のユーモアについて考える ⑬アニメ「しばわんこの和のころ」～日本の伝統文化を柴犬に習う		
Description	These subjects will be taken up in this class. ① Eiji Oue, a passionate conductor performing miracles ② Osamu Mizutani, “Yomawari Sensei(Guardian Teacher)” ③ Tekken, an amazing flip-book artist ④ Onmyo-za, a Japanese “Yokai Heavy Metal” band ⑤ Futaro Yamada ~ “Kouga Nimpocho”, “Basilisk” ⑥ Kotaro Isaka ~ “The Foreign Duck, The Native Duck and God in a Coin Locker” ⑦ Syunji Iwai ~ “Fireworks, Should We See It from the Side or the Bottom?” ⑧ “Moyashimon - Tales of Agriculture” ~ thinking about the “healing” boom ⑨ “Ring”, “Kaidan Shin-mimifukuro” ~ thinking about Japanese horror movies ⑩ “DOCUMENTARY of AKB48 Show must go on” ~ thinking about Japanese idols ⑪ “Battle Royale” (directed by Kinji Fukasaku) ~ thinking about violent expressions ⑫ “Tantei Knight Scoop” ~ thinking about the humor of the Kansai district ⑬ “Shibawanko’s Spirit of Tradition” ~ A shiba dog introduces traditional Japanese cultures		
テキスト	参考書	Bibliography	評価方法
Textbook (s)	『大学・大学院 留学生の日本語②作文編』(アルク、2001年) “Japanese for International College/Graduate Students ② Composition” ALC(2001)		Manner of Assessment
講師作成のテキスト	出席(70%) + レポート(30%) Participation(70%) + Reports(30%)		

授業題目	上級作文			Advanced Composition	
担当講師名	熱田万美	ATSUTA			
Course No.	実習	J/MA	日本語実習 4D	上級作文	
JPN415.14	Rec.	COMP	Japanese 4D : Advanced Japanese: Composition		
目標	<p>In the same way as the spoken language, the written language shows variations depending on purpose, topic and the kind of reader it is addressed to. This course intends to develop a good command of several writing styles and the ability to use them appropriately. Through the action of writing, students jointly explore what it means to create a text which is interesting for its readers.</p>				
Objective	<p>*Investigating various writing styles from the following points of view, students familiarize themselves with the properties of the different styles. + What are the characteristics of academic writing (articles, essays, etc.)? + What are the characteristics of everyday writing (letters, emails, etc.)? + What makes a text easy to read ? + Writing practice: ++ composing a text intended for a specific kind of reader ++ composing a text for a specific purpose *Students practice to compose texts with the purpose of conveying information and expressing their own opinions with respect to various sources and media, like videos, photographs and other texts.</p>				
授業内容	<p>* 次のような観点で、異なるスタイルの文章を読みそれぞれの文体的特徴を確認する ・書きことばらしい書きことば ——論文らしい文体とは？ ・話しことばのように見える書きことば ——生活の実感を伴った書きことば ・「読みやすい文章」とは何？ ・実際に書いてみよう —— 読み手が誰かを意識して書く練習 —— 目的に応じて文章のスタイルを変えて書く練習 * 授業内で映像、写真、文章などから得た情報を人に伝える文章、それについて自分の意見を述べる文章を書いてもらう</p>				
Description					
テキスト	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment	
ハンドアウト Handouts	アカデミック・ジャパニーズ研究会編著 『大学・大学院 留学生の日本語②作文編』 (2001)	アルク	授業参加 (50%)、課題提出 (50%) Participation(50%), Assignments(50%)		

授業題目	上級日本語の聴解			Advanced Listening		Comprehension
担当講師名	Instructor (s)	川渕節子 KAWABUCHI				
Course No.	Mon 2	実習	J/MA	日本語実習 4E	上級聴解	
JPN416.02	Rec.		LIS	Japanese 4E : Advanced Japanese: Listening Comprehension		
目標	日本語の会話や講義を聞き、選択的聞き取りや大意聞き取り等の有効な聴解ストラテジーを身につける。		Develop the listening ability to follow natural Japanese and acquire listening strategy.			
Objective	以下の教材を使用して聴解タスクに取り組むとともに、その内容について意見交換を行う。		You will work on some listening tasks and exchange views on the following texts.			
授業内容	① ダイアログやモノログ (中上級及び上級日本語教材、NHK ラジオ高校講座などから抜粋)		① dialogue / monologue			
Description	② テレビ番組 (『しばわんこの和のころ』「ことばおじさんのナック日本語塾」その他) 教材は、日本語・日本文化に関するものをはじめとし、時世のトピックなどを取り入れたものを扱う予定である。		② TV programs Texts are concerned with Japanese language, culture, current trends, and others.			
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography		評価方法	Manner of Assessment
講師が作成したハンドアウトを使用 Materials prepared by the instructor		川崎良枝 (2002) 『しばわんこの和のころ』 白泉社 NHK 高校講座ホームページ http://www.nhk.jp/kokokoza/			期末試験 (80%) と平常点 (20%) examination 80% participation 20%	

授業題目	Title			Listening Comprehension for Intermediate to Advanced Learners	
担当講師名	Instructor (s)	出口雅也			
Course No.	Mon 4	J/MA	日本語実習 4E	上級聴解	
JPN416.04		LIS	Japanese 4E : Advanced Japanese: Listening Comprehension		
目標	To develop listening skills necessary for the Japanese Language Proficiency Test, Level 1.				
Objective	<ul style="list-style-type: none"> ・ You do listening exercises for the Japanese Language Proficiency Test, Level 1. ・ You watch Japanese movies to improve ability to comprehend natural conversation. You also talk about the content of the movie. 				
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語能力試験 1 級用の聴解問題集に取り組む。 ・ 日本映画を観て自然な会話を聞き取る訓練をする。また映画の内容について話し合う。 				
Description					
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
『実力アップ！日本語能力試験 1 級聴解問題』からコピーして配布する。 Handouts from "Zituryoku appu! Nihongo nooryoku siken 1 kyuu tyookai mondai".	松本他 (2004). 『実力アップ！日本語能力試験 1 級聴解問題』, 東京, ユニコム。 Matumoto et al. (2004). Zituryoku appu! Nihongo nooryoku siken 1 kyuu tyookai mondai. Tokyo: Unicom.			平常点 (40%), 課題・小テスト (60%) Class participation (40%), Assignments and quizzes (60%).	

授業題目	Title			Advanced listening comprehension		
担当講師名	Instructor (s)			LEE		
Course No.	Tue 1		実習	J/MA	上級聴解	
JPN416.06	Rec.		LEE	Japanese 4E : Advanced Japanese: Listening Comprehension		
目標	<p>1. 日常生活で話される自然な会話を正確に聞き取れるようになる。</p> <p>2. ニュースが聞き取れるようになる。</p>			<p>1.To improve listening to follow natural Japanese conversation in daily life.</p> <p>2.To improve your news listening skill.</p>		
授業内容	<p>1. 日常会話を聞いて、内容だけではなく、場面や人間関係なども正確に把握する練習をする。また、そこで用いられている表現について学び、会話練習も取り入れる。</p> <p>2. ニュースを聞き取るためのキーワードやポイントを把握し、ニュースの全体と詳細を理解する練習をする。その後、聞き取った内容を要約し、発表する。</p>			<p>1. In this class, you practice listening daily conversation and learn the useful expressions. Also,you practice conversation using these expressions.</p> <p>2. You practice to grasp keywords and key points,and understand whole meaning as well as details of the news.</p>		
Description						
	テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
	『聞いて覚える話し方 日本語生中継 中～上級編』くろしお出版 からコピーして配布				出席 (40%)、テスト + 課題 (60%) participation40%, Test & assignments60%	
	『ニュースの日本語 聴解 50』スリーエーネットワーク からコピーして配布					

授業題目	上級学習者のための聴解			Listening Comprehension for Advanced Learners	
担当講師名	高月喜美	TAKATSUKI			
Course No.	実習	J/MA	日本語実習 4E	上級聴解	
JPN416.08	Rec.	LIS	Japanese 4E : Advanced Japanese: Listening Comprehension		
目標	*この授業はすでに中級（おおむね日本語能力試験N2相当）と認められる能力があり、さらに上級（おおむねN1相当）へのステップアップをめざす学生を対象とする。 *日本語能力試験N1の聴解試験に必要な聴解力を高める。 *自然な速さの日本語を聞き、重要な情報が聞き取れるようになる。				
Objective	*This class is intended for the students who have already acquired intermediate Japanese ability, such as the Japanese language Proficiency Test, Level 2 or the equivalent and wish to improve that ability for the advanced Level, Level 1. *To develop the listening skills necessary for the Level 1 Listening Comprehension section of the Japanese Language Proficiency Test. *To learn to glean important information from Japanese spoken at a natural pace.				
授業内容	In this class, you will				
Description	*practice listening to questions from the Japanese Language Proficiency Test, Level 1. *watch TV programs (e.g. news, some short documentary episodes, talk shows and variety shows) and listen to various radio programs for further comprehension practice. *engage in simple conversation based on those programs.				
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
高月喜美・小南淳子「中・上級学習者のためのマスメディアの日本語聴解」大阪大学日本語日本文化教育センター(2010) 日本語能力試験の過去問等から必要なページをコピーして配布する。 Kimi Takatsuki, Atsuko Kominami "Chu jo kyu gakushusha no tame no mass media no nihongo chokai" C/JLC, Osaka University (2010) *All necessary texts and reference materials will be provided by the instructor. *Practice exercises taken from the Japanese Language Proficiency Tests given in the past.	中村かおり 他「新完全マスター聴解日本語能力試験N1」スリーエーネットワーク(2011) 筒井由美子 他「日本語能力試験1級・2級 試験に出る聴解」桐原書店(2005) 日本語教育研究所 編「項目整理 1級問題集」凡人社(1995) 過去に行われた日本語能力試験の問題集 Kaori Nakamura et al. "Shin kanzen master chokai Nihongo noryoku shiken N1" 3A Corporation(2011) Yumiko Tsutsui et al. "Nihongo noryoku shiken Ikyu・2kyu, Shiken ni deru chokai" Kiriharashoten (2005) Nihongo kyoiku kenkyusho "Komokuseiri Ikyu mondaishu" Bonjinsha (1995)	小テスト・課題・平常点 (50%)、出席 (50%) Comprehension quizzes given in class, assignments and active class participation (50%) ; Attendance (50%)			

授業題目	上級日本語聴解 Listening comprehension for advanced learners of Japanese			
担当講師名	林和子	HAYASHI		
Course No.	実習	J/MA	日本語実習 4E	上級聴解
JPN416.10	Rec.	LIS	Japanese 4E : Advanced Japanese: Listening Comprehension	
目標 Objective	テレビ番組などの教材を用いた学習によって、聴解能力を向上させる		To develop listening skill by using TV programs etc.	
授業内容 Description	この授業では、ニュース、インタビュー、バラエティー、ドラマといったテレビ番組などを視聴します。 重要な情報を聞き取る練習をおこなったり、敬語などの待遇表現や日本語の談話構成を学びます。理解したことをクラスで話し合い、内容の理解を深めます。 内容に応じて聴解練習用のCDを用います。要望があれば、日本語能力試験NIの聞き取り問題をします。		The following activities are provided in this class: To watch TV programs (e.g. news, interviews, variety shows, dramas) etc. to develop your listening skills. To practice for catching up important information and to learn “Keigo” or Japanese conversation patterns from the contexts of the listening materials. To discuss what you understood for further comprehension of the materials.	
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法
ハンドアウト配布 handouts		川口さち子、桐生新子、杉村和枝、根本牧、原田明子『上級の力をつける聴解ストラテジー(上)(下)第2版』 凡人社		授業参加 70% 期末試験 30% Participation 70% Final examination 30%

授業題目	日本語聴解力の向上—上級から超級へ— Comprehension of spoken Japanese: progressing from advanced to highly advanced level		
担当講師名	大崎紀子 OSAKI		
Course No.	実習	J/MA	日本語実習 4E 上級聴解
JPN416.12	Rec.	LIS	Japanese 4E : Advanced Japanese: Listening Comprehension
目標 Objective	1. 大学の講義を聞き取るための技術を身につける。 2. 討論の場など複数の人間が同時に話すような場面でも必要な情報を聞き取ることでできる高度な日本語聴解能力を習得する。	<p>1. To develop your academic listening skills.</p> <p>2. To learn highly advanced listening skills enough to obtain necessary information even on occasions when several people talk at once.</p>	
授業内容 Description	授業では次のような教材を用いて聴く力を養います。 1. テレビの討論番組、バラエティ番組、ドキュメンタリーなど 2. 『国境を越えて 改訂版』 山本富美子編著 新曜社 (2007) 聞きながらノートを取り、その後で質問に答えて、自分の理解が正しかったかどうかを確認します。教材で用いられる語彙のリストをあらかじめ渡しますから、予習をして授業に臨んで下さい。	<p>You will learn listening skills using the following materials:</p> <p>1. DVDs of television discussion programs, variety shows and documentary programs</p> <p>2. 『国境を越えて 改訂版』 (2007)</p> <p>You will be encouraged to take notes, and then receive questions about the content of the materials to confirm if your understanding is correct.</p> <p>Vocabulary contained in the material will be provided in advance so that you can prepare for the class.</p>	
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
ハンドアウト配布 Handouts.		『国境を越えて 改訂版』 本文編、語彙・文法編、山本富美子編著 新曜社 (2007)	授業参加 (80%) 課題 (20%) Participation(80%) and assignment(20%)
		評価方法	Manner of Assessment

授業題目	Advanced Listening Comprehension		
担当講師名	上級聴解 熱田万美	ATSUTA	
Course No. JPN416.14	実習 Rec.	J/MA LIS	日本語実習 4E 上級聴解 Japanese 4E : Advanced Japanese: Listening Comprehension
目標 Objective	<p>語彙や文法は既知のものであるのに内容が理解できないといったことに対し、何が理解を妨げているのかを一緒に考えて、聞き取りのこつをつかむ</p> <p>The course focuses on items of vocabulary and grammar which are known, but which for some reason remain difficult to understand. The class will reflect together on the nature of the difficulties.</p>		
授業内容 Description	<p>①あらかじめ語彙を確認した上で、録画されたテレビ番組を毎回視聴し、その中でインタビュアー、ディスクッションを分析的に聞く。それは、新しい語彙や表現を学習することであるとともに、発話者の気持ちや意図を汲み取る練習である</p> <p>②視聴した内容に関して、まとめを行う（内容確認問題、要約、意見文など）</p> <p>1) After confirming the relevant vocabulary, students will watch recorded TV programs and analytically listen to shown interviews and discussions.</p> <p>While studying new vocabulary and expressions, students will practise to grasp a speaker's intent and mood.</p> <p>2) Students will reflect on the content of the shown material and write up summaries or work on exercises confirming their understanding.</p>		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
ハンドアウト Handouts		楢本総子、宮谷敦美『日本語生中継・中～上級編』くろしお出版（2004年）	授業参加（50%）、課題提出（50%） Participation(50%), Assignments(50%)
		評価方法	Manner of Assessment

授業題目	通訳者になるための実践コース			Practical Interpretation	
担当講師名	Instructor (s)	小倉慶郎			
Course No.	Mon 2	実習	J/MA	日本語実習 4F	上級会話
JPN417.02	Rec.	OGURA.Y	CONV	Japanese 4F : Advanced Japanese: Conversation	
目標	この授業では、英→日・日→英の逐次通訳と同時通訳の技術を学び、将来プロの通訳者になれるよう指導する。				
Objective	音声教材を利用して、シャドウイング・リプロダクションなどさまざまな通訳技術を学習する。受講生は、英語・日本語ともに上級レベルであることが望ましい。なお秋学期と春学期は学習教材が異なる。				
授業内容	Interpretation training will be provided with the help of audio materials. Students must be fluent both in English and in Japanese. Teaching materials change from semester to semester				
Description					
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography		
There is no textbook for this course.		ピンカートン 嘩子・篠田 顕子著『実践 英語スピーチ通訳——式辞あいさつからビジネス場面まで』大修館書店 P?chhacker, F. Introducing Interpreting Studies(Routledge)	平常点 (70%)、学期末試験 (30%)、出席を重視。 The course grade will be based on class participation (70%), final exam (30%). Regular attendance is absolutely necessary.		
			評価方法	Manner of Assessment	

授業題目	日英翻訳者になるための実践コース			Practical Translation (J to E only)	
担当講師名	小倉慶郎		OGURA.Y		
Course No.	実習	J/MA	日本語実習 4F	上級会話	
JPN417.04	Rec.	CONV	Japanese 4F : Advanced Japanese: Conversation		
目標	この授業では、日→英翻訳の技術を学び、将来プロの翻訳者になれるよう指導する。		The purpose of this course is to study various skills in written translation from Japanese to English for your future career.		
Objective					
授業内容	朝日新聞の「天声人語」などのほか、文学作品（村上春樹等）、アニメの字幕翻訳（「となりのトトロ」）などを教材として、プロの翻訳者がどのように訳しているのかを検討する。特に文化的な語句の翻訳に注目したい。		Students will carefully study how professional translators put culture-specific words into English, using the materials such as the "Vox Populi, Vox Dei" column of the Asahi Shimbun, short stories written by Haruki Murakami, My Neighbor Totoro directed by Hayao Miyazaki and so forth.		
Description	受講生は、英語・日本語ともに上級レベルであることが望ましい。なお秋学期と春学期は学習教材が異なる。		Students must be fluent both in English and in Japanese. Teaching materials change from semester to semester		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
テキストは特に使用しない。 There is no textbook for this course.		『翻訳の原理』平子義男著、大修館書店 Munday, J. Introducing Translation Studies (Routledge)		平常点 (70%)、学期末試験 (30%)、出席を重視。 The course grade will be based on class participation (70%), final examination (30%). Regular attendance is absolutely necessary.	

授業題目	Title		発音矯正 (はつおんきょうせい)		Clinical Training for Better Pronunciation	
担当講師名	Instructor (s)		福居誠二		FUKUI	
Course No.	Mon 3	実習	J/MA	日本語実習 4F	上級会話	
JPN417.06	Rec.	Rec.	CONV	Japanese 4F : Advanced Japanese: Conversation		
目 標	日本語の発音をより自然なものにすること。					
Objective	To make students' Japanese pronunciation more natural					
授業内容	<p>日本語の発音が正確に聞き取れるようになり、発音できるようになるためには、時聞をかけて耳を慣らし、話す機会を搾やすことが大切なことではもちろんですが、知っていたら役立つ知識もあります。日本語の発音がどうやって作られるのかを合理的に説明します。理解をたずねるために、受講生の母語や英語をはじめとするなごみのふかい音声との比較などもまじえた授業にします。なお授業の進め方は受講生の数によってかわります。授業計画は1回目と2回目の授業で説明します。その他の授業内容はおよそ次の通りです：</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 音声、おと、おん、こえ、せい (1) (2) 音声、おと、おん、こえ、せい (2) (3) 母音、子音 (1) (4) 母音、子音 (2) (5) 母音、子音 (3) (6) 促音、撥音 (1) (7) 促音、撥音 (2) (8) アクセント規則 (9) アクセントの聞き取りと発出練習 (1) (10) アクセントの聞き取りと発出練習 (2) (11) アクセントの聞き取りと発出練習 (3) (12) アクセントの聞き取りと発出練習 (4) (13) 最終試験 (14) 試験解説 					
授業内容	Textbook (s)		参考書		Bibliography	
	<p>「日本語はどんなことば」(ふくいせいじ著、新学生会)の音韻編を使います。ただしこの本は絶版になっていますので、作成中の改訂版を使います。これはネット上で公開し、受講生には無料でダウンロードできるようにしてあります。また必要ときには参考文献にもとづいてつくったプリントを配布します。</p> <p>One section of "Nihongowa donna kotoba?" (by Fukui S. Shinseikai) is used. Although this book is sold out now, a new revised edition can be downloaded from a website of the instructor, whose URL will be given after registration. Handouts based on the reference books are given occasionally, too.</p>		<p>ふくいせいじ「ことばを学ぶ人の発音クリニック」1999 S.K. リンケージ</p> <p>天沼憲・大坪一夫・水谷修「日本語音声学」くろしお出版</p> <p>平山輝男「全国アクセント辞典」東京堂出版</p> <p>Fukui Seiji "Kotobao manabuhitono hatuon clinic" 1999 S.K.Linkage</p> <p>Amanuma, Ootubo, Mizutani "Nihongo On's:gaku" Kuroso Syuppan</p> <p>Hirayama Teruo "Zenkoku Akusento Ziten" T?ky?d? Syuppan</p>		<p>評価方法</p> <p>Manner of Assessment</p> <p>筆記と実技(聞き取りと発音)の定期試験結果と、授業への積極的で規則的な参加態度をほぼ同等に評価します。</p> <p>Based on the final tests on listening and pronouncing. Positive and regular attendance is equally evaluated.</p>	

授業題目	なめらかな日本語会話—様々なバリエーションでの実践— Successful Communication in Japanese -various oral expressions-		
担当講師名	湯浅章子 YUASA		
Course No. JPN417.08	実習 Rec.	J/MA CONV	日本語実習 4F 上級会話 Japanese 4F : Advanced Japanese: Conversation
目標 Objective	<p>・日本語上級者として求められる会話能力を、様々な場面を想定した実践を通じて身につける。 ・各人が関心のある話題について発表を行う。</p> <p>1. To acquire Japanese conversation skills expected as an advanced level speaker. 2. Students are required to make short presentation on self-interested topics.</p>		
授業内容 Description	<p>このクラスは日本語能力試験1級 (N1) 相当、あるいは2級 (N2) 以上の能力を有する学生を対象とする。</p> <p>本授業では様々な場面における日本語表現を上級会話テキストを用いて練習、実践する。</p> <p>また、新聞記事や読み物を用いて上級話者としての発音練習を行う。</p> <p>This class is for the students who already have JLPT Level 1(N1) or Level 2(N2).</p> <p>In this class, you will study the social and individual variation of Japanese dialogue with upper-level texts, and also practice monologue with short readings.</p>		
テキスト	Textbook (s)	参考書 Bibliography	評価方法 Manner of Assessment
ハンドアウト Handouts		萩原稚佳子他 2005『日本語上級話者への道—きちんと伝える技術と表現』スリーネットワーク Ogiwara, Masuda, Saito, Ito, Advanced Japanese Conversation, Three Net Work	平常点 (50%) 期末試験 (50%) Class Participation (50%) Final Examination (50%)

授業題目	Title	伝えること (難しいけれど...)	Communication (difficult but...)
担当講師名	Instructor (s)	波多野吉徳	HATANO
Course No.	Thu 2	実習 Rec.	日本語実習 4F 上級会話 Japanese 4F : Advanced Japanese: Conversation
目標 Objective	<p>このクラスの目的は論理的に話せるようになることです。つまり、自分の言いたいことを聞き手にわかるように話すためにはどんなことに注意すべきかを考えるということです。一方、自分の意見をなるべく正確に伝えるためには「どのように話すか」にも注意する必要があります。人は感情を持つ生き物ですから、どのように伝えるかによって、相手に誤解されることもあるし、ちゃんと理解されることもあるということです。ここでは、言葉とともに言葉以外の要素についても考える必要があります。大きくこの二つに注意しながら話せるようになることがこのクラスの目的です。</p> <p>The aim of this class is to learn how to tell your ideas accurately and effectively.</p>		
授業内容 Description	<p>最初は、日本語の談話形式の特徴を学びます。つまり、日本語母語話者 (以下「日本人」) がどういった話の展開を好むのかということ。これは、「日本人」の話聞くとき、「日本人」と話をするとき頭に入れておくことです。次に、自分と相手との関係を考えた適切な表現を学びます。つまり、大人が大人に対する話し方です。具体的には、「敬語」を適切に使えるようになることです。以上を基礎に、実際に話す段階に入ります。何かについて話すためにはその何かをよく知っているか、少なくとも関心を持っている必要があります。このクラスではクラスに集まったみなさんの意見を聞きながら、いくつかのテーマについて話し合いを行います。テーマが決まったら、それについて事前に調べる必要も出てくるでしょう。</p> <p>1.Reading materials to learn JAPANESE conversation pattern. 2.Reading materials to learn JAPANESE 'Keigo'. 3.Based on 1 and 2,talking about JAPAN (people,society and culture) with classmates. 4.Watching DVD to learn JAPAN (people,society and culture).</p>		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
ハンドアウト (担当者作成の資料、参考資料 (テキストの抜粋・新聞記事) など) Handouts	<p>菊池康人『敬語』講談社学術文庫 "KEIGO" by KIKUCHI Yasuo KODANSHA</p>		
		評価方法	Manner of Assessment
		<p>積極的な授業参加 80% 試験 20% Participation(positive):80% Examination:20%</p>	

授業題目	上級日本語会話 Advanced Japanese Conversation		
担当講師名	林和子	HAYASHI	
Course No.	実習 Rec.	J/MA CONV	日本語実習 4F 上級会話 Japanese 4F : Advanced Japanese: Conversation
目標 Objective	日本語上級話者にふさわしい会話を習得すること To learn Japanese conversation skills as advanced level learners		
授業内容 Description	<p>① 配布資料やドラマ等のテレビ番組を利用して、日常の様々な場面で用いられる表現を学び、実際に話す練習をする。</p> <p>② 決められた話題について、関連する語彙、表現を確認したうえで考えをまとめ、話し合う。</p> <p>① You will learn various expressions used in daily life with handouts or TV programs such as dramas. Then, you will practice talking with another by using the expressions.</p> <p>② You will learn related vocabularies and expressions, summarise one's thoughts and discuss with classmates on determined topics.</p>		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
ハンドアウト配布 Handouts		清水崇文『中級学習者のためのブラッシュアップ日本語会話』スリーエーネットワーク 水谷修、水谷信子『改訂新版 新聞で学ぶ日本語 読んで話す現代の日本』The Japan times	評価方法 Manner of Assessment 授業参加 70% 期末試験 30% Participation 70% Final examination 30%

授業題目	日本語会話 中級から上級へ			Advanced Japanese: Conversation	
担当講師名	大崎紀子 OSAKI				
Course No.	実習	J/MA	日本語実習 4F	上級会話	
JPN417.14	Rec.	CONV	Japanese 4F : Advanced Japanese: Conversation		
目標 Objective	日本語上級話者として求められる会話の能力を身につけること		To acquire Japanese language skills expected as an advanced level speaker		
授業内容 Description	<p>授業では以下のような話題について会話練習をします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介で好印象を与えよう 2. なくした経験を話そう 3. 動作の順序を説明しよう 4. スポーツの面白さを伝えよう 5. 言いかえて説明しよう 6. ストーリーを話そう その他 <p>語彙や表現のリストをあらかじめ渡しますから、予習をして授業に臨んでください。</p>		<p>Topics covered in the class are as follows:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. How to leave a good impression in your self-introduction. 2. Have you ever lost something important? Talk about your experiences. 3. Explaining the sequence of movement. 4. Are there any sports you like to play or watch? Talk about fun of sports. 5. Explaining in other words. 6. Telling a story, etc. <p>Vocabulary and expressions requisite for the class will be provided in advance so that you can prepare for the class.</p>		
テキスト	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment	
ハンドアウト配布 Handouts.	『日本語上級話者への道 きちんと伝える技術と表現』 萩原稚佳子他著 スリーエーネットワーク (2005)		授業参加 (80%) 課題 (20%)	Participation(80%) and assignment(20%)	

授業題目	Title			Advanced Conversation		
担当講師名	Instructor (s)	ITO.TOMO				
Course No.	Fri 2	実習	J/MA	日本語実習 4F	上級会話	
		Rec.	CONV	Japanese 4F : Advanced Japanese: Conversation		
目標	Objective			This course is designed to help students improve their conversation abilities.		
授業内容	Description			In this course you will watch the drama,movie,and master effective expressions, you study their usage practised. And you will discuss your impressions of drama,movie.		
	テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
ハンドアウト handout			萩原稚佳子 他 (2005)『日本語上級話者への道』 Ogihara Chikako(2005)		平常点 (50%) 課題 (50%) participation(50%) assignments(50%)	

授業題目	Title			上級日本語ディスカッション			Advanced Discussion		
担当講師名	Instructor (s)			HONGYO					
Course No.	Fri 4			実習			日本語実習 4F 上級会話		
JPN417.18	Rec.			J/MA CONV			Japanese 4F : Advanced Japanese: Conversation		
目標	Objective			日本の最新時事ニュースや社会問題を扱うことで、日本語運用能力向上はもちろん、日本事情に詳しくなることを目指す。			To acquire speaking skills through discussions. To understand Japanese current topics and news.		
授業内容	Description			新聞やインターネット上のニュースから興味深いニュースや話題のテーマをピックアップし、それについてクラスメイトとディスカッションを行います。			We will choose some interesting topics from the newspaper and try to discuss about them.		
				次の授業で扱うテーマについて自分の意見をまとめる作業を宿題として課します。			Writing your opinions at home and bring it next class.(Homework)		
テキスト	Textbook (s)			参考書			Bibliography		
プリントを使用します。 Handouts				授業内で適宜紹介します。			出席 60%、課題 40%		
				評価方法			Manner of Assessment		

MM1

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	
I	K (313.02) KUBOTA R (352.02) MOTOBAYASHI SP (410.02) HARADA COMP(415.02) KUBO	MSPA [300.02] FURUKAWA 1305	MSPA [300.02] YAMATO.Y 1305	MSPB [300.12] HATANO CONV (317.06) YOSHIKANE K (413.10) YAMANAKA RDG (414.08) FUJIWARA COMP(415.08) SAKAUE	1305 1301 1302 1303 1312	MR (352.10) TAMAS LIS (316.08) TANAKA.M SP (410.16) MANDA K (413.14) ITO.TOM
II	MSPB [300.12] KUBO R (331.02) MURATA.M RDG (414.02) KUBOTA COMP(415.04) SAKATA LIS (416.02) KAWABUCHI CONV(417.02) OGURA.Y	MR (331.06) VAAGE GORAN MR (364.04) WATANABE COMP(315.04) Lee Yousun LIS (316.04) SOGAWA R (352.06) HISAOKA R (352.08) SHIMAMOTO SP (410.06) ITO.Y K (413.04) KITAGAWA	MR (356.04) BURENINA YULIA COMP(315.06) KOMINAMI CONV(317.02) HIBI R (360.02) ITO.TOS	MSPA [300.02] YOSHIKANE 1305	1301 1302 1312 1303	MSPA [300.02] TANAKA.M 1305
III	MR (356.02) TONGU SP (310.02) ISHIBASHI LIS (316.02) MIHARA CONV(417.04) OGURA.Y CONV(417.06) FUKUI	MDR [309.82] MURATA.M 1305	K (313.04) KUNIKATA LIS (316.06) NISHIMURA CONV(317.04) FURUE R (331.08) NAKATA R (352.12) IWALS COMP(415.06) KOMINAMI	RDG (314.06) MASHITA SP (410.14) MITO RDG (414.10) NAKANISHI COMP(415.12) YAMAMOTO.K CONV(417.12) HAYASHI	1302 1303 1301 1313 1312	SP (310.10) SHUTO COMP(315.08) FUJIE CONV(317.08) TANAKA.M R (333.02) YAMATO.Y LIS (416.14) ATSUTA
IV	R (331.04) IMAI R (340.02) GONOJI SP (410.04) MITSUTA LIS (416.04) IDEGUCHI	MIS [219.82] KATO.H MIS [219.84] NAKATA MIS [219.86] MIZUTA	R [356.08] KATO.H RDG (314.04) HIROKAWA R (361.02) INOUE.S SP (410.08) SHOJI K (413.08) NISHIMURA	MR (364.06) SAKURAI SP (310.08) ATSUTA R (350.02) INOMO K (413.12) NAKANISHI LIS (416.12) OOSAKI	1308 1301 1302 1303 1312	MR (362.02) Carmona Daniel William R (344.02) SHIBATA SP (410.18) ATSUTA CONV(417.18) HONGYO
V	MR (352.04) FUKIMITSU COMP(315.02) IDEGUCHI R (364.02) NUKITA RDG (414.04) SEKIMOTO	K (313.06) HIROKAWA R (331.10) SHOJI R (353.02) SANO RDG (414.06) KADOWAKI	1301 1302 1303 1312	COMP(415.14) ATSUTA CONV(417.14) OOSAKI	1301 1312	

MM2

Monday Tuesday Wednesday Thursday Friday

<p>I</p>	<p>K (313.02) KUBOTA R (352.02) MOTOBAYASHI SP (410.02) HARADA COMP(415.02) KUBO</p>	<p>MSPA [300.04] ITO.Y 1306</p>	<p>MSPA [300.04] HIBI 1306</p>	<p>MSPB [300.14] HAYASHI CONV(317.06) YOSHIKANE K (413.10) YAMANAKA RDG (414.08) FUJIWARA COMP(415.08) SAKAUE</p>	<p>MR (352.10) TAMAS LIS (316.08) TANAKA.M SP (410.16) MANDA K (413.14) ITO.TOM</p>	<p>1301 1312 1302 1303</p>	<p>1301 1302 1303 1312</p>
<p>II</p>	<p>MSPB [300.14] HARADA R (331.02) MURATA.M RDG (414.02) KUBOTA COMP(415.04) SAKATA LIS (416.02) KAWABUCHI CONV(417.02) OGURA.Y 1214</p>	<p>MR (331.06) VAAGE GORAN MR (364.04) WATANABE COMP(315.04) Lee Yousun LIS (316.04) SOGAWA R (352.06) HISAOKA R (352.08) SHIMAMOTO SP (410.06) ITO.Y K (413.04) KITAGAWA 1306</p>	<p>MR (356.04) BURENINA YULIA COMP(315.06) KOMINAMI CONV(317.02) HIBI R (360.02) ITO.TOS. 1301 1302 1312 1303</p>	<p>MSPA [300.04] YAMAZAWA 1306</p>	<p>MSPA [300.04] KISHIDA 1306</p>	<p>1301 1302 1303</p>	<p>1301 1302 1303</p>
<p>III</p>	<p>MR (356.02) TONGU SP (310.02) ISHIBASHI LIS (316.02) MIHARA CONV(417.04) OGURA.Y CONV(417.06) FUKUI 1214 1304</p>	<p>MR (313.04) KUNIKATA LIS (316.06) NISHIMURA CONV(317.04) FURUE R (331.08) NAKATA R (352.12) IWALS COMP(415.06) KOMINAMI 1301 1312 1302 1303 1311 1308</p>	<p>RDG (314.06) MASHITA SP (410.14) MITO RDG (414.10) NAKANISHI COMP(415.12) YAMAMOTO.K CONV(417.12) HAYASHI 1302 1303 1301 1313 1312</p>	<p>RDG (310.10) SHUTO COMP(315.08) FUJIE CONV(317.08) TANAKA.M R (333.02) YAMATO.Y LIS (416.14) ATSUTA 1301 1303 1312 1307 1302</p>	<p>MR (362.02) Carmona Daniel William R (344.02) SHIBATA SP (410.18) ATSUTA CONV(417.18) HONGYO</p>	<p>1301 1302 1303 1312</p>	<p>1301 1302 1303 1312</p>
<p>IV</p>	<p>R (331.04) IMAI R (340.02) GONOJI SP (410.04) MITSUTA LIS (416.04) IDEGUCHI 1302 1312 1311 1303</p>	<p>MIS [219.82] KATO.H MIS [219.84] NAKATA MIS [219.86] MIZUTA 1517 1516 1503</p>	<p>R [356.08] KATO.H RDG (314.04) HIROKAWA R (361.02) INOUE.S SP (410.08) SHOJI K (413.08) NISHIMURA 1313 1302 1305 1301 1303</p>	<p>MR (364.06) SAKURAI SP (310.08) ATSUTA R (350.02) INOMO K (413.12) NAKANISHI LIS (416.12) OOSAKI 1308 1301 1302 1303 1312</p>	<p>MR (362.02) Carmona Daniel William R (344.02) SHIBATA SP (410.18) ATSUTA CONV(417.18) HONGYO</p>	<p>1301 1302 1303 1312</p>	<p>1301 1302 1303 1312</p>
<p>V</p>	<p>MR (352.04) FUKUMITSU COMP(315.02) IDEGUCHI R (364.02) NUKITA RDG (414.04) SEKIMOTO 1313 1303 1312 1301</p>	<p>K (313.06) HIROKAWA R (331.10) SHOJI R (353.02) SANO RDG (414.06) KADOWAKI 1301 1302 1303 1312</p>	<p>COMP(415.14) ATSUTA CONV(417.14) OOSAKI 1301 1312</p>	<p>1301 1312</p>	<p>1301 1312</p>	<p>1301 1312</p>	<p>1301 1312</p>

MA1

	Monday		Tuesday		Wednesday		Thursday		Friday	
I	K (313.02) KUBOTA R (352.02) MOTOBAYASHI SP (410.02) HARADA COMP (415.02) KUBO	1301 1312 1302 1303	RDG (314.02) VAAGE GORAN R (340.04) HISAOKA R (355.02) WATANABE LIS (416.06) Lee Youusun CONV (417.08) YUJASA	1301 1313 1312 1308	R (356.06) SOBCHYK MALGORZATA K (413.06) KUNIKATA LIS (416.08) TAKATSUKI	1302 1301 1303	CONV (317.06) YOSHIKANE K (413.10) YAMANAKA RDG (414.08) FUJIWARA COMP (415.08) SAKAUE	1301 1302 1303 1312	MR (352.10) TAMAS LIS (316.08) TANAKA.M SP (410.16) MANDA K (413.14) ITO.TOM	1301 1302 1310 1303
II	R (331.02) MURATA.M RDG (414.02) KUBOTA COMP (415.04) SAKATA LIS (416.02) KAWABUCHI CONV (417.02) OGURA.Y	1303 1301 1302 1309 1214	MR (331.06) VAAGE GORAN MR (364.04) WATANABE COMP (315.04) Lee Youusun LIS (316.04) SOGAWA R (352.06) HISAOKA R (352.08) SHIMAMOTO SP (410.06) ITO.Y K (413.04) KITAGAWA	1301 1312 1303 1307 1313 1302 1304 1306	MR (356.04) BURENINA YULIA COMP (315.06) KOMINAMI CONV (317.02) HIBI R (360.02) ITO.TOS	1301 1302 1312 1303	R (331.12) YAMANAKA SP (410.10) ADACHI SP (410.12) SAKAUE COMP (415.10) FUJIWARA LIS (416.10) HAYASHI CONV (417.10) HATANO	1309 1310 1301 1302 1303 1312	R (351.02) TAMAS RDG (414.12) MIZUNO CONV (417.16) ITO.TOM	1301 1302 1303
III	MR (356.02) TONGU SP (310.02) ISHIBASHI LIS (316.02) MIHARA CONV (417.04) OGURA.Y CONV (417.06) FUKUJ	1302 1301 1303 1214 1304	MDR [409.82] NAKATA	K (313.04) KUNIKATA LIS (316.06) NISHIMURA CONV (317.04) FURUE R (331.08) NAKATA R (352.12) IWAI.S COMP (415.06) KOMINAMI	1301 1312 1302 1303 1311 1308	RDG (314.06) MASHITA SP (410.14) MITO RDG (414.10) NAKANISHI COMP (415.12) YAMAMOTO.K CONV (417.12) HAYASHI	1302 1303 1301 1313 1312	SP (310.10) SHUTO COMP (315.08) FUJIE CONV (317.08) TANAKA.M R (333.02) YAMATO.Y LIS (416.14) ATSUTA	1301 1303 1312 1307 1302	
IV	R (331.04) IMAI R (340.02) GONOJI SP (410.04) MITSUTA LIS (416.04) IDEGUCHI	1302 1312 1311 1303	MIS [219.82] KATO.H MIS [219.84] NAKATA MIS [219.86] MIZUTA	R [356.08] KATO.H RDG (314.04) HIROKAWA R (361.02) INOUE.S SP (410.08) SHOJI K (413.08) NISHIMURA	1313 1302 1305 1301 1303	MR (364.06) SAKURAI SP (310.08) ATSUTA R (350.02) INOMO K (413.12) NAKANISHI LIS (416.12) OOSAKI	1308 1301 1302 1303 1312	MR (362.02) Carmona Daniel William R (344.02) SHIBATA SP (410.18) ATSUTA CONV (417.18) HONGYO	1301 1312 1302 1303	
V	MR (352.04) FUKUMITSU COMP (315.02) IDEGUCHI R (364.02) NUKITA RDG (414.04) SEKIMOTO	1313 1303 1312 1301	K (313.06) HIROKAWA R (331.10) SHOJI R (353.02) SANO RDG (414.06) KADOWAKI	1301 1302 1303 1312	COMP (415.14) ATSUTA CONV (417.14) OOSAKI	1301 1312				

MA2

	Monday		Tuesday		Wednesday		Thursday		Friday	
I	K (313.02) KUBOTA R (352.02) MOTOBAYASHI SP (410.02) HARADA COMP (415.02) KUBO	1301 1312 1302 1303	RDG (314.02) VAAGE GORAN R (340.04) HISAOKA R (355.02) WATANABE LIS (416.06) Lee Yousun CONV (417.08) YUASA	1301 1313 1312 1302 1308	R (356.06) SOBCHYK MALGORZATA K (413.06) KUNIKATA LIS (416.08) TAKATSUKI	1302 1301 1303	CONV (317.06) YOSHIKANE K (413.10) YAMANAKA RDG (414.08) FUJIWARA COMP (415.08) SAKAUE	1301 1302 1303 1312	MR (352.10) TAMAS LIS (316.08) TANAKA.M SP (410.16) MANDA K (413.14) ITO.TOM	1301 1302 1310 1303
II	R (331.02) MURATA.M RDG (414.02) KUBOTA COMP (415.04) SAKATA LIS (416.02) KAWABUCHI CONV (417.02) OGURA.Y	1303 1301 1302 1309 1214	MR (331.06) VAAGE GORAN MR (364.04) WATANABE COMP (315.04) Lee Yousun LIS (316.04) SOGAWA R (352.06) HISAOKA R (352.08) SHIMAMOTO SP (410.06) ITO.Y K (413.04) KITAGAWA	1301 1312 1303 1307 1313 1302 1304 1306	MR (356.04) BURENINA YULIA COMP (315.06) KOMINAMI CONV (317.02) HIBI R (360.02) ITO.TOS	1301 1302 1312 1303	R (331.12) YAMANAKA SP (410.10) ADACHI SP (410.12) SAKAUE COMP (415.10) FUJIWARA LIS (416.10) HAYASHI CONV (417.10) HATANO	1309 1310 1301 1302 1303 1312	R (351.02) TAMAS RDG (414.12) MIZUNO CONV (417.16) ITO.TOM	1301 1302 1303
III	MR (356.02) TONGU SP (310.02) SHIBASHI LIS (316.02) MIHARA CONV (417.04) OGURA.Y CONV (417.06) FUKUI	1302 1301 1303 1214 1304	MDR [409.84] IWALS	K (313.04) KUNIKATA LIS (316.06) NISHIMURA CONV (317.04) FURUE R (331.08) NAKATA R (352.12) IWALS COMP (415.06) KOMINAMI	1301 1312 1302 1303 1311 1308	RDG (314.06) MASHITA SP (410.14) MITO RDG (414.10) NAKANISHI COMP (415.12) YAMAMOTO.K CONV (417.12) HAYASHI	1302 1303 1301 1313 1312	SP (310.10) SHUTO COMP (315.08) FUJIE CONV (317.08) TANAKA.M R (333.02) YAMATO.Y LIS (416.14) ATSUTA	1301 1303 1312 1307 1302	
IV	R (331.04) IMAI R (340.02) GONOJI SP (410.04) MITSUTA LIS (416.04) IDEGUCHI	1302 1312 1311 1303	MIS [219.82] KATO.H MIS [219.84] NAKATA MIS [219.86] MIZUTA	R [356.08] KATO.H RDG (314.04) HIROKAWA R (361.02) INOUE.S SP (410.08) SHOJI K (413.08) NISHIMURA	1313 1302 1305 1301 1303	MR (364.06) SAKURAI SP (310.08) ATSUTA R (350.02) INOMO K (413.12) NAKANISHI LIS (416.12) OOSAKI	1308 1301 1302 1303 1312	MR (362.02) Carmona Daniel William R (344.02) SHIBATA SP (410.18) ATSUTA CONV (417.18) HONGYO	1301 1312 1302 1303	
V	MR (352.04) FUKUMITSU COMP (315.02) IDEGUCHI R (364.02) NUKITA RDG (414.04) SEKIMOTO	1313 1303 1312 1301	K (313.06) HIROKAWA R (331.10) SHOJI R (353.02) SANO RDG (414.06) KADOWAKI	1301 1302 1303 1312	COMP (415.14) ATSUTA CONV (417.14) OOSAKI	1301 1312				

MA3

	Monday		Tuesday		Wednesday		Thursday		Friday	
I	K (313.02) KUBOTA R (352.02) MOTOBAYASHI SP (410.02) HARADA COMP(415.02) KUBO	RDG (314.02) VAAAGE GORAN R (340.04) HISAOKA R (355.02) WATANABE LIS (416.06) Lee Yousun CONV (417.08) YUASA	1301 1313 1312 1302 1308	R (356.06) SOBCHYK MALGORZATA K (413.06) KUNIKATA LIS (416.08) TAKATSUKI	1302 1301 1303	CONV (317.06) YOSHIKANE K (413.10) YAMANAKA RDG (414.08) FUJIWARA COMP(415.08) SAKAUE	1301 1302 1303 1312	MR (352.10) TAMAS LIS (316.08) TANAKA.M SP (410.16) MANDA K (413.14) ITO.TOM	1301 1302 1310 1303	
II	R (331.02) MURATA.M RDG (414.02) KUBOTA COMP(415.04) SAKATA LIS (416.02) KAWABUCHI CONV (417.02) OGURA.Y	MR (331.06) VAAAGE GORAN MR (364.04) WATANABE COMP(315.04) Lee Yousun LIS (316.04) SOGAWA R (352.06) HISAOKA R (352.08) SHIMAMOTO SP (410.06) ITO.Y. K (413.04) KITAGAWA	1303 1301 1302 1309 1214	MR (356.04) BURENINA YULIA COMP(315.06) KOMINAMI CONV (317.02) HIBI R (360.02) ITO.TOS	1301 1302 1312 1303	R (331.12) YAMANAKA SP (410.10) ADACHI SP (410.12) SAKAUE COMP (415.10) FUJIWARA LIS (416.10) HAYASHI CONV (417.10) HATANO	1309 1310 1301 1302 1303 1312	R (351.02) TAMAS RDG (414.12) MIZUNO CONV (417.16) ITO.TOM	1301 1302 1303	
III	MR (356.02) TONGU SP (310.02) ISHIBASHI LIS (316.02) MIHARA CONV (417.04) OGURA.Y CONV (417.06) FUKUI	MDR [409.86] SHIMAMOTO	1302 1301 1303 1214 1304	K (313.04) KUNIKATA LIS (316.06) NISHIMURA CONV (317.04) FURUE R (331.08) NAKATA R (352.12) IWALS COMP (415.06) KOMINAMI	1301 1312 1302 1303 1311 1308	RDG (314.06) MASHITA SP (410.14) MITO RDG (414.10) NAKANISHI COMP (415.12) YAMAMOTO.K CONV (417.12) HAYASHI	1302 1303 1301 1313 1312	SP (310.10) SHUTO COMP(315.08) FUJIE CONV (317.08) TANAKA.M R (333.02) YAMATO.Y LIS (416.14) ATSUTA	1301 1303 1312 1307 1302	
IV	R (331.04) IMAI R (340.02) GONOJI SP (410.04) MITSUTA LIS (416.04) IDEGUCHI	MIS [219.82] KATO.H MIS [219.84] NAKATA MIS [219.86] MIZUTA	1302 1312 1311 1303	R [356.08] KATO.H RDG (314.04) HIROKAWA R (361.02) INOUE.S SP (410.08) SHOJI K (413.08) NISHIMURA	1313 1302 1305 1301 1303	MR (364.06) SAKURAI SP (310.08) ATSUTA R (350.02) INOMO K (413.12) NAKANISHI LIS (416.12) OOSAKI	1308 1301 1302 1303 1312	MR (362.02) Carmona Daniel William R (344.02) SHIBATA SP (410.18) ATSUTA CONV (417.18) HONGYO	1301 1312 1302 1303	
V	MR (352.04) FUKUMITSU COMP(315.02) IDEGUCHI R (364.02) NUKITA RDG (414.04) SEKIMOTO	K (313.06) HIROKAWA R (331.10) SHOJI R (353.02) SANO RDG (414.06) KADOWAKI	1301 1302 1303 1312	K (313.06) HIROKAWA R (331.10) SHOJI R (353.02) SANO RDG (414.06) KADOWAKI	1301 1302 1303 1312	COMP(415.14) ATSUTA CONV (417.14) OOSAKI	1301 1312			

MA4

Monday

Tuesday

Wednesday

Thursday

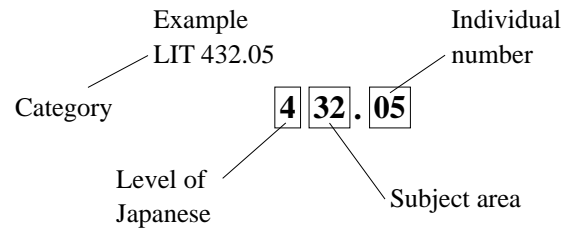
Friday

I	<p>K (313.02) KUBOTA 1301</p> <p>R (352.02) MOTOBAYASHI 1312</p> <p>SP (410.02) HARADA 1302</p> <p>COMP (415.02) KUBO 1303</p>	<p>RDG (314.02) VAAGE GORAN 1301</p> <p>R (340.04) HISAOKA 1313</p> <p>R (355.02) WATANABE 1312</p> <p>LIS (416.06) Lee Yousun 1302</p> <p>CONV (417.08) YUASA 1308</p>	<p>R (356.06) SOBCHYK, MALGORZATA 1302</p> <p>K (413.06) KUNIKATA 1301</p> <p>LIS (416.08) TAKATSUKI 1303</p>	<p>CONV (317.06) YOSHIKANE 1301</p> <p>K (413.10) YAMANAKA 1302</p> <p>RDG (414.08) FUJIWARA 1303</p> <p>COMP (415.08) SAKAUE 1312</p>	<p>MR (352.10) TAMAS 1301</p> <p>LIS (316.08) TANAKA.M 1302</p> <p>SP (410.16) MANDA 1310</p> <p>K (413.14) ITO.TOM 1303</p>
II	<p>R (331.02) MURATA.M 1303</p> <p>RDG (414.02) KUBOTA 1301</p> <p>COMP (415.04) SAKATA 1302</p> <p>LIS (416.02) KAWABUCHI 1309</p> <p>CONV (417.02) OGURA.Y 1214</p>	<p>MR (331.06) VAAGE GORAN 1301</p> <p>MR (364.04) WATANABE 1312</p> <p>COMP (315.04) Lee Yousun 1303</p> <p>LIS (316.04) SOGAWA 1307</p> <p>R (352.06) HISAOKA 1313</p> <p>R (352.08) SHIMAMOTO 1302</p> <p>SP (410.06) ITO.Y 1304</p> <p>K (413.04) KITAGAWA 1306</p>	<p>MR (356.04) BURENINA YULIA 1301</p> <p>COMP (315.06) KOMINAMI 1302</p> <p>CONV (317.02) HIBI 1312</p> <p>R (360.02) ITO.TOS 1303</p>	<p>R (331.12) YAMANAKA 1309</p> <p>SP (410.10) ADACHI 1310</p> <p>SP (410.12) SAKAUE 1301</p> <p>COMP (415.10) FUJIWARA 1302</p> <p>LIS (416.10) HAYASHI 1303</p> <p>CONV (417.10) HATANO 1312</p>	<p>R (351.02) TAMAS 1301</p> <p>RDG (414.12) MIZUNO 1302</p> <p>CONV (417.16) ITO.TOM 1303</p>
III	<p>MR (356.02) TONGU 1302</p> <p>SP (310.02) ISHIBASHI 1301</p> <p>LIS (316.02) MIHARA 1303</p> <p>CONV (417.04) OGURA.Y 1214</p> <p>CONV (417.06) FUKUI 1304</p>	<p>MDR [409.88] MIZUTA 1310</p>	<p>K (313.04) KUNIKATA 1301</p> <p>LIS (316.06) NISHIMURA 1312</p> <p>CONV (317.04) FURUE 1302</p> <p>R (331.08) NAKATA 1303</p> <p>R (352.12) IWA.I.S 1311</p> <p>COMP (415.06) KOMINAMI 1308</p>	<p>RDG (314.06) MASHITA 1302</p> <p>SP (410.14) MITO 1303</p> <p>RDG (414.10) NAKANISHI 1301</p> <p>COMP (415.12) YAMAMOTO.K 1313</p> <p>CONV (417.12) HAYASHI 1312</p>	<p>SP (310.10) SHUTO 1301</p> <p>COMP (315.08) FUJIE 1303</p> <p>CONV (317.08) TANAKA.M 1312</p> <p>R (333.02) YAMATO.Y 1307</p> <p>LIS (416.14) ATSUTA 1302</p>
IV	<p>R (331.04) IMAI 1302</p> <p>R (340.02) GONOJI 1312</p> <p>SP (410.04) MITSUTA 1311</p> <p>LIS (416.04) IDEGUCHI 1303</p>	<p>MIS [219.82] KATO.H 1517</p> <p>MIS [219.84] NAKATA 1516</p> <p>MIS [219.86] MIZUTA 1503</p>	<p>R [356.08] KATO.H 1313</p> <p>RDG (314.04) HIROKAWA 1302</p> <p>R (361.02) INOUE.S 1305</p> <p>SP (410.08) SHOJI 1301</p> <p>K (413.08) NISHIMURA 1303</p>	<p>MR (364.06) SAKURAI 1308</p> <p>SP (310.08) ATSUTA 1301</p> <p>R (350.02) INOMO 1302</p> <p>K (413.12) NAKANISHI 1303</p> <p>LIS (416.12) OOSAKI 1312</p>	<p>MR (362.02) Carmona Daniel William 1301</p> <p>R (344.02) SHIBATA 1312</p> <p>SP (410.18) ATSUTA 1302</p> <p>CONV (417.18) HONGYO 1303</p>
V	<p>MR (352.04) FUKUMITSU 1313</p> <p>COMP (315.02) IDEGUCHI 1303</p> <p>R (364.02) NUKITA 1312</p> <p>RDG (414.04) SEKIMOTO 1301</p>	<p>K (313.06) HIROKAWA 1301</p> <p>R (331.10) SHOJI 1302</p> <p>R (353.02) SANO 1303</p> <p>RDG (414.06) KADOWAKI 1312</p>	<p>COMP (415.14) ATSUTA 1301</p> <p>CONV (417.14) OOSAKI 1312</p>		

科目コード / Course Numbering System

【日本語レベル Levels】

初級 Elementary	100.x -
初中級 Upper-Elementary	200.x -
中級 Intermediate	300.x -
上級 Advanced	400.x -
その他 Courses in English on other languages	000.x -



【科目分野 Subject Categories & Areas】

日本語・日本文化研修科目 (JPN 00-19)

必修科目 Required

SP	00.01 - 01.99
RK	02.01 - 03.99
LIS	06.01 - 06.99
CONV	07.01 - 07.99
JC	09.01 - 09.79
MDR	09.81 - 09.99

選択科目 Elective

SP	10.01 - 11.99
K	13.01 - 13.99
RDG	14.01 - 14.99
COMP	15.01 - 15.99
LIS	16.01 - 16.99
CONV	17.01 - 17.99
CAI	18.01 - 18.99
JC	19.01 - 19.79
MIS	19.81 - 19.99
GS	20.01 - 20.99

言語系研究科目 (LIN 30-39)

R 日本語学入門 Japanese Linguistics (General Survey)	30.01 - 30.99
R 日本語学 Japanese Linguistics	31.01 - 31.99
R 国語学 Japanese Philology	32.01 - 32.99
R 日本語教育学 Teaching Japanese as L2	33.01 - 33.99
R 古典文法 Classical Japanese	34.01 - 34.99

文学系研究科目 (LIT 40-49)

R 日本文学入門 Japanese Linguistics (General Survey)	40.01 - 40.99
R 近・現代文学 Modern Literature	41.01 - 42.99
R 古典文学 Classical Literature	43.01 - 44.99
R 漢文 Classical Chinese	45.01 - 45.99

文化・歴史系研究科目 (CUL 50-59)

R 芸術学 Arts	50.01 - 50.99
R 民俗・文化 Folklore & Culture	51.01 - 52.99
R 歴史 History	53.01 - 54.99
R 思想・宗教 Thought & Religion	55.01 - 56.99

社会科学系研究科目 (SOC 60-69)

R 経済・経営学 Economics & Business Admin	60.01 - 61.99
R 政治学・法学 Politics & Law	62.01 - 62.99
R 国際関係 International Relations	63.01 - 63.99
R 社会学 Sociology	64.01 - 64.99
R 教育学 Education	65.01 - 65.99

自然科学系研究科目 (NAT 70-79)

R 自然科学 Natural Sciences	70.01 - 70.99
R 環境問題 Environmental Problems	71.01 - 71.99

専門読解・演習 (RS 80/DR 80)

RS 専門読解 Reading in a Specific Field	RS 280.01 - 280.99
DR 専門演習 Directed Research & Reading	DR 480.01 - 480.99

M 配当科目については、略号の前に「M」を加える

りやく
略 号 / **Abbreviations**

Levels/Programs	
J	Japanese Studies Program
U	Undergraduate Students Program
MM	Intermediate Level in Maple Program
MA	Advanced Level in Maple Program

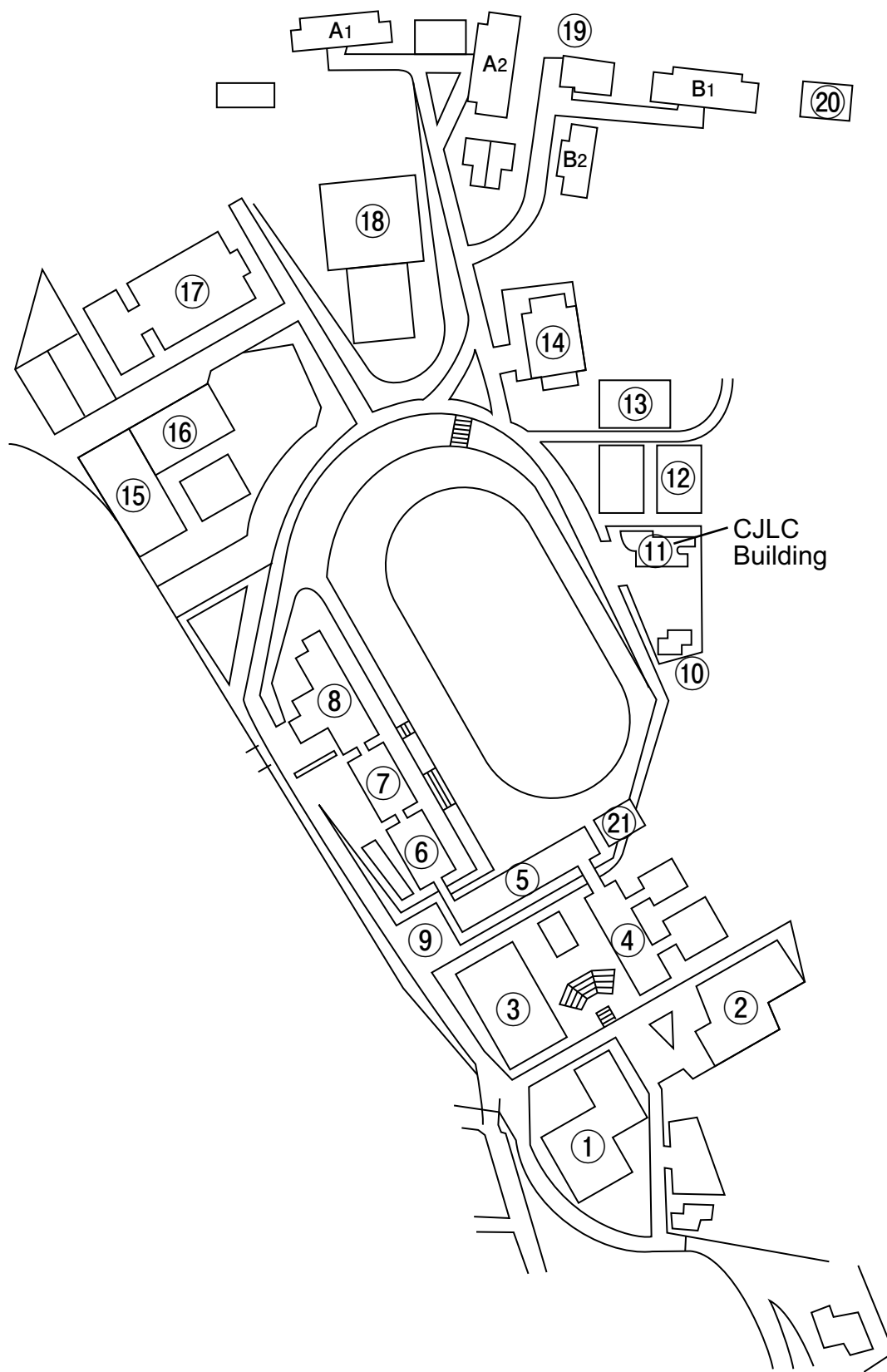
Types	
Lec.	Lecture
Sem.	Seminar
Rec.	Recitation

Subject	
CAI	Computer-Assisted Instruction
CHEM	Chemistry
COMP	Composition
CONV	Conversation
DR	Directed Research and Reading
ENG	English
GS	General Studies
HIST	Japanese History
JC	Japanese Cultural Background
K	Kanji
LIS	Listening Comprehension
MATH	Mathematics
PHYS	Physics
POLI	Politics and Economics
R	Reading and Research
RDG	Reading
RK	Reading and Kanji
RS	Reading in a Specific Field
SP	Sentence Patterns
MDR	Special Seminar on Japanese Language and Culture
MR	Research Subjects in Japanese Studies
MCR	Research Subjects in Comparative Studies
MIS	Independent Studies
MSP	Modern Japanese : Sentence Patterns

みのお
箕面キャンパス がくしゃはいちず
学舎配置図

Facility Layout on Minoh Campus

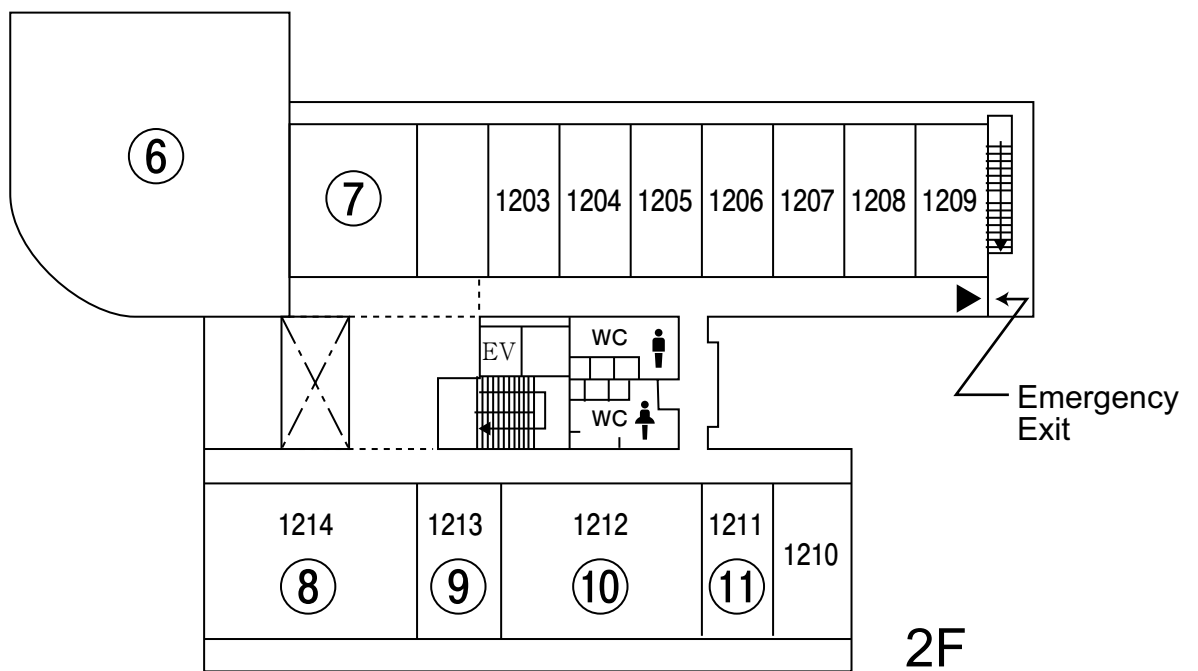
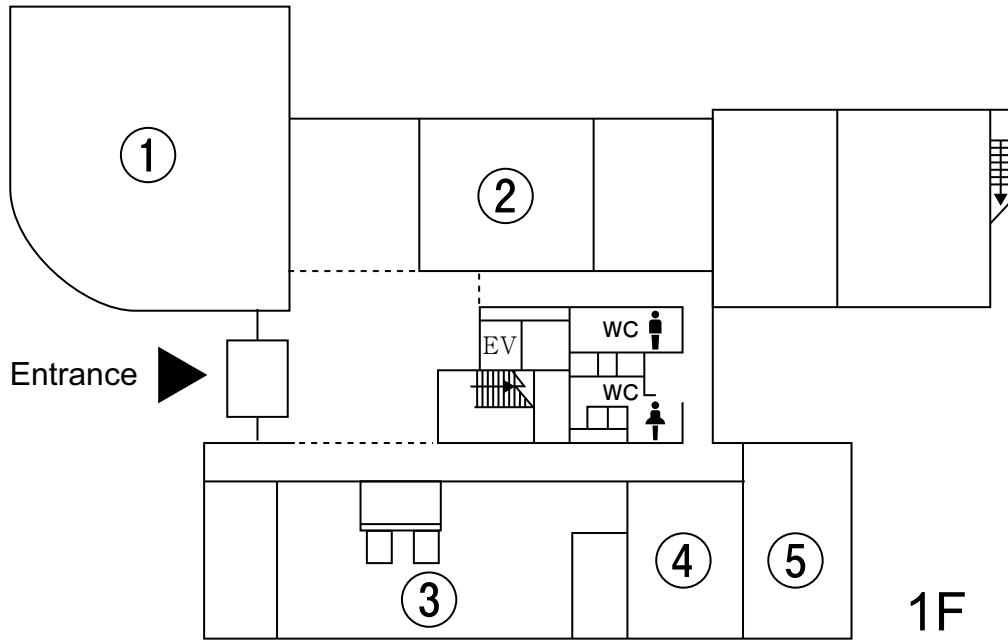
箕面キャンパス学舎配置図
Facility Layout on Minoh Campus



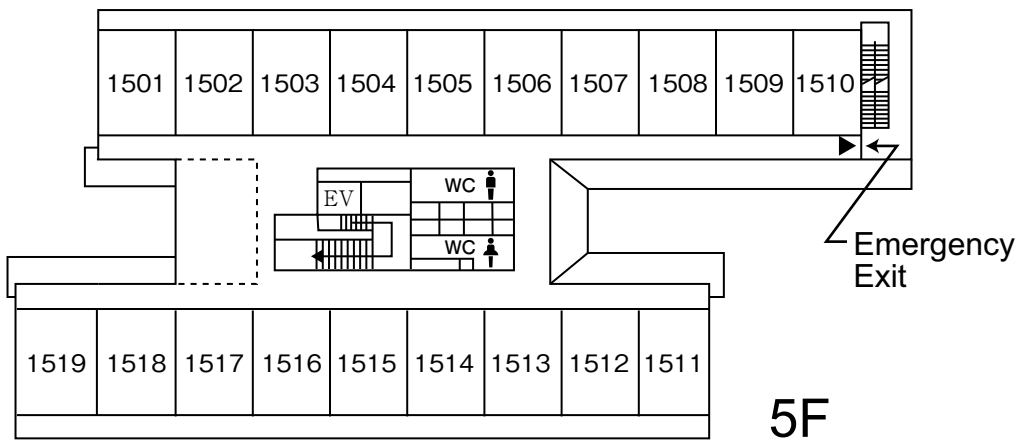
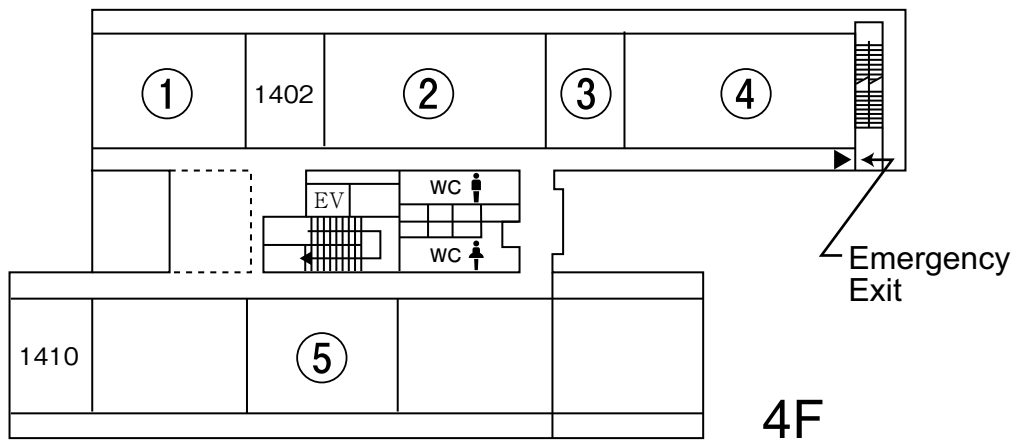
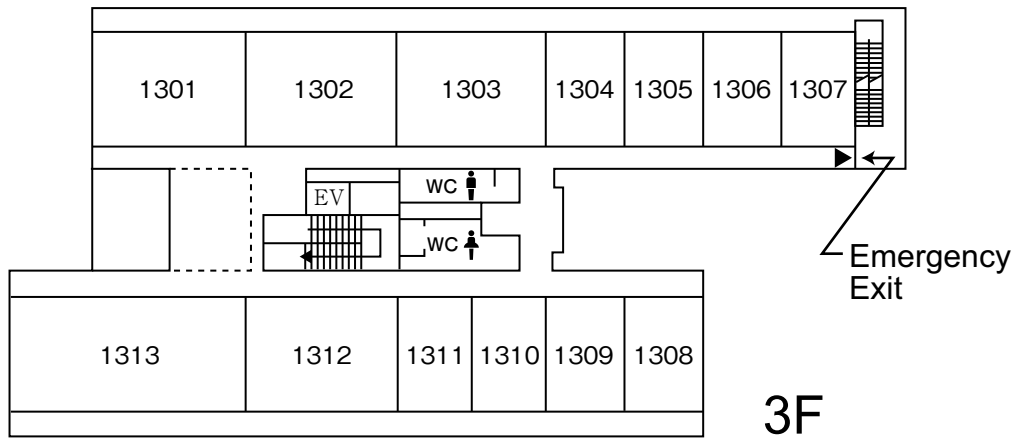
番号 Number	施設 Facility
①	管理棟 Administration Building
②	箕面福利会館 Minoh Cafeteria & University Bookstore
③	外国学図書館 International Studies Library
④	研究・講義棟 (A 棟) Classrooms and Faculty Offices (Building A)
⑤	研究・講義棟 (B 棟) ※ Classrooms and Faculty Offices (Building B)
⑥	研究・講義棟 (C 棟) Classrooms and Faculty Offices (Building C)
⑦	研究・講義棟 (D 棟) Classrooms and Faculty Offices (Building D)
⑧	研究・講義棟 (E 棟) Classrooms and Faculty Offices (Building E)
⑨	バスターミナル Bus Terminal
⑩	記念会館 Memorial Hall
⑪	日本語日本文化教育センター棟 Center for Japanese Language and Culture Building
⑫	サークル共用施設 Extracurricular Activities Facilities
⑬	箕面留学生会館 2 号館 Minoh Dormitory for Foreign Students: Building 2
⑭	箕面留学生会館 1 号館 Minoh Dormitory for Foreign Students: Building 1
⑮	ハンドボールコート Handball field
⑯	プール Swimming Pool
⑰	体育館 Gymnasium
⑱	テニスコート Tennis Court
⑲	学生寮 Dormitory for Students
⑳	箕面国際学生宿舎 Minoh International Student House
㉑	総合研究棟 General Research Building

※国際教育交流センター箕面分室 (1 階)
Center for International Education and Exchange, Minoh Branch (1st floor)

日本語日本文化教育センター棟
CJLC Building



番号 Number	施設 Facility
①	多目的ホール CJLC Hall
②	講師控室 Instructor's Lounge
③	CJLC 事務室 CJLC Office
④	応接室 Reception Office
⑤	センター長室 Director's Office
⑥	センター図書館 CJLC Library
⑦	コンピュータラウンジ Computer Lounge
⑧	LL 実習室 Language Laboratory
⑨	授業見学室 Observation Room
⑩	マルチメディア教室 Multimedia Classroom
⑪	コンピュータ小教室 Computer Room



番号 Number	施設 Facility
①	共同研究室 1 CJLC Faculty Room 1
②	物理実験室 Physics Laboratory
③	実験準備室 Lab Equipment Room
④	化学実験室 Chemistry Laboratory
⑤	共同研究室 2 CJLC Faculty Room 2

※ 教員研究室
Instructor's Offices

部屋番号 Room Number	教員名 Instructor's Name	部屋番号 Room Number	教員名 Instructor's Name
1410	小森 万里 M. KOMORI	1510	佐野 方郁 M. SANO
1501	五之治 昌比呂 M. GONOJI	1511	今井 忍 Sh. IMAI
1502		1512	荘司 育子 I. SHOJI
1503	水田 明男 A. MIZUTA	1513	岸田 泰浩 Y. KISHIDA
1504	水野 亜紀子 A. MIZUNO	1514	平尾 得子 T. HIRAO
1505	村田 真実 M. MURATA	1515	岩井 康雄 Y. IWAI
1506	蔦 清行 K. TSUTA	1516	中田 一志 H. NAKATA
1507	嶋本 隆光 T. SHIMAMOTO	1517	加藤 均 H. KATO
1508	山川 太 F. YAMAKAWA	1518	岩井 茂樹 Sh. IWAI
1509	大和 祐子 Y. YAMATO	1519	柴田 芳成 Y. SHIBATA

履修届

Subject Registration Form

Fall Semester, 2013-2014

Name

Nationality

Class

Contact Information

Advisor

印

Student No.

*Please write your phone number or e-mail address for emergency contact

*Submit this form to the CJLC Office by April 19th.

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
I	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)
II	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)
III	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)
IV	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)
V	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)

ex.

← Subject	COMP
← Code	JPN (214 . 02)
← Instructor	A. SUZUKI

大阪大学日本語日本文化教育センター
Center for Japanese Language and Culture, Osaka University

発 行 平成 25 年 9 月

Published in September, 2013

編 集 大阪大学日本語日本文化教育センター

Edited by Center for Japanese Language and Culture,
Osaka University

〒562-8558 大阪府箕面市粟生間谷東 8 丁目 1 番 1 号
8-1-1, Aomatani-higashi, Minoh, Osaka

Phone (072) 730-5075, 5076 (学生交流推進課)

Fax (072) 730-5074